

基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更							
フリガナ設置者	ガッコウホウジン サンヨウガクエン 学校法人 山陽学園							
フリガナ大学の名称	サンヨウガクエンダイガク 山陽学園大学 (Sanyo Gakuen University)							
大学本部の位置	岡山県岡山市中区平井一丁目14番1号							
大学の目的	<p>本学は、明治19年の学園創立以来一貫して培われた「愛と奉仕の精神」を基礎とし、教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い、高等学校教育の基礎のうえに、学術の中心として総合人間学、地域マネジメント学および看護学に関する専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養することを目的とする。</p>							
新設学部等の目的	<p>総合人間学部言語文化学科は、平成30年度以降、定員充足率が100%を超える安定した募集状況にあり、かつ企業等からの人材ニーズに十分応えている。 こうした社会の要請や環境変化に対応し、社会の負託に積極的に応えていくために、大学の収容定員を増加する。</p>							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限 年	入学定員 人	編入学定員 年次人	収容定員 人	学位又は称号	開設時期及び開設年次 年月第年次	所在地
	総合人間学部 【Faculty of Comprehensive Human Studies】			3年次				
	言語文化学科 【Department of Language and Culture】	4	60 (40)	5	250 (170)	学士（人文学） 【Bachelor of Arts】	令和4年4月 第1年次	岡山県岡山市中区 平井一丁目14番1号
	生活心理学科 【Department of Psychology and Human Life】	4	30	5	130	学士（生活心理学） 【Bachelor of Psychology and Human Life】	平成21年4月 第1年次	同上
	地域マネジメント学部 【Faculty of Regional Management】							
	地域マネジメント学科 【Department of Regional Management】	4	50	-	200	学士（地域マネジメント学） 【Bachelor (Regional Management)】	平成30年4月 第1年次	同上
看護学部 【Faculty of Nursing】								
看護学科 【Department of Nursing】	4	78	4	320	学士（看護学） 【Bachelor (Nursing)】	平成21年4月 第1年次	同上	
計		218 (198)		14 (820)	900 (820)			

同一設置者内における 変更状況 (定員の移行, 名称の 変更等)		該当なし								
教育 課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
		講義	演習	実験・実習	計					
	—	— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	— 単位				
教 員 組 織 の 分 割 概 要	学部等の名称		専任教員等					兼任 教員等		
			教授	准教授	講師	助教	計			助手
	新 設	総合人間学部 言語文化学科		8 (8)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	61 (61)
		生活心理学科		3 (3)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	7 (7)	0 (0)	52 (52)
		地域マネジメント学部 地域マネジメント学科		7 (7)	4 (4)	2 (2)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	23 (23)
		看護学部 看護学科		9 (9)	4 (4)	7 (7)	7 (7)	27 (27)	1 (1)	70 (70)
		計		27 (27)	14 (14)	10 (10)	7 (7)	58 (58)	1 (1)	— (—)
	既 設 分	なし		— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		計		— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
	合計		27 (27)	14 (14)	10 (10)	7 (7)	58 (58)	1 (1)	— (—)	
教 員 以 外 の 職 員 の 概 要	職 種		専 任		兼 任		計			
	事務職員		23 人 (23)		5 人 (5)		28 人 (28)			
	技術職員		0 (0)		0 (0)		0 (0)			
	図書館専門職員		3 (3)		0 (0)		3 (3)			
	その他の職員		0 (0)		0 (0)		0 (0)			
	計		26 (26)		5 (5)		31 (31)			
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計		山陽学園短期大学 (必要面積3,600 ㎡)と共用 (収容定員:360人)		
	校舎敷地	0.00 ㎡	37,974.60 ㎡	0.00 ㎡		37,974.60 ㎡				
	運動場用地	0.00 ㎡	4,018.40 ㎡	0.00 ㎡		4,018.40 ㎡				
	小 計	0.00 ㎡	41,993.00 ㎡	0.00 ㎡		41,993.00 ㎡				
	そ の 他	0.00 ㎡	15,985.92 ㎡	0.00 ㎡		15,985.92 ㎡				
合 計	0.00 ㎡	57,978.92 ㎡	0.00 ㎡		57,978.92 ㎡					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計		山陽学園短期大学 (必要面積3,900 ㎡)と共用 (収容定員:360人)		
		6,378.34 ㎡ (6,378.34 ㎡)	9,048.73 ㎡ (9,048.73 ㎡)	3,776.72 ㎡ (3,776.72 ㎡)		19,203.79 ㎡ (19,203.79 ㎡)				
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		大学全体			
	17 室	14 室	13 室	2 室 (補助職員 0人)	2 室 (補助職員 0人)					
専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数						
		大学全体		65 室						
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学・短期大学 全体		
	大学全体	150,000 [18,000] (150,000 [18,000])	130 [40] (130 [40])	33 [24] (33 [24])	4,000 (4,000)	10,000 (10,000)	200 (200)			
	計	150,000 [18,000] (150,000 [18,000])	130 [40] (130 [40])	33 [24] (33 [24])	4,000 (4,000)	10,000 (10,000)	200 (200)			
図書館		面積	閲覧座席数		収納可能冊数			大学・短期大学 全体		
		1,183.30 ㎡	140 席		113,000 冊					
体育館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
		1,247.70 ㎡	テニスコート2面		弓道場1面					

経費の見積り 及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		教員1人当り研究費等		300千円	300千円	300千円	300千円	—		—
		共同研究費等		0千円	0千円	0千円	0千円	—		—
		図書購入費	10,800千円	10,800千円	10,800千円	10,800千円	10,800千円	—		—
	設備購入費	690千円	690千円	690千円	690千円	690千円	—	—		
学生1人当り納付金	第1年次		第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	千円		千円	千円	千円	千円	千円			
	総合人間学部	1,150	850	850	850	—	—			
	地域マネジメント学部	1,150	850	850	850	—	—			
	看護学部	1,750	1,450	1,450	1,450	—	—			
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、雑収入等							
既設大学等の状況	大学の名称	山陽学園大学								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	総合人間学部	年	人	年次人	人		倍		岡山県岡山市中区 平井一丁目14番1号	
	言語文化学科	4	40	3年次 5	140	学士(人文学)	1.28	平成21年度		
	生活心理学科	4	30	3年次 5	130	学士(生活心理学)	1.00	平成21年度		
	地域マネジメント学部								岡山県岡山市中区 平井一丁目14番1号	
	地域マネジメント学科	4	50	—	230	学士(地域マネジメント学)	0.69	平成30年度		
	看護学部								岡山県岡山市中区 平井一丁目14番1号	
	看護学科	4	78	3年次 4	320	学士(看護学)	1.00	平成21年度		
	大学院								岡山県岡山市中区 平井一丁目14番1号	
看護学研究科	2	6	—	12	修士(看護学)	0.33	平成25年度			
大学の名称	山陽学園短期大学									
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地		
健康栄養学科	2	80	—	160	短期大学士(健康栄養学)	0.75	平成3年度	岡山県岡山市中区 平井一丁目14番1号		
こども育成学科	2	100	—	200	短期大学士(こども育成学)	0.76	昭和47年度			
附属施設の概要	該当なし									

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科又は高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積り及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。

学校法人山陽学園 設置認可等に関わる組織の移行表

令和3年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和4年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
山陽学園大学				山陽学園大学				
総合人間学部		3年次		総合人間学部		3年次		
言語文化学科	40	5	170	言語文化学科	<u>60</u>	5	<u>250</u>	定員変更(20)
生活心理学科	30	5	130	生活心理学科	30	5	130	
地域マネジメント学部				地域マネジメント学部				
地域マネジメント学科	50	-	200	地域マネジメント学科	50	-	200	
看護学部				看護学部				
看護学科	78	4	320	看護学科	78	4	320	
3年次				3年次				
計	198	14	820	計	<u>218</u>	14	<u>900</u>	
山陽学園大学				山陽学園大学				
助産学専攻科	10	-	10	助産学専攻科	10	-	10	
計	10	-	10	計	10	-	10	
山陽学園大学大学院				山陽学園大学大学院				
看護学研究科	6	-	12	看護学研究科	6	-	12	
計	6	-	12	計	6	-	12	
山陽学園短期大学				山陽学園短期大学				
健康栄養学科	80	-	160	健康栄養学科	80	-	160	
こども育成学科	100	-	200	こども育成学科	100	-	200	
計	180	-	360	計	180	-	360	

校地校舎等の図面

①都道府県内における位置関係の図面



②最寄り駅からの距離、交通機関及び所要時間がわかる図面



JR 岡山駅から学園まで直行バスで 20 分（路線バスは 25 分） 約 5 k m

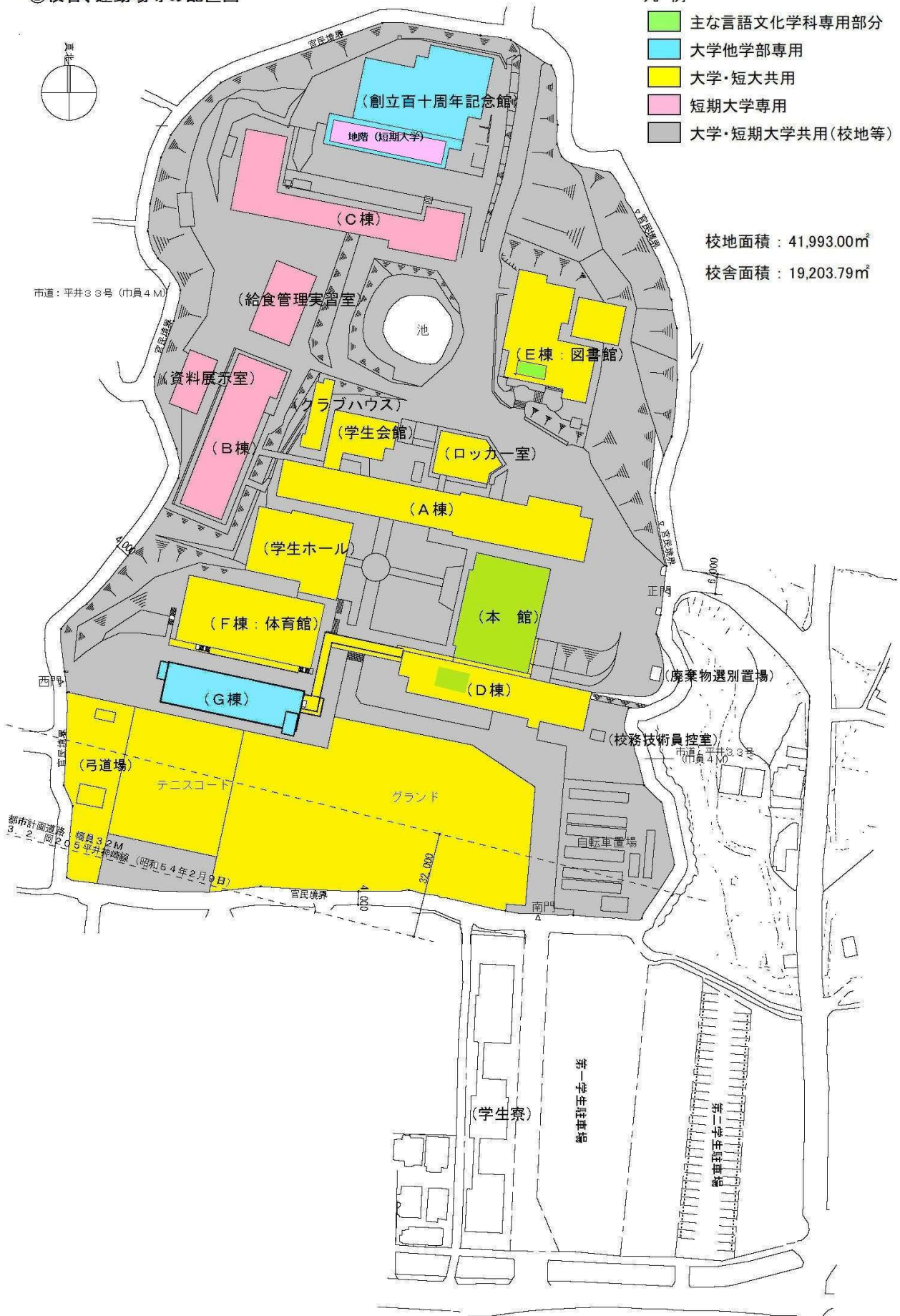
③校舎、運動場等の配置図

凡例

- 主な言語文化学科専用部分
- 大学他学部専用
- 大学・短大共用
- 短期大学専用
- 大学・短期大学共用(校地等)

校地面積：41,993.00㎡

校舎面積：19,203.79㎡



図面-3

令和4年4月施行

山陽学園大学学則

学校法人

山陽学園

山陽学園大学学則

平成6年3月28日制定	平成18年12月12日改正	平成28年9月15日改正
平成7年3月22日改正	平成20年3月13日改正	平成29年3月10日改正
平成7年5月31日改正	平成21年3月17日改正	平成29年3月10日改正
平成8年3月14日改正	平成21年10月5日改正	平成29年5月18日改正
平成8年11月26日改正	平成22年3月17日改正	平成29年6月23日改正
平成11年3月24日改正	平成23年3月22日改正	平成29年9月25日改正
平成11年11月24日改正	平成23年5月31日改正	平成29年12月14日改正
平成12年3月22日改正	平成23年9月14日改正	平成30年3月8日改正
平成12年5月19日改正	平成23年12月16日改正	平成30年9月20日改正
平成13年3月19日改正	平成24年9月20日改正	平成30年10月11日改正
平成14年3月19日改正	平成24年12月14日改正	平成31年3月12日改正
平成14年5月21日改正	平成25年3月18日改正	令和元年12月17日改正
平成14年11月27日改正	平成25年9月17日改正	令和2年3月16日改正
平成15年3月18日改正	平成26年3月19日改正	令和2年4月2日改正
平成16年3月17日改正	平成26年9月18日改正	令和2年8月11日改正
平成16年9月28日改正	平成27年3月19日改正	令和3年3月8日改正
平成17年3月30日改正	平成27年5月21日改正	
平成17年12月9日改正	平成28年5月19日改正	

第1章 総則

第1条 本学は、明治19年の学園創立以来一貫して培われた「愛と奉仕の精神」を基礎とし、教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い、高等学校教育の基礎のうえに、学術の中心として総合人間学、地域マネジメント学および看護学に関する専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養する事を目的とする。併せて、教科の履修内容によって、教育職員、学芸員、司書、学校図書館司書教諭、看護師および保健師を養成する。

第2章 学部、学科、専攻科、学生定員および修業年限

第2条 本学において、次の学部および学科を設置する。

総合人間学部	言語文化学科
	生活心理学科
地域マネジメント学部	地域マネジメント学科
看護学部	看護学科

- ② 総合人間学部は、国際化、情報化、多様化した現代社会の中で、自己を確立して人間らしく生き、より良好な社会や人間関係を構築するための理念や方途を教育研究し、それによって次世代を担う人材の社会貢献に資することを目的とする。
1. 言語文化学科は、英語、日本語および東アジアの言語を実践的に学ぶとともに、言語の背景にある社会的、文化的な特質を教育研究し、多文化共生の理念に基づき、地域社会や国際社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。
 2. 生活心理学科は、人間および社会生活を深く理解し共生社会の構築に貢献できる人材を育成することを目的とする。そのために、こころと行動を探究する心理学と、人が生活をおくる社会システムや生活環境について教育研究する。
- ③ 地域マネジメント学部は、理論と実践の往還により知識・技能を着実に修得し、地域の中核となって主体的・実践的に活躍できる人材を養成することで、地域社会の変革・創造に資することを目的とする。
- ④ 看護学部は、本学の伝統である「愛と奉仕」の精神に基づき、豊かな教養と人間愛を備え、科学的思考法と専門的知識・技術を体得し、社会的信頼を得るに足りる看護専門職者を育成することを目的とし、もって保健・医療・福祉の向上に貢献することを使命とする。

第2条の2 本学において設置する学部の学科およびその学生定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	編入学定員 3年次	収容定員
総合人間学部	言語文化学科	60	5	250
	生活心理学科	30	5	130
地域マネジメント学部	地域マネジメント学科	50	—	200
看護学部	看護学科	78	4	320

第3条 本学の修業年限は4年とする。

第3条の2 本学において、次の専攻科を設置する。

助産学専攻科

- ② 助産学専攻科に関する事項は、別に定める。

第3章 学年、学期および休業日

第4条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第5条 学年を分けて次の二期とする。

前 期 4月1日から9月20日まで

後 期 9月21日から翌年3月31日まで

第6条 本学における休業日を次のとおり定める。

土曜日

日曜日

国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

本学園創立記念日 10月18日

夏季休業日 8月1日から9月20日まで

冬季休業日 12月25日から翌年1月10日まで

春季休業日 3月11日から3月31日まで

- ② 前項の規定にかかわらず、学長は臨時に休業日を設け、または休業日を変更することができる。

- ③ 休業日の期間中においても必要な実習その他を課することがある。

第7条 毎年の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含めて、35週にわたることを原則とする。

第4章 教 育 課 程

第8条 本学において開設する授業科目は、次のとおりとする。

総合人間学部

共通教育科目、専門教育科目

地域マネジメント学部

共通教育科目、専門教育科目

看護学部

共通教育科目、専門教育科目

- ② 前項における科目および単位数は、別表1、別表2および別表3によるほか、学長が、教授会の意見を参考にして、別に定めるところによる。

第8条の2 本学において教育職員免許状を得ようとする者は、前条に規定する科目のほか、教育職員免許法および同法施行規則に定める科目および単位を修得しなければならない。

- ② 本学において取得できる免許状の種類および教科は、次のとおりである。

総合人間学部言語文化学科

中学校教諭一種免許状 英語・国語

高等学校教諭一種免許状 英語・国語

総合人間学部生活心理学科

高等学校教諭一種免許状 公民

看護学部看護学科

養護教諭一種免許状

第8条の3 本学において学芸員の資格を得ようとする者は、第8条に規定する科目のほか博物館法に基づき、本学の定める科目および単位を修得しなければならない。

第8条の4 本学において日本語教育指導者の資格を得ようとする者は、第8条に規定する科目のほか本学の定める科目および単位を修得しなければならない。

第8条の5 本学において学校図書館司書の資格を得ようとする者は、第8条に規定する科目のほか本学の定める科目および単位を修得しなければならない。

第8条の6 本学において司書の資格を得ようとする者は、第8条に規定する科目のほか図書館法および同法施行規則に基づき、本学の定める科目および単位を修得しなければならない。

第5章 履修の方法、学修の評価、課程修了の認定および卒業

第9条 本学において開設する授業科目は、これを必修科目、選択科目および自由科目とし、4か年に分けて履修させるものとする。

- ② 前項のうち、自由科目の単位は、卒業に必要な単位数には含まない。

第9条の2 授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

- ② 前項の授業を実施する授業科目については、別に定める。

第10条 学生は毎年度の当初に当該年度において履修すべき授業科目を登録しなければならない。

- ② 学生が1年間に登録できる単位数の上限を設ける。登録単位数の上限については別に定める。
- ③ 学生は、第1項により登録した授業科目以外の授業科目を履修し、また単位を修得することはできない。

第11条 各授業科目を履修した者には、試験のうえ単位を与える。ただし、卒業研究について

は、論文その他本学が定める適切な方法により学修の成果を評価して単位を与える。

第12条 試験等の時期は、原則として学期末または学年末とするが、各授業科目担当者が必要と認めるときは臨時に行うことができる。

第13条 当該授業科目の履修について年度当初に登録していない者は、試験を受けることはできない。

第14条 病気その他やむを得ない事由により定期試験に欠席した者については追試験を行うことがある。

第15条 試験等の評価は、S・A・B・C・D・Fをもって表わし、C以上を合格とし、D・Fを不合格とする。

第16条 教育上有益と認めるときは、学生が入学前に修得した単位を次の各号により本学において修得したものとして認定することができる。

1. 大学または短期大学における授業科目の履修により修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）
2. その他文部科学大臣が別に定める学修で本学が大学における授業科目の履修とみなした学修
 - ② 前項の単位の認定は、編入学、転部、転科の場合を除き、60単位を超えない範囲とする。
 - ③ 前2項の単位認定の取り扱いについては別に定める。

第17条 各授業科目の単位数は、1単位を45時間の学修を必要とする内容をもって構成する。

- ② 単位の計算方法は、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修を考慮して、次の基準による。
 1. 講義および演習については、15時間から30時間の授業をもって1単位とする。
 2. 実験、実習および実技については、30時間から45時間の授業をもって1単位とする。
- ③ 前項の規定にかかわらず、卒業研究等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

第18条 教育上有益と認めるときは、本学以外の国内・国外の教育機関等において学修し、修得した単位を次の各号により本学の授業科目の単位として認定することができる。

1. 本学と留学に関する協定のある外国の大学または本学の認定する外国の大学等に留学し、修得した単位。
2. 本学と単位互換に関する協定のある大学等で履修し、修得した単位。
3. その他文部科学大臣が別に定める学修で本学が大学における授業科目の履修とみなした学修。
 - ② 前項の規定により履修した授業科目について修得した単位は、第16条第2項の単位と合わせて60単位を超えない範囲で本学において修得したものとみなすことができる。
 - ③ 前項に関する規定は別に定める。

第19条 履修の方法および要件等について必要な事項は、各学部の履修規程に定める。

第20条 本学を卒業するためには、学生は4年以上在学し、かつ、次に定める単位数を修得しなければならない。

学 部	学 科	共通教育科目	専門教育科目	自由選択枠	卒業するために必要な総単位数
総合人間学部	言語文化学科	36	70	18	124
	生活心理学科	36	70	18	124
地域マネジメント学部	地域マネジメント学科	26	90	8	124
看護学部	看護学科	26	107	—	133

- ② 前項に定めるもののほか、学科において卒業要件を定める場合は、別に定める。
- ③ 第20条第1項に定めるもののほか、教育職員免許状、学芸員資格、司書資格および学校図書館司書教諭資格を取得する者のため、教科に関する科目、教科または教職に関する科目、教職に関する科目、学芸員に関する科目、司書に関する科目および学校図書館司書教諭に関する科目をおく。これらに関する授業科目とその単位数は別表4のとおりとし、そのうち一部の科目は専門教育科目のうち選択科目として、卒業単位に算入することができる。

第21条 本学則に定める授業科目および単位数を修得した者を卒業とし、次に定める学士の学位を授与する。

総合人間学部

言語文化学科 学士（人文学）

生活心理学科 学士（生活心理学）

地域マネジメント学部

地域マネジメント学科 学士（地域マネジメント学）

看護学部

看護学科 学士（看護学）

- ② 前項の卒業の認定は、教授会の意見を参考にして学長が行う。

第6章 入学、退学、転学、転部、転科、休学、留学および除籍

第22条 入学の時期は毎学期の始めとする。

第23条 本学に入学することのできる者は、次の各号の1に該当し、かつ本学において実施する入学者選抜試験に合格した者とする。

1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
3. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
5. 外国において、高等学校に対応する課程（その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを修了した者
6. 文部科学大臣の指定した者

7. 大学入学資格検定規程により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者および高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
 8. 第1号ないし前号に定める者以外で、本学において個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- ② 前項第7号に定める個別の入学資格審査について必要な事項は別に定める。

第24条 本学に入学を希望する者は、本学所定の書類に入学検定料25,000円を添えて提出しなければならない。

- ② 提出の時期・方法、同時に提出すべき書類等については別に定める。

第25条 本学の第3年次に編入学を希望する者が所定の書類を添えて志願したときは、教授会の意見を参考にして学長がこれを許可する。ただし、地域マネジメント学部については、編入学を認めない。

- ② 本学総合人間学部に編入学のできる者は、次の各号の1に該当する者とする。
1. 大学を卒業し、「学士」の学位を授与されている者
 2. 大学に2年以上在学し、60単位以上を修得した者
 3. 短期大学を卒業した者
 4. 大学または短期大学に準ずる学校を卒業した者
 5. 外国よりの帰国者または留学生で、上記の各号のいずれかに相当すると認められた者
 6. 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
 7. 高等学校の専攻科の課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- ③ 本学看護学部に編入学のできる者は、日本の看護師資格を有し、次の各号の1に該当する者とする。
1. 短期大学（外国の短期大学及び、我が国において外国の短期大学相当として指定された学校（文部科学大臣指定外国大学（短期大学相当）日本校）を除く。）の看護学科を卒業した者
 2. 専修学校の看護系の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
 3. 高等学校の看護系専攻科の課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- ④ 編入学を許可された者の、既に修得した授業科目および単位数の取扱い並びに修業年限については、教授会の意見を参考にして学長が決定する。
- ⑤ 編入学に必要な事項は、別に定める。

第26条 願いにより本学を退学した者または第38条第3号により除籍された者が、再入学を希望するときは選考のうえ入学を許可することがある。

- ② 前項の場合、退学または除籍前に修得した単位の全部または一部を既に修得したものと認めることがある。この認定は、教授会の意見を参考にして学長が行う。
- ③ 再入学に必要な手続きは別に定める。

第27条 本学に入学を許可された者は、指定の期間内に入学金、その他の学納金および本学の

指定する書類を提出しなければならない。

- ② 前項の手続きを怠った者には入学許可を取り消す。

第28条 入学を許可された者は、保証人を定め、本学の指定する期間内に届け出なければならない。

第29条 保証人は学生の在学中のいっさいの事項について責任を持つものとする。

第30条 保証人は、父母または成年の親族、もしくはそれに代わる者とし、いずれも独立の生計を営む者とする。

第31条 保証人が変更したとき、転居したときは、直ちに届け出なければならない。

第32条 退学しようとする者は、その理由を詳記し、保証人連署のうえ、学長に願い出、その許可を得なければならない。

第33条 他の大学等へ転学を希望する者は、保証人連署のうえ、学長に願い出、その許可を得なければならない。

- ② 本学の他の学部へ転部または同一学部の他の学科へ転科を希望する者については、選考のうえ転部または転科を許可することがある。

- ③ 前項の転部および転科に関する必要な事項は、別に定める。

第34条 疾病その他やむを得ない事情により2か月以上修学することのできない者は、保証人連署のうえ休学を願い出ることができる。

- ② 前項の休学のうち疾病による場合は、医師の診断書を添付しなければならない。

第35条 休学の期間は通算して4年を超えることはできない。

- ② 休学の期間は修業年限に通算しない。

第36条 休学期間満了のとき、または休学期間であってもその事由が消滅したときは、学長の許可を得て復学することができる。

第37条 6か月以上外国の大学又は概ね1か月以上海外のインターンシップ受け入れ機関に留学して授業科目を履修しようとする者が保証人連署のうえ、その旨を願い出たときは、留学を許可することがある。

- ② 留学期間は、第3条に定める修業年限に1か年を限度として算入することができる。

- ③ 留学期間中、外国の大学において修得した単位については、第18条第2項の規定を準用する。

- ④ 留学に関する事項は別に定める。

第38条 次の各号の1に該当する者は、教授会の意見を参考にして学長が除籍する。

1. 死亡または行方不明の者
2. 履修登録を怠り修学の意志のない者
3. 授業料その他の学納金を滞納し、督促を受けても、なお納付しない者

第7章 授業料、入学金その他の費用

第39条 授業料、入学金その他の費用は別表5のように定める。

第40条 授業料の納付期は4月と10月の2期とする。ただし、4月に全納することを妨げない。また、特別の事情がある場合は分納または延納を認めることがある。

第41条 休学期間中は、授業料の半額を納入しなければならない。

第42条 退学もしくは転学した者、除籍された者、退学を命ぜられた者または停学中の者は該当期の授業料全額を納入しなければならない。

第43条 既納の授業料等納入金は、理由の如何を問わず返還しない。

② 前項の規定にかかわらず、次に掲げる授業料等相当額については、当該授業料等を納入していた者の申し出により、これを返還する。

1. 入学を許可するときに授業料等（入学金を除く。）を納入していた者が入学年度の前年度の3月31日までに入学を辞退した場合における当該授業料等相当額
2. 前期分授業料等徴収の際、後期分授業料等を合わせて納入していた者が後期授業開始前に休学又は退学の申し出を行いその許可を得た場合における後期分授業料等相当額
3. 入学許可をするときに授業料等を納入していた者が、入学後別に定める授業料等の減免措置を受けた場合における当該授業料等減免相当額

第8章 職員組織

第44条 本学に学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員その他必要な職員をおく。

② 本学に副学長をおくことができる。

第45条 職員の職務は、学校教育法の定めるところによる。

第9章 教授会

第46条 本学の学部に、教授会を置く。

第47条 (削除)

第48条 (削除)

第49条 (削除)

第50条 (削除)

第51条 教授会の運営に関して必要とする事項については、別に定める。

第10章 科目等履修生、聴講生、研究生、外国人留学生および帰国子女

第52条 本学において開設する授業科目のうち、1科目または複数の科目を選んで履修を希望する者があるときは、該当科目の授業に支障がない限りにおいて、選考のうえ、科目等履修生として入学を許可することがある。

- ② 科目等履修生について、必要な事項は別に定める。

第52条の2 本学において、本学専任教員指導の下に、特定事項に関する研究に従事することを希望する者があるときは、当該学部の教育研究に支障のない場合に限り、選考のうえ、研究生として入学を許可することがある。

- ② 研究生について、必要な事項は別に定める。

第52条の3 本学において、開設する授業科目のうち、1科目または複数の科目を選んで聴講を希望する者があるときは、当該科目の授業に支障がない限りにおいて、選考のうえ、聴講生として聴講を許可することがある。

- ② 聴講生について、必要な事項は別に定める。

第53条 外国人で本学に入学を希望する者があるときは、学長は、教授会の意見を参考にして、外国人留学生として許可することがある。

- ② 外国人留学生について、必要な事項は別に定める。

第54条 外国人留学生以外の者で、外国において相当の期間学校教育を受け、本学に入学を希望する者があるときは、帰国子女として許可することがある。

- ② 帰国子女に関する規定は別に定める。

第11章 賞 罰

第55条 学生として表彰に値する行為があつたときは、学長は、教授会の意見を参考にして表彰する。

第56条 本学の学則に違反し、また本学の学生としてあるまじき行為があつたときは、学長は、教授会の意見を参考にして懲戒する。

- ② 前項の懲戒は、退学、停学および訓告とする。
- ③ 前項の退学は、次の各号の1に該当する学生に対して行う。
 1. 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
 2. 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
 3. 正当の理由がなくて出席常でない者
 4. 大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第12章 公開講座

第57条 地域社会の教育・文化の向上に資するため、公開講座を設けることがある。

第13章 図書館

第58条 本学に図書館を置く。

- ② 図書館に関し必要な事項は別に定める。

第14章 厚生施設

第59条 本学に厚生施設として、学生会館、食堂等を置く。

- ② 学生会館等の運営に関し必要な事項があるときは別に定める。

第15章 附属施設

- 第60条 本学に大学教育研究センターを置く。
- ② 大学教育研究センターに関する規定は別に定める。

附 則 この学則は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 この改正は、平成 7 年 4 月 1 日から施行し、平成 6 年度の入学生から適用する。

附 則（平成 7 年 5 月 31 日）

この改正は、平成 7 年 5 月 31 日から施行し、平成 8 年度の入学生から適用する。

附 則（平成 8 年 3 月 14 日）

この改正は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。ただし、別表 5 については平成 6 年度入学生から、別表 7 について平成 8 年度入学生（編入学生を含む）から適用する。

附 則（平成 8 年 11 月 26 日）

1. この改正は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。
2. この改正の施行の日前に、次の表の左欄に掲げる改正前の授業科目の単位を修得した者は、右欄に掲げる改正後の授業科目の単位を修得した者とみなす。

改 正 前		改 正 後	
社会教育概論	2 単位	生涯学習概論	2 単位
博物館学Ⅰ	2 単位	博物館学	2 単位
博物館学Ⅱ	2 単位	博物館学各論Ⅰ	2 単位
		博物館学各論Ⅱ	2 単位
教育原理	2 単位	教育学概論	2 単位
教育方法（視聴覚教育 1 単位を含む）	2 単位	教育方法論（視聴覚メディア論 1 単位を含む）	2 単位
博物館実習	3 単位	博物館実習（事前・事後の指導 1 単位を含む）	3 単位

- 附 則 1. この改正は、平成 10 年 4 月 1 日から施行する。ただし第 8 条第 3 項、第 19 条、第 20 条第 1 項、別表 1、別表 2 については、平成 10 年度入学生から適用する。
2. この改正の施行日前に入学した者の授業科目の履修については、別に定める。

附 則 この改正は、平成 11 年 4 月 1 日から施行する。

- 附 則 1. この改正は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 19 条、第 20 条、別表 1、別表 2 および別表 3 については、平成 12 年度の入学生から適用する。
2. 別表 1、別表 2 および別表 3 の改正について、「法律学概論」、「政治学概論」、「社会学概論」、「経済学概論」および「心理学概論」は、平成 11 年度以前入学生が平成 12 年度以降履修する場合には、一般教養科目および教職の教科に関する科目として適用する。

附 則 この改正は、平成 12 年 5 月 19 日から施行する。

- 附 則 1. この学則の改正は、文部大臣の認可の日（平成 12 年 12 月 21 日）から施行する。
2. 改正後の学則第 2 条の規定にかかわらず、収容定員は平成 13 年度から平成 15 年度までは次のとおりとする。

学 部	学 科	収 容 定 員		
		平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度
国 際 文 化 学 部	コミュニケーション学科	300	290	290
	比 較 文 化 学 科	310	270	240

附 則 この改正は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 8 条第 3 項、別表 1、別表 2 および別表 3 については、平成 13 年度の入学生から適用する。

附 則 この改正は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。ただし、別表 3 については、平成 12 年度の入学生から適用する。

- 附 則 1. この改正は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。
2. 国際文化学部コミュニケーション学科および比較文化学科は、改正後の学則第 2 条の規定にかかわらず、平成 15 年 3 月 31 日に当該学科に在学する者が在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
3. 収容定員は学則第 2 条の規定にかかわらず、平成 15 年度から平成 17 年度までの間次のとおりとする。

学 部	学 科	平成 15 度	平成 16 度	平成 17 度
コミュニケーション学部	コミュニケーション学科	120	240	370
国 際 文 化 学 部	コミュニケーション学科	220	150	75
	比 較 文 化 学 科	190	110	55

附 則 この改正は、平成 15 年 4 月 1 日から施行し、平成 15 年度の入学生から適用する。

附 則 この改正は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 20 条第 1 項および別表 1 については平成 15 年度入学生から適用し、第 28 条、第 30 条、第 32 条乃至第 34 条、第 37 条については平成 17 年度入学生から適用する。

附 則 この改正は、第 23 条第 7 号については平成 16 年 4 月 1 日から、同条第 6 号については、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 この改正は、平成 18 年 4 月 1 日から施行し、平成 18 年度入学生から適用する。

附 則 この改正は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

- 附 則 1. この改正は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。
2. コミュニケーション学部コミュニケーション学科は、平成 21 年 4 月 1 日より学生募集を停止し、平成 24 年 3 月 31 日に当該学科に在学する者が在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
3. 収容定員は学則第 2 条の 2 の規定にかかわらず、平成 21 年度から平成 23 年の間、次のとおりとする。

学 部	学 科	平成 21 度	平成 22 度	平成 23 度
コミュニケーション学部	コミュニケーション学科	380	260	130

附 則 この改正は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 この改正は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 この改正は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。ただし、別表 4 については、平成 22 年度の入学生から適用する。

附 則 この改正は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 10 条および第 15 条については平成 23 年度入学生から適用する。

附 則 この改正は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 20 条第 1 項、別表 3 および別表 4 については平成 24 年度入学生から適用し、別表 2 については平成 21 年度入学生から適用する。

附 則 この改正は、平成 25 年 4 月 1 日から施行し、平成 25 年度入学生から適用する。ただし、第 1 条、第 8 条の 6、第 20 条第 3 項および別表 3 の司書養成課程に係る規定については、平成 25 年度以前の入学生にも適用する。

附 則 この改正は、平成 26 年 4 月 1 日から施行し、平成 26 年度入学生から適用する。

附 則 この改正は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 この改正は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。ただし、別表第 1 および別表第 2 の規定は平成 27 年度入学生から適用する。

附 則 この改正は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 この改正は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。(平成 28 年 5 月 19 日改正)

附 則 この改正は、平成 29 年 4 月 1 日から施行し、平成 29 年度入学生から適用する。(平成 28 年 9 月 15 日改正)

附 則 この改正は、平成 29 年 4 月 1 日から施行し、平成 29 年度入学生から適用する。

附 則 この改正は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 この改正は、平成 29 年 5 月 18 日から施行し、平成 30 年度入学生から適用する。

附 則 この改正は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 この改正は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

- 附 則 1. この改正は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。
2. 総合人間学部生活心理学科心理学コース及び生活科学コースは、改正後の学則第 2 条の 2 の規定にかかわらず、平成 33 年 3 月 31 日に当該学科の当該コースに在学する者が在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
3. 総合人間学部の収容定員は学則第 2 条の 2 の規定にかかわらず、平成 30 年度から平成 32 年度までの間次のとおりとする。

学 部	学 科	収 容 定 員			
		平成30年度	平成31年度	平成32年度	
総合人間学部	言語文化学科	220	190	160	
	生活心理学科	心理学コース	96	66	33
		生活科学コース	94	64	32
			30	60	95

附 則 この改正は、平成 30 年 4 月 1 日から施行し、改正後の第 8 条の 2、第 20 条、別表 1 及び別表 4 の規定は平成 30 年度入学生から適用する。

附 則 この改正は、平成 31 年 4 月 1 日から施行し、平成 31 年度入学生から適用する。

附 則 この改正は、平成 31 年 4 月 1 日から施行し、平成 31 年度入学生から適用する。(平成 30 年 10 月 11 日改正)

附 則 この改正は、平成 31 年 4 月 1 日から施行し、平成 31 年度入学生から適用する。(平成 31 年 3 月 12 日改正)

附 則 この改正は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 この改正は、令和 2 年 4 月 2 日から施行し、令和 2 年度前期の授業から適用する。

附 則 この改正は、令和 3 年 4 月 1 日から施行し、令和 3 年度入学生から適用する。

附 則 令和 3 年 月 日 文部科学大臣認可のこの改正は、令和 4 年 4 月 1 日から施行し、令和 4 年度入学生から適用する。

■ 別表1 総合人間学部

①言語文化学科

授業科目の区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
共通教育科目(全学共通)				
山陽スタンダード	人間学	2		
	知的生き方概論	2		
	計	4		
共通教育科目(学部共通)				
一般教養科目群	哲学		2	
	倫理学		2	
	自然科学概論		2	
	心理学		2	
	人権教育		2	
	法学		2	
	日本国憲法		2	
	基礎経済学		2	
	社会学		2	
	文化人類学		2	
	環境論		2	
	論理学		2	
	数学基礎		2	
	統計学		2	
	生活の科学		2	
	生物学		2	
	ボランティア論		2	
	手話コミュニケーション		2	
	デザイン史		2	
	地域貢献		2	
	スポーツ科学A			1
	スポーツ科学B			1
	語学科目群	英語総合読解Ⅰ	1	
英語総合読解Ⅱ		1		
英語聴取表現Ⅰ		1		
英語聴取表現Ⅱ		1		
英会話Ⅰ			1	
英会話Ⅱ			1	
検定英語Ⅰ			1	
検定英語Ⅱ			1	
フランス語Ⅰ			2	
フランス語Ⅱ			2	
中国語Ⅰ			2	
中国語Ⅱ			2	
中級中国語Ⅰ			1	
中級中国語Ⅱ			1	
ハンガールⅠ			2	
ハンガールⅡ			2	
中級ハンガール			1	
日本語A			1	
日本語B			1	
日本語C			1	
日本語D			1	
日本語E			1	

一次頁に続くー

授業科目の区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
就職支援科目群	日本語 F		1	
	日本語 G		1	
	日本語 H		1	
	日本語・日本事情 A		1	
	日本語・日本事情 B		1	
	ビジネス実務論 I		2	
	ビジネス実務論 II		2	
	企業協働型ラーニング I		2	
	企業協働型ラーニング II		2	
	企業協働型ラーニング III		2	
	NLPビジネス心理実践学 I		2	
	NLPビジネス心理実践学 II		2	
	経営学・キャリア学基礎		2	
	ビジネス英語研究		2	
	ビジネスプランニング演習		2	
	簿記論		2	
	簿記演習		2	
	インターンシップ		2	
	社会人入門		1	
	教養情報科目群	一般教養論 A		2
一般教養論 B			2	
観光学概論			2	
コンピュータ入門		2		
データ活用入門		2		
コンピュータ日本語			2	
データ活用			2	
情報資格基礎			2	
情報処理概論			2	
計		8	112	
専門教育科目				
コア科目群	基礎演習 I	2		
	基礎演習 II	2		
	コミュニケーション概論 I	2		
	コミュニケーション概論 II	2		
	異文化理解演習 I	2		
	異文化理解演習 II	2		
	異文化理解演習 III	2		
	文章表現法 I	2		
	文章表現法 II	2		
	口頭表現法	2		
	特別演習	2		
	卒業研究 I	2		
	卒業研究 II	2		
	日本・アジア科目群	日本語教育概論		2
日本語学概論			2	
古典文学史			2	
近現代文学史			2	
アジアの歴史と文化			2	
書道			1	
アジアの美術			2	
日本語史			2	
日本語教授法		2		

一次頁に続くー

授業科目の区分	授 業 科 目	単位数		備 考
		必修	選択	
英語科目群	日 本 語 学 特 講 A		2	
	日 本 語 学 特 講 B		2	
	日 本 語 学 特 講 C		2	
	言 語 学 概 論		2	
	日 本 語 文 法 論		2	
	日 本 史		2	
	日 本 の 地 域 と 社 会		2	
	日 本 文 学 講 読		2	
	日 本 作 家 作 品 研 究		2	
	現 代 中 国 論		2	
	日 中 関 係 史		2	
	漢 詩 文		2	
	オリエントの歴史と文化		2	
	朝 鮮 の 歴 史 と 文 化		2	
	日 本 文 学 特 講		2	
	日 本 文 化 論		2	
	古 文 書 学 概 論		2	
	アジアの地域と社会		2	
	現 代 ア ジ ア 事 情		2	
	世 界 遺 産 資 源 論		2	
	伝 統 文 化 論		2	
	現 代 韓 国 論		2	
	英語セルフ・アクセスⅠ		2	
	英語セルフ・アクセスⅡ		2	
	英 語 実 践 演 習 Ⅰ		2	
	英 語 実 践 演 習 Ⅱ		2	
	英 作 文 Ⅰ		2	
	英 作 文 Ⅱ		2	
	英 語 の 構 造 A		1	
	英 語 の 構 造 B		1	
	英語コミュニケーション演習AⅠ		2	
	英語コミュニケーション演習AⅡ		2	
	英語コミュニケーション演習BⅠ		2	
	英語コミュニケーション演習BⅡ		2	
	英語コミュニケーション演習CⅠ		2	
	英語コミュニケーション演習CⅡ		2	
	Academic English Ⅰ		2	
	Academic English Ⅱ		2	
	児 童 英 語		2	
	翻 訳 英 語		2	
	英 語 学 概 論		2	
	西 洋 の 美 術		2	
英 語 圏 文 化 A		2		
英 語 圏 文 化 B		2		
英 米 文 学 概 論 Ⅰ		2		
英 米 文 学 概 論 Ⅱ		2		
英 米 文 学 講 読		2		
ヨーロッパの歴史と文化		2		
観 光 英 語		2		
ア ジ ア の 英 語		2		
実習系・留学系科目群	短 期 語 学 研 修 A		1	
	短 期 語 学 研 修 B		2	

一次頁に続くー

授業科目の区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	長期留学 A		6	
	長期留学 B		6	
	長期留学 C		6	
	長期留学 D		6	
	異文化理解実習 A		1	
	異文化理解実習 B		1	
	日本語教育実習		1	
	海外インターンシップ		2	
	計	26	147	

②生活心理学科

授業科目の区分	授業科目	単位数		備考	
		必修	選択		
共通教育科目(全学共通)					
山陽スタンダード	人間学	2			
	知的生き方概論	2			
	計	4			
共通教育科目(学部共通)					
一般教養科目群	哲学		2		
	倫理学		2		
	自然科学概論		2		
	心理学		2		
	人権教育		2		
	法学		2		
	日本国憲法		2		
	基礎経済学		2		
	社会学		2		
	文化人類学		2		
	環境論		2		
	論理学		2		
	数学基礎		2		
	統計学		2		
	生活の科学		2		
	生物学		2		
	ボランティア論		2		
	手話コミュニケーション		2		
	デザイン史		2		
	地域貢献		2		
	スポーツ科学A		1		
	スポーツ科学B		1		
	国際理解A		1		
	国際理解B		2		
	語学科目群	英語総合読解I	1		
		英語総合読解II	1		
英語聴取表現I		1			
英語聴取表現II		1			
英会話I			1		
英会話II			1		
検定英語I			1		
検定英語II			1		
フランス語I			2		
フランス語II			2		
中国語I			2		
中国語II			2		
中級中国語I			1		
中級中国語II			1		
ハンゲルI			2		
ハンゲルII			2		
中級ハンゲル			1		
日本語A			1		
日本語B			1		
日本語C			1		
日本語D		1			
日本語E		1			

一次頁に続くー

授業科目の区分	授 業 科 目	単位数		備 考
		必修	選択	
就職支援科目群	日 本 語 F		1	
	日 本 語 G		1	
	日 本 語 H		1	
	日本語・日本事情 A		1	
	日本語・日本事情 B		1	
	ビジネス実務論 I	2		
	ビジネス実務論 II	2		
	企業協働型ラーニング I		2	
	企業協働型ラーニング II		2	
	企業協働型ラーニング III		2	
	NLPビジネス心理実践学 I		2	
	NLPビジネス心理実践学 II		2	
	経営学・キャリア学基礎		2	
	ビジネス英語研究		2	
	ビジネスプランニング演習		2	
	簿 記 論		2	
	簿 記 演 習		2	
	インターンシップ		2	
	社 会 人 入 門	1		
	教養情報科目群	一 般 教 養 論 A		2
一 般 教 養 論 B			2	
観 光 学 概 論			2	
コ ン ピ ュ ー タ 入 門		2		
デ ー タ 活 用 入 門		2		
コ ン ピ ュ ー タ 日 本 語			2	
デ ー タ 活 用			2	
情 報 資 格 基 礎			2	
情 報 処 理 概 論			2	
計		13	110	
専 門 教 育 科 目				
生活心理学科目群	基 礎 演 習 A	2		
	基 礎 演 習 B	2		
	心 理 学 概 論	2		
	生 活 心 理 学 概 論	2		
	衣 生 活 論		2	
	食 生 活 論		2	
	住 生 活 論		2	
	生 活 心 理 学 特 別 演 習		2	
	卒 業 研 究 I		2	
	卒 業 研 究 II		2	
	卒 業 論 文 I		2	
	卒 業 論 文 II		6	
	プ ロ グ ラ ミ ン グ		2	
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 演 習		2	
	心理社会科目群	I T バ ス ポ ー ト		2
I T バ ス ポ ー ト 演 習			2	
被 服 心 理 学			2	
法 律 学 概 論			2	
政 治 学 概 論			2	
心 理 学 実 験			4	
心 理 学 研 究 法			2	
心 理 学 統 計 法		2		

－次頁に続く－

授業科目の区分	授 業 科 目	単位数		備 考
		必修	選択	
子ども支援科目群	感情・人格心理学		2	
	知覚・認知心理学		2	
	多変量解析法		2	
	心理社会調査論		2	
	心理社会調査法		2	
	心理社会調査演習		4	
	神経・生理心理学		2	
	産業・組織心理学		2	
	学習・言語心理学		2	
	保育学概論		2	
	音楽Ⅰ		1	
	音楽Ⅱ		1	
	表現		1	
	発達心理学		2	
	臨床心理学概論		2	
	福祉心理学		2	
	心理的アセスメント		2	
	子どもの食と栄養		2	
	国語表現法		2	
	保育学演習		2	
	健康・医療心理学		2	
	司法・犯罪心理学		2	
	社会・集団・家族心理学		2	
	障害者・障害児心理学		2	
	心理演習		2	
	心理学的支援法		2	
計		8	93	

■ 別表2 地域マネジメント学部

授業科目の区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
共通教育科目(全学共通)				
山陽スタンダード	人間学	2		
	知的生き方概論	2		
	計	4		
共通教育科目				
一般教養科目	吉備・岡山学	2		
	食文化論		2	
	哲学		2	
	法学		2	
	環境論		2	
	数学基礎		2	
	統計学		2	
	OR入門		2	
	生物学		2	
	自然科学概論		2	
	基礎経済学		2	
	文化人類学		2	
	英語総合読解Ⅰ		1	
	英語総合読解Ⅱ		1	
	英語聴取表現Ⅰ		1	
	英語聴取表現Ⅱ		1	
	コンピュータ入門		2	
	データ活用入門		2	
	情報処理概論		2	
	情報基礎		2	
計	2	34		
専門教育科目				
学部基本科目	地域文化論	2		
	経営学概論	2		
	ビジネスフレームワーク	2		
	地域産業論	2		
	デザイン論	2		
	地域産業マネジメント論	2		
	地域産業融合論	2		
	ベンチャービジネス論	2		
	地域産業戦略論	2		
	社会調査論	2		
	地域実践Ⅰ(入門)	1		
	地域実践Ⅱ	1		
	地域実践Ⅲ	1		
	地域実践Ⅳ	1		
	地域マネジメント実習	10		
	卒業研究基礎	2		
	卒業研究Ⅰ	2		
	卒業研究Ⅱ	2		
	計	40		
	アグリ産業科目	アグリ産業概論	2	
アグリ設計論			2	
アグリ産業各論			2	
アグリ産業演習			1	
アグリ産業マネジメント演習			1	

—次頁に続く—

授業科目の区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	アグリ産業融合各論		2	
	アグリ産業融合演習		1	
	アグリ産業戦略演習		1	
	計	2	10	
ものづくり産業科目	ものづくり概論	2		
	ものづくり設計論		2	
	ものづくり産業各論		2	
	ものづくり産業演習		1	
	ものづくり産業マネジメント演習		1	
	ものづくり産業融合各論		2	
	ものづくり産業融合演習		1	
	ものづくり産業戦略演習		1	
	計	2	10	
商い産業科目	地域の商い概論	2		
	商い設計論		2	
	商い産業各論		2	
	商い産業演習		1	
	商い産業マネジメント演習		1	
	商い産業融合各論		2	
	商い産業融合演習		1	
	商い産業戦略演習		1	
	計	2	10	
政策と地域づくり科目	地域社会学	2		
	地域政策概論	2		
	自治体概論	2		
	地域資源論		2	
	地方法務論		2	
	地域ビジネス論		2	
	コミュニティ設計論		2	
	地域ビジネス演習		1	
	町と村づくり計画		2	
	地域財政論		2	
	環境政策論		2	
	地域資源活用演習		1	
	町と村づくり演習		1	
	地域環境マネジメント論		2	
	政策と地域づくり演習		1	
	地域情報論	2		
	地域情報演習Ⅰ		1	
	地域情報演習Ⅱ		1	
	計	8	22	
経営実務科目	インターンシップ入門	1		
	インターンシップ	1		
	簿記・会計論	2		
	簿記・会計Ⅰ	1		
	簿記・会計Ⅱ	1		
	簿記・会計Ⅲ		1	
	ファイナンシャルプラン入門		2	
	ファイナンシャルプランⅠ		1	
	ファイナンシャルプランⅡ		1	
	ファイナンシャルプランⅢ		1	
	計	6	6	
	計	66	92	

■ 別表3 看護学部看護学科

授業科目の区分		授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
共通教育科目(全学共通)					
山陽スタンダード		人間学	2		
		知的生き方概論	2		
		計	4		
共通教育科目					
教 養 科 目	人間と健康	哲学		2	
		心理学	2		
		人権教育		2	
		スポーツ科学A		1	
		スポーツ科学B		1	
	社会と環境	社会学	2		
		日本国憲法		2	
		法学		2	
		基礎経済学		2	
		文化人類学		2	
		環境論	2		
		自然科学基礎		2	
		生物学	2		
		日中関係史		2	
		国際理解		2	
	生活の理解	生活の科学		2	
		児童福祉		2	
		ボランティア論	2		
		手話コミュニケーション		2	
		地域貢献		2	
	言語と情報	英語I		2	
		英語II	2		
		英語III	2		
		中国語入門		2	
		ハンゲル入門		2	
		コンピュータ入門		2	
		数学基礎・統計学入門	2		
統計学			2		
計		16	38		
専門教育科目					
専 門 基 礎 科 目	人間の理解	解剖生理学I	2		
		解剖生理学II	1		
		生化学	2		
		発達心理学		2	
		人間関係論	1		
		臨床心理学		1	
		生命・医療倫理	1		
		医療安全	1		
		臨床コミュニケーション		1	
	行動科学		1		
	疾病の成り立ちと回復	微生物学	2		
		薬理学	2		
		病理学	2		
		疾病・治療論I	1		
疾病・治療論II		1			
					感染・免疫学を含む

—次頁に続く—

授業科目の区分	授業科目	単位数		備考	
		必修	選択		
豊かな生活と保健・福祉	疾病・治療論Ⅲ	1		食品学を含む	
	疾病・治療論Ⅳ	1			
	疾病・治療論Ⅴ	1			
	疾病・治療論Ⅵ	1			
	疾病・治療論Ⅶ	1			
	疾病・治療論Ⅷ	1			
	栄 養 学	2			
	臨 床 検 査 学	1			
	保 健 医 療 福 祉 行 政 論	2			
	社 会 福 祉 論	2			
	保 健 統 計 学		2	予防医学を含む	
	健 康 ・ 医 療 心 理 学		2		
	衛 生 学 ・ 公 衆 衛 生 学 Ⅰ	2			
	衛 生 学 ・ 公 衆 衛 生 学 Ⅱ		1		
	疫 学	2			
	学 校 保 健		2		
	養 護 概 説		2		
	健 康 相 談 活 動 論		2		
	産 業 保 健		1		
	地 域 福 祉 論		1		
社 会 保 障 制 度	1				
チ ャ ム 医 療 論	1				
計	35	18			
専 門 科 目	基 礎 看 護 学	看 護 学 概 論	1		救急処置を含む
		看 護 倫 理 学	1		
		基 礎 看 護 技 術 Ⅰ	2		
		基 礎 看 護 技 術 Ⅱ	2		
		基 礎 看 護 技 術 Ⅲ	1		
		フ ィ ジ カ ル ア セ ス メ ン ト	1		
		感 染 看 護 学	1		
		基 礎 看 護 学 実 習 Ⅰ	1		
		基 礎 看 護 学 実 習 Ⅱ	2		
	成 人 ・ 老 年 看 護 学	成 人 看 護 学 概 論	1		
		成 人 看 護 学 援 助 論 Ⅰ	1		
		成 人 看 護 学 援 助 論 Ⅱ	1		
		成 人 看 護 学 援 助 論 Ⅲ	2		
		成 人 看 護 学 援 助 論 Ⅳ	1		
		成 人 看 護 学 実 習 Ⅰ	3		
		成 人 看 護 学 実 習 Ⅱ	2		
		成 人 看 護 学 実 習 Ⅲ	1		
		老 年 看 護 学 概 論	1		
		老 年 看 護 学 援 助 論	2		
		老 年 看 護 学 実 習	4		
	母 性 ・ 小 児 看 護 学	母 性 看 護 学 概 論	1		
		母 性 看 護 学 援 助 論	2		
		母 性 看 護 学 実 習	2		
	小 児 看 護 学 概 論	1			
	小 児 看 護 学 援 助 論	2			
	小 児 看 護 学 実 習	2			
在 宅 ・ 精 神 看 護 学	在 宅 看 護 学 概 論	1			
	在 宅 看 護 学 支 援 論	2			

－次頁に続く－

授業科目の区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
公衆衛生看護学	在宅看護学実習	2		
	精神看護学概論	1		
	精神看護学援助論Ⅰ	1		
	精神看護学援助論Ⅱ	1		
	精神看護学実習	2		
	公衆衛生看護学概論		1	保健師必修
	公衆衛生看護活動展開論Ⅰ		2	保健師必修
	公衆衛生看護活動展開論Ⅱ		2	保健師必修
	公衆衛生看護学演習Ⅰ		2	保健師必修
	公衆衛生看護学演習Ⅱ		2	保健師必修
総合看護	公衆衛生看護学演習Ⅲ		2	保健師必修
	公衆衛生看護学実習		3	保健師必修
	地区活動実習		2	保健師必修
	地域の健康と看護	1		
	家族看護学	1		
	災害看護学	1		
	国際看護学	1		
	緩和医療学		2	
	救命救急医療		1	
	看護管理学	1		
	研究方法論	2		
	看護ゼミナール	2		
	卒業研究	2		
総合実習	2			
看護の統合と実践	2			
計		66	19	

■ 別表4 免許・資格等に関する科目

授業科目の区分	授業科目	単位数	備考
教職に関する科目	教 職 論	2	中一種免は必修 教育課程の意義及び編成の方法を含む 進路指導を含む カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。 中一種免、高一種免 養一種免 養一種免 中一種免、高一種免 中一種免 中一種免 高一種免 高一種免 中一種免 高一種免 高一種免 中一種免 高一種免 高一種免 高一種免 高一種免 高一種免 高一種免 中一種免 高一種免
	教 育 学 概 論	2	
	教 育 ・ 学 校 心 理 学	2	
	教 育 行 政 論	2	
	特 別 支 援 教 育	2	
	道 徳 教 育 論	2	
	特別活動・総合的な学習指導論	2	
	教育課程・教育方法論	2	
	生徒指導・キャリア教育指導論	2	
	教 育 相 談	2	
	教職実践演習（中・高）	2	
	教職実践演習（養護）	2	
	養 護 実 習	5	
	教 育 実 習 I	2	
	教 育 実 習 II	2	
	教 育 実 習 指 導	1	
	国語科教育法 I	2	
	国語科教育法 II	2	
	国語科教育法 III	2	
	国語科教育法 IV	2	
	英語科教育法 I	2	
	英語科教育法 II	2	
	英語科教育法 III	2	
	英語科教育法 IV	2	
公民教育法 I	2		
公民教育法 II	2		
計	54		
学芸員に関する科目	博 物 館 学 概 論	2	博物館情報・メディア論 学内実習 館園実習
	博 物 館 経 営 論	2	
	博 物 館 展 示 論	2	
	博 物 館 資 料 論	2	
	博 物 館 資 料 保 存 論	2	
	博 物 館 教 育 論	2	
	生涯学習概論	2	
	情報メディアの活用	2	
	博 物 館 実 習 I	2	
	博 物 館 実 習 II	1	
計	19		
司書に関する科目	生涯学習概論	2	
	図 書 館 概 論	2	
	図書館制度・経営論	2	
	図書館情報技術論	2	
	図書館サービス概論	2	
	情報サービス論	2	
	児童サービス論	2	
	情報サービス演習 I	1	
	情報サービス演習 II	1	
	図書館情報資源概論	2	
	情報資源組織論	2	
	情報資源組織演習 I	1	
	情報資源組織演習 II	1	

— 次頁に続く —

授業科目の区分	授 業 科 目	単位数	備 考
	図 書 館 基 礎 特 論	1	
	図 書 館 サービス特論	1	
	図 書 ・ 図 書 館 史	1	
	計	25	
学校図書館司書教諭に関する科目	学校経営と学校図書館	2	
	学校図書館メディアの構成	2	
	学習指導と学校図書館	2	
	読書と豊かな人間性	2	
	情報メディアの活用	2	
	計	10	

■ 別表5 授業料、入学金その他の費用

学 部	入学金	授業料	教育充実資金	実験・実習料	計
総合人間学部	300,000円	700,000円	150,000円	—	1,150,000円
地域マネジメント学部	300,000円	700,000円	150,000円	—	1,150,000円
看護学部	300,000円	800,000円	350,000円	300,000円	1,750,000円

総合人間学部および地域マネジメント学部において、上記以外に実験・実習料として実費を徴収することがある。

学則の変更事項を記載した書類

変更の事由

総合人間学部言語文化学科の入学定員等を変更するため

変更点

第2条の2 総合人間学部言語文化学科の学生定員の変更

附則 改正の施行時期の追加

変更部分の新旧対照表

新					旧				
第2条の2 本学において設置する学部の学科およびその学生定員は次のとおりとする。					第2条の2 本学において設置する学部の学科およびその学生定員は次のとおりとする。				
学 部	学 科	入学定員	編入学定員 3年次	収容定員	学 部	学 科	入学定員	編入学定員 3年次	収容定員
総合人間学部	言語文化学科	60	5	250	総合人間学部	言語文化学科	40	5	170
	生活心理学科	30	5	130		生活心理学科	30	5	130
地域マネジメント学部	地域マネジメント学科	50	—	200	地域マネジメント学部	地域マネジメント学科	50	—	200
看護学部	看護学科	78	4	320	看護学部	看護学科	78	4	320
<p>附 則</p> <p>令和3年 月 日 文部科学大臣認可のこの改正は、令和4年4月1日から施行し、令和4年度入学生から適用する。</p>									

学則の変更の趣旨等を記載した書類

目 次

1	学則変更（収容定員変更）の内容	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 2
2	学則変更（収容定員変更）の必要性	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 2
3	学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 4
	（1）教育課程の変更内容	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 4
	（2）教育方法及び履修指導方法の変更内容	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 5
	（3）教員組織の変更内容	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 6
	（4）大学全体の施設・設備の変更内容	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 7

1 学則変更（収容定員変更）の内容

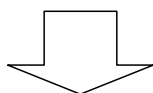
山陽学園大学では、令和4年4月から山陽学園大学学則第2条の2に定める入学定員について、総合人間学部言語文化学科の入学定員を40人から60人、収容定員を170人から250人に変更し、生活心理学科と併せた総合人間学部全体の収容定員を300人から380人に変更する。

大学全体としての収容定員820人を80人増加し、900人とする。

(令和3年度)

(単位：人)

学 部	学 科	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
総合人間学部	言語文化学科	40	5	170
	生活心理学科	30	5	130
小 計		70	10	300
地域マネジメント学部	地域マネジメント学科	50	0	200
看護学部	看護学科	78	4	320
合 計		198	14	820



(令和4年度)

(単位：人)

学 部	学 科	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
総合人間学部	言語文化学科	<u>60</u>	5	<u>250</u>
	生活心理学科	30	5	130
小 計		<u>90</u>	10	<u>380</u>
地域マネジメント学部	地域マネジメント学科	50	0	200
看護学部	看護学科	78	4	320
合 計		<u>218</u>	14	<u>900</u>

2 学則変更（収容定員変更）の必要性

山陽学園の淵源は、明治初期のわが国における女子教育の黎明期に、地元岡山の先覚者たちによって創設された山陽英和女学校にある。建学の趣旨に「男女は車の両輪である」と謳い、その当時から今日いわれている「男女共同参画社会」を展望した教育を実施している。

創設4年目に上代淑を教師に迎え、彼女が身をもって範を示した「愛と奉仕」の教えは、教え子たちの心に深く刻まれるとともに、地域社会からも厚い信頼を得て、本学の教育理念として世代から世代へと脈々と伝えられている。

学園創立以来、本学は一貫して培われた「愛と奉仕の精神」を基盤とし、教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い、高等学校教育の基礎のうえに、学術の中心として総合人間学、地域マネジメント学及び看護学に関する専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い豊かな人間性を涵養することを目的に教育活動を展開しているところである。

その中であって、総合人間学部は、国際化、情報化、多様化した現代社会の中で、自己を確立して人間らしく生き、より良好な社会や人間関係を構築するための理念や方途を教育研究し、それによって次世代を担う人材の養成を目的にしており、言語文化学科は、英語、日本語及び東アジアの言語を実践的に学ぶとともに、言語の背景にある社会的、文化的な特質を教育研究し、多文化共生の理念に基づき、地域社会や国際社会に貢献できる人材を育成することを目的に教育活動を実践してきた。

しかしながら、少子化の進行による18歳人口の減少という社会現象の中、総合人間学部の学生募集については、定員未充足という状況が続き、大学改革が喫緊の課題となっていた。

そこで、平成30年度に、地域社会ニーズに即した地域マネジメント学部（入学定員60人）を新設し、その期に併せて、総合人間学部言語文化学科、生活心理学科の各学科の入学定員をそれぞれ30人減員したところである。

この減員の改革に併せて、言語文化学科では、「日本・アジアコース」、「英語コース」の2コースを設け、学科が目指す人材養成像を明確にする教育改革を行ったところである。

このこともあって、言語文化学科については、入学定員を減じたことによる入学定員充足率の大幅な改善だけでなく、志願者数においても従前に比較して大幅に増加している。

<総合人間学部言語文化学科>

年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
入学定員	60人	60人	30人	30人	30人
志願者	57人	73人	106人	119人	161人
入学者	36人	41人	50人	41人	43人
入学定員充足率	60.0%	68.3%	166.7%	136.7%	143.3%

※平成30年度に入学定員を30人減。志願者数には、学内併願者を含む。

このことに加えて、近年、インバウンドを中心とする訪日外国人数は急速に増加しており、令和元年には平成26年の約1,341万人の約2.4倍に相当する約3,188万人となった。（※出典：日本政府観光局）

また、平成31年4月に、新たな在留資格として「特定技能」を創設する改正入管法が施行され、外国人労働者をはじめとする在留外国人の増大が見込まれる状況となっている。こうした訪日外国人や在留外国人の国籍や民族、文化は多様であることから、観光分野はもとより様々な分野で、異文化を理解し、コミュニケーションを図ることができる能力が必要となっている。このため、令和3年度に、言語文化学科において、カリキュラムの変更を行うとともに、入学定員を30人から40人に増員したところである。

今後とも、時代の流れとともに変化する社会に合わせながら、異なる文化や価値観を乗り越えて異文化を受容し、言語や文化の異なる人々との関係性を主体的に構築していくことのできる人材が求められており、言語文化学科では、高い志願倍率が続き受験生からの期待が高いことや、今後とも地域社会の人材ニーズの拡大が見込まれることから、言語文化学科の入学定員をさらに40人から60人に増員し、受験生のニーズや地域からの要請に応じる必要があると考えたところである。

3 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（1）教育課程の変更内容

総合人間学部は優れた人間性の形成を目指す人間教育を基軸とし、その中に、国際社会で活躍するに相応しい豊かな教養力の涵養を目的として言語文化学科を設置している。言語文化学科では、世界で広く使用されている英語と日本人の母語である日本語を実践的に教育研究すると同時に、日本との結び付きや交流が一層深まっている東アジアの言語も取り上げ、それぞれの言語の背景にある社会的、文化的特質をあわせて教育研究する学科である。すなわち、この学科は言語と文化の学びの基盤の上に、異文化理解の深化を通じて多文化社会での共生を目指し、真の人間理解、国際理解、国際平和に貢献する人材を養成することを目的としている。今回の収容定員変更後も、この学科の設置目的に変更はない。

総合人間学部の教育課程においては、全学科に共通して必要な人間教育の基本を学ぶ共通教育科目と、各学科の専門性を深める専門教育科目がある。言語文化学科の専門教育科目では、1年次の基礎演習、2年次の文章表現法、3年次の特別演習や口頭表現法、4年次の卒業研究など、日本語による思考力と表現力の涵養を目的とした科目と、多文化の共生を目的とした異文化コミュニケーション能力の開発と育成を目指し、1年次のコミュニケーション概論、2～3年次の異文化理解演習を必修科目として配置している。

これらの思考力・表現力及び異文化コミュニケーション力の育成の基盤となるのが言語と文化に関する専門的な学びである。語学教育については、第一外国語である英語だけでなく、ハンガール、中国語をはじめとする第二外国語の学修を義務付け、言語理解を深めると同時に、母語である日本語の表現法も含めた言語運用力の育成を図る。

また、日本及び韓国、中国、中央アジア、中近東、ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリ

アなど諸外国の文化に関して学ぶ科目を設け、言語の背景となる国や地域の社会、歴史、文学などの専門的な理解を深めていく。さらに、語学研修や留学などの海外体験科目を通じ、外国語運用力をさらに磨きながら、より実践的な異文化コミュニケーション力の育成を図る。

これに加え、資格取得を目的とする教職、学芸員、司書に関わる科目群を中心に、卒業要件に含まない自由科目を設定している。

平成21年度の学科設立以来、これまで平成25年度、平成29年度及び令和3年度と3度のカリキュラム改訂を行ってきた。2度目となる平成29年度の改訂では、言語と文化に関する専門性の深化と海外体験を通じた学修の重点化を図ることを目的に、専門選択科目を「日本・アジア科目群」、「英語科目群」、「実習系・留学系科目群」に分類し、学生の関心や卒業後の希望進路に応じて「日本・アジア系」あるいは「英語系」のどちらかを主軸として専門性を高めながら、互いの科目も履修できる緩やかなコース制を導入した。また、「実習系・留学系科目群」では、1週間程度の実習から1年の長期留学まで、学習の目的や期間、関心のある国や地域に応じて選択できるように科目を整備し、海外体験にかかる費用の一部を負担する助成金制度の充実を図り、両コースの学生に海外体験科目の履修を奨励している。

3度目となる令和3年度の改訂では、これまでの教育方針をさらに充実・発展させ、現代の多文化共生社会で国際的視野を持って活躍する人材を育成するという学科目的の実現を一層強く押し進めるものとした。

従来、観光関連産業は言語文化学科の卒業生が活躍する主要な分野の一つであり、平成29年度の改訂では共通教育科目のPBLプログラムの一部にホテル・エアラインコースを組み込むなどの見直しを行い、令和3年度の改訂では、それを学科のカリキュラム全体に反映させ、共通教育科目だけでなく専門教育科目も含めて充実を図ったところである。

まず、観光関連産業への対応力を高めるために「観光学概論」を設けて人間の文化活動としての観光資源を広く学ぶと同時に、「中級ハングル」を設置してアジア系言語力の強化と、「観光英語」、「アジアの英語」の新設によりインバウンドを中心とした多様な英語使用者に対応する意識を高め、英語の実践力を育成し、また、観光分野で役立つ文化に関する学びの充実を図るため、「伝統文化論」「世界遺産資源論」「現代韓国論」を新設すると同時に、既存科目の中でも観光分野で活躍する人材に求められる知識や能力を高める活動を多く取り入れていく。さらに、共生グローバル推進センターと協力し、海外体験を通じた学修のさらなる充実を図ることとしている。

このように効果的に機能している現在の教育課程については、収容定員変更後も継続して質的向上を図ることにより、変更前と同等の質を担保する。

(2) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

今回の収容定員変更により言語文化学科の収容定員は250人となり、専任教員一人あた

りの学生数は22.7人となるが、本学の教育方針である一人一人を大切にした教育の実践は可能な範囲である。

専門教育科目のうち1年次の基礎演習をはじめとする一部の必修科目においては、現在もクラス／グループ分けを行なっており、定員増加後も1クラス／グループの人数を20名程度に抑えることができる。その他の必修科目についても、グループでの討議、調査、発表を取り入れている科目が多く、これを継続することで学生が主体的、実践的に取り組む教育を維持することができる。英語科目の一部にはアドバンスト英語クラスを設け、一定の英語力以上の学生を対象に少人数教育を継続して実施することができる。

また、履修指導方法については、大学全体としてアドバイザー制度を導入し、学習面のみでなく学生生活面においても一人一人の学生に応じたきめ細かい指導や支援を行う体制が整っている。年度始めのオリエンテーションでは、学科の全教員が参加し、全学生を対象に学年別の全体説明と個別履修相談を組み合わせた履修指導を行なっている。

新入生に対しては基礎演習の担当教員がアドバイザーとして学生の興味や関心を引き出しながら、留学などの長期的な履修計画から資格取得や希望する卒業後の進路まで、学生のニーズに合った学習目標の設定と科目選択について適切な履修指導を実施している。2年次からは日本・アジアコースと英語コースに分かれ、原則としてそれぞれのコース教員がアドバイザーとなり、各コースに主軸を置いた履修計画に沿って学修するよう指導している。

令和3年度のカリキュラム改訂に伴い、観光関連産業での活躍を目指す学生には、企業との協働によるPBLプログラムに加え、新たに設定した「観光関連科目」の履修を奨励する。

オリエンテーション期間終了後もアドバイザーは定期的に面談を行い、履修計画の実施状況のモニターや必要な調整などについて指導を継続する。また、学期末ごとに全ての学生の単位数のチェックを行い、所定の単位数に満たない学生にはアドバイザーが責任を持って個別に指導すると同時に、保護者にも協力を求める体制が整っている。

以上のように、教育方法及び履修指導方法については、収容定員変更後も継続的に実施していくことにより、その質を担保する。

(3) 教員組織の変更内容

今回の収容定員変更に伴う教員組織の変更は行わない。言語領域、文化領域の専門教育科目に各分野の学位取得者を配置し、高度な専門教育を行うことができる教員組織となっており、専任教員数も現在のままで基準を充たしている。

アジアの言語の1つであるハングルについては、学科には専任教員の配置がないものの、大学間協定を結んでいる韓国の大学が複数あり、実習や留学を奨励することで、これら現地の大学と大学附属の語学教育機関で学ぶ機会を充実させている。

また、この学科には中学校・高等学校の英語及び国語の教職課程、学芸員課程、司書課程を置き、実務経験を持つ教員を配置するなど適切な教員配置が行われている。

(4) 大学全体の施設・設備の変更内容

岡山市郊外にあり、緑豊かなキャンパスを有しており、自然環境、教育環境等に考慮しながら、今後もこの環境を維持していく。

キャンパスの校地面積は、57,978.92 m²であり、延べ校舎面積は19,203.79 m²を有しており、校舎等の施設は、本館、A棟、B棟、C棟、D棟、E棟（図書館）、F棟（体育館）、G棟、創立百十周年記念館の9つの建物で構成されている。

B棟、C棟及び創立百十周年記念館の地階は短期大学専用、創立百十周年記念館の1階は地域マネジメント学部専用、G棟は看護学部専用としているが、本館、A棟、D棟などの建物について全学部・学科で共有し使用している。

教室は大規模教室4室、中規模教室5室、小規模教室8室を有しており、授業形態や履修学生数に合わせて、適正規模の教室で授業を行っている。

教員の研究室は、本館、A棟、D棟、E棟、G棟に分散配置しており、65室を設け、全教員58名に付与している。研究室は学生のオフィスアワー等での入室を認めており、個々の学生に応じたきめ細やかな個別指導を行うスペースとなっている。

また、運動場はキャンパス内に約4,000 m²あり、そのほかの運動用設備として、体育館、テニスコート（2面）、弓道場を備えている。

学生の休息の場としては、学生ホール、学生会館を設けている。学生ホールは400 m²で約250席あり、自動販売機、コイン式コピー機が設置されている。学生会館1階は220 m²余り、約50席でラウンジ部分と書籍や軽食を販売するエリアに分かれている。屋外にもUFO広場、A棟ピロティ、池周辺などの開放的なスペースの随所にベンチを配している。

以上のように、大学全体の施設・設備において、これまでと同等の教育環境は担保されている。

教育課程等の概要															
(総合人間学部言語文化学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通教育科目	人間学	1後	2			○									兼1
	知的生き方概論	1前	2			○			1						兼8
	小計（2科目）	—	4			—			1						兼8
一般教育養科目群	哲学	1前		2		○									兼1
	倫理学	2後		2		○									兼1
	自然科学概論	2後		2		○									兼1
	心理学	1前		2		○									兼1
	人権教育	2前		2		○									兼1
	法学	1前		2		○									兼1
	日本国憲法	2前		2		○									兼1
	基礎経済学	2前		2		○									兼1
	社会学	1後		2		○									兼1
	文化人類学	2後		2		○									兼1
	環境論	1後		2		○									兼1
	論理学	1前		2		○									兼1
	数学基礎	1前		2		○									兼1
	統計学	1後		2		○									兼1
	生活の科学	2前		2		○									兼1
	生物学	1後		2		○									兼1
	ボランティア論	1後		2		○									兼2
	手話コミュニケーション	2前		2		○									兼1
	デザイン史	2後		2		○									兼1
	地域貢献	2後		2		○									兼1
	スポーツ科学A	1前		1					○						兼1
	スポーツ科学B	1後		1					○						兼1
	共通教育科目群	英語総合読解Ⅰ	1前	1					○	2	1				
英語総合読解Ⅱ		1後	1					○	2	1					
英語聴取表現Ⅰ		1前	1					○	1	1	1				
英語聴取表現Ⅱ		1後	1					○	1	1	1				
英会話Ⅰ		1前		1				○							兼1
英会話Ⅱ		1後		1				○							兼1
検定英語Ⅰ		2前		1				○	2						
検定英語Ⅱ		2後		1				○	1	1					
フランス語Ⅰ		1前		2				○							兼1
フランス語Ⅱ		1後		2				○							兼1
中国語Ⅰ		1前		2				○	1						
中国語Ⅱ		1後		2				○	1						
中級中国語Ⅰ		2前		1				○	1						
中級中国語Ⅱ		2後		1				○	1						
ハングルⅠ		1前		2				○							兼1
ハングルⅡ		1後		2				○							兼1
中級ハングル	2前		1				○							兼1	
日本語A	1前		1				○	1							
日本語B	1後		1				○	1							
日本語C	1前		1				○	1							
日本語D	1後		1				○	1							
日本語E	1前		1				○	1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通教育科目	日本語F	1後		1				○		1						兼1 オムニバス	
	日本語G	1前		1				○		1							
	日本語H	1後		1				○		1							
	日本語・日本事情A	1前		1				○		1							
	日本語・日本事情B	1後		1				○		1							
	就職支援科目群	ビジネス実務論Ⅰ	1前		2			○									兼1 兼1
		ビジネス実務論Ⅱ	2前		2			○									
		企業協働型ラーニングⅠ	1後		2			○									兼1 兼1
		企業協働型ラーニングⅡ	2前		2				○								
		企業協働型ラーニングⅢ	3前		2				○								兼1 兼1
		NLPビジネス心理実践学Ⅰ	2前		2				○								
		NLPビジネス心理実践学Ⅱ	3前		2				○								兼1 兼1
		経営学・キャリア学基礎	3前		2			○									
		ビジネス英語研究	3後		2				○								兼1 兼1
		ビジネスプランニング演習	3前		2				○								
		簿記論	2前		2			○									兼1 兼1
		簿記演習	2後		2				○								
		インターンシップ	2前		2				○								兼1 兼1
		社会人入門	3後		1			○			1						
	一般教養論A	2後		2			○									兼1 兼1	
	一般教養論B	3前		2			○										
	観光学概論	2前		2			○									兼1 兼1	
	コンピュータ入門	1前	2					○									
	教養情報科目群	データ活用入門	1後	2					○								兼1 兼2
		コンピュータ日本語	1前		2				○								
		データ活用	2後		2				○								兼1 兼1
		情報資格基礎	2前		2				○								
		情報処理概論	1後		2			○									
	小計(72科目)	—	8	112					—	6	2	1				兼29	
専門教育科目	基礎演習Ⅰ	1前	2					○		2	1					兼1 兼1 オムニバス オムニバス	
	基礎演習Ⅱ	1後	2					○		2	1						
	コミュニケーション概論Ⅰ	1前	2				○				1						
	コミュニケーション概論Ⅱ	1後	2				○				1						
	異文化理解演習Ⅰ	2前	2					○		3							
	異文化理解演習Ⅱ	2後	2					○		2	1						
	異文化理解演習Ⅲ	3前	2					○		2	1	1					
	文章表現法Ⅰ	2前	2				○			1							
	文章表現法Ⅱ	2後	2				○			1							
	口頭表現法	3前	2				○			1							
	特別演習	3後	2					○		4	1	1					
	卒業研究Ⅰ	4前	2					○		6	1						
	卒業研究Ⅱ	4後	2					○		6	1						
	日本・アジア科目群	日本語教育概論	1前		2			○			1						
日本語学概論		1後		2			○			1							
古典文学史		1前		2			○			1							
近現代文学史		1後		2			○			1							
アジアの歴史と文化		1前		2			○			1							
書道		1後		1										○			
アジアの美術		3後		2			○										
日本語史		2前		2			○			1							
日本語教授法	2前		2			○			1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目 日本語学群	日本語学特講 A	2前		2		○									兼1 隔年	
	日本語学特講 B	2前		2		○									兼1 隔年	
	日本語学特講 C	2前		2		○									兼1 隔年	
	言語学概論	2後		2		○									兼1	
	日本語文法論	2後		2		○			1							
	日本史	2前		2		○									兼1	
	日本の地域と社会	2後		2		○									兼1	
	日本文学講読	2後		2		○			1							
	日本作家作品研究	2前		2		○									兼1 集中	
	現代中国論	2前		2		○			1							
	日中関係史	2後		2		○			1							
	漢詩文	2後		2		○									兼1	
	オリエントの歴史と文化	2前		2		○			1							
	朝鮮の歴史と文化	2前		2		○									兼1	
	日本文学特講	3前		2		○			1							
	日本文化論	3前		2		○									兼1	
	古文書学概論	3後		2		○									兼1	
	アジアの地域と社会	3後		2		○									兼1	
	現代アジア事情	3後		2		○									兼2 オムニバス	
	世界遺産資源論	1後		2		○			1							
	伝統文化論	3前		2		○			1							
	現代韓国論	2後		2		○									兼1	
	英語学群	英語セルフ・アクセス I	1前		2			○			2					
		英語セルフ・アクセス II	1後		2			○		1	1					
		英語実践演習 I	1前		2			○		2	2	1				集中、共同
		英語実践演習 II	2後		2			○		2	2	1				集中、共同
		英作文 I	2前		2			○			1	1				
英作文 II		2後		2			○			1	1					
英語の構造 A		2前		1			○		1							
英語の構造 B		2前		1			○			1						
英語コミュニケーション演習 A I		2前		2			○		1		1					
英語コミュニケーション演習 A II		2後		2			○		1		1					
英語コミュニケーション演習 B I		3前		2			○				1					
英語コミュニケーション演習 B II		3後		2			○				1					
英語コミュニケーション演習 C I		3前		2			○			1						
英語コミュニケーション演習 C II		3後		2			○			1						
Academic English I		3前		2			○		1	1						
Academic English II		3後		2			○		1							
児童英語		3前		2			○		1							
翻訳英語		3後		2			○			1						
英語学概論		3前		2		○				1					兼1	
西洋の美術		1後		2		○										
英語圏文化 A		2後		2		○					1				兼1	
英語圏文化 B		2後		2		○									兼1	
英米文学概論 I		2前		2		○									兼1	
英米文学概論 II	2後		2		○									兼1		
英米文学講読	3前		2		○									兼1		
ヨーロッパの歴史と文化	3前		2		○			1								
観光英語	2前		2			○		1								
アジアの英語	3後		2			○		1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目 実習系・留学系科目群	短期語学研修A	1前・後		1				○	1						集中
	短期語学研修B	1前・後		2				○	1						集中
	長期留学A	2前・後		6				○	1						集中
	長期留学B	2前・後		6				○	1						集中
	長期留学C	2前・後		6				○	1						集中
	長期留学D	2前・後		6				○	1						集中
	異文化理解実習A	1前・後		1				○	1						集中
	異文化理解実習B	1前・後		1				○	1						集中
	日本語教育実習	3前・後		1				○	2						集中
	海外インターンシップ	2前・後		2				○	1						集中
小計 (82科目)		—	26	147			—		7	2	1			兼17	
教職に関する科目	教職論	1後			2			○							兼1
	教育学概論	1前		2				○							兼1
	教育・学校心理学	1後		2				○							兼1
	教育行政論	2後			2			○							兼1
	特別支援教育	3後			2			○							兼1
	道徳教育論	2前			2			○							兼1
	特別活動・総合的な学習指導論	2前			2			○							兼1
	教育課程・教育方法論	2前			2			○							兼1
	生徒指導・キャリア教育指導論	3前			2			○	1						
	教育相談	2前		2				○							兼1
	教育実習指導	4前			1				○	1					
	教育実習Ⅰ	4前			2				○	1					集中
	教育実習Ⅱ	4前			2				○	1					集中
	教職実践演習(中・高)	4後			2			○		1					
	国語科教育法Ⅰ	2後			2			○		1					
	国語科教育法Ⅱ	3前			2			○		1					
	国語科教育法Ⅲ	3後			2			○		1					
国語科教育法Ⅳ	4前			2			○		1						
英語科教育法Ⅰ	2後			2			○		1						
英語科教育法Ⅱ	3前			2			○		1						
英語科教育法Ⅲ	3後			2			○		1						
英語科教育法Ⅳ	4前			2			○		1						
小計 (22科目)		—		6	37			—	2					兼8	
学芸員に関する科目	博物館学概論	1前		2				○	1						
	博物館経営論	2前			2			○	1						
	博物館展示論	2後			2			○	1						
	博物館資料論	2前		2				○	1						
	博物館資料保存論	2後			2			○	1						
	博物館教育論	3前			2			○	1						
	生涯学習概論	1前		2				○							兼1
	情報メディアの活用	1後		2				○							兼1
	博物館実習Ⅰ	3後			2				○						兼1
	博物館実習Ⅱ	3後			1				○						集中
小計 (10科目)		—		8	11			—	1					兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
司書に関する科目	生涯学習概論	1前		2		○									兼1	集中
	図書館概論	1前		2		○			1							
	図書館制度・経営論	2後			2	○			1							
	図書館情報技術論	2前			2	○									兼1	
	図書館サービス概論	2前			2	○			1							
	情報サービス論	2前			2	○			1							
	児童サービス論	2後			2	○									兼1	
	情報サービス演習Ⅰ	3前			1		○								兼1	
	情報サービス演習Ⅱ	3後			1		○								兼1	
	図書館情報資源概論	1後			2	○			1							
	情報資源組織論	2後			2	○			1							
	情報資源組織演習Ⅰ	3前			1		○								兼1	
	情報資源組織演習Ⅱ	3後			1		○								兼1	
	図書館基礎特論	3後			1	○									兼1	
図書館サービス特論	3後			1	○									兼1		
図書・図書館史	1前			1	○									兼1		
小計(16科目)	—		4	21		—			1						兼4	
関する学校図書館に	学校経営と学校図書館	3前			2	○									兼1	隔年 隔年
	学校図書館メディアの構成	3後			2	○									兼1	
	学習指導と学校図書館	3後			2	○									兼1	
	読書と豊かな人間性	1後		2		○									兼1	
	情報メディアの活用	1後		2		○									兼1	
小計(5科目)	—		4	6		—									兼2	
合計(209科目)		—	38	281	75		—		8	2	1				兼61	
学位又は称号		学士(人文学)			学位又は学科の分野			文学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等									
共通教育科目36単位、専門教育科目70単位、自由選択科目18単位(共通教育科目・専門教育科目から自由に選択)とし、合計124単位以上を取得すること。(履修科目登録の上限:年間46単位)							1学年の学期区分		2期							
							1学期の授業期間		15週							
							1時限の授業時間		90分							

(注)

- 1 学部等, 研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には, 授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等, 研究科等若しくは高等専門学校等の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合, 大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は, この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて, 適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には, 実技も含むこと。

学生の確保の見通し等を記載した書類

【目次】

- (1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況
 - ① 学生の確保の見通し P 2

 - ② 学生確保に向けた具体的な取組状況 P 7

- (2) 人材需要の動向等社会の要請
 - ① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要） . . . P 15

 - ② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向を踏まえたもので . . . P 15
あることの客観的な根拠

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

1 入学定員設定の考え方

この度の収容定員に係る学則変更にあたっては、高校生の進学ニーズ、産業界における人材ニーズを踏まえるとともに、本学の各学部学科の近年の志願状況、岡山県をはじめとする本学が学生確保の基盤とする地域の類似学部等の志願状況及び中長期的な 18歳人口の動向、本学の総合人間学部言語文化学科における学生確保の見通し調査（高校生アンケート調査）結果、本学への求人状況や卒業生の採用実績などを総合的に勘案した。その結果、十分な定員充足を見込むことができる入学定員として、令和4年度以降の言語文化学科の入学定員を60名と設定する。

◆ 総合人間学部言語文化学科の入学定員、編入学定員、収容定員（予定）

令和3年度※			⇒	令和4年度以降		
入学定員	編入学定員	収容定員		入学定員	編入学定員	収容定員
40	5	170		<u>60</u>	5	<u>250</u>

※令和2年8月に行った学則変更届により、令和3年度に入学定員30名から10名増。（地域マネジメント学部地域マネジメント学科は入学定員60名から10名減。）

以上の通り、本学の入学定員は、総合人間学部言語文化学科について、令和4年度以降の入学定員を20名増し、大学全体の収容定員は80名増を予定している。

2 定員超過率が0.7倍未満の学科について

学校法人山陽学園は山陽学園大学、山陽学園短期大学を運営しているが、そのうち山陽学園大学では地域マネジメント学部地域マネジメント学科は定員超過率が0.69倍のため、0.7倍未満にあたる。このような状況を踏まえ、地域マネジメント学部地域マネジメント学科については、大学全体で取り組む広報・募集活動に加え、高校生向けの独自イベントや見学会を行うなど定員充足に向けた様々な施策を行うとともに、平成3年度より入学定員を60名から50名に変更（10名減）したところである。

山陽学園短期大学に設置する2学科については、令和元年度時点では健康栄養学科

(令和2年度、食物栄養学科より名称変更)は0.61倍、こども育成学科(令和2年度、幼児教育学科より名称変更)は0.69倍で、ともに0.7倍未満であった。そのため、訴求力強化のため、名称変更を行うとともに、長期履修制度を導入し多様な学び方へのニーズに対応することで入学者増を図った。その結果、令和2年度においては、健康栄養学科は0.75倍、こども育成学科は0.76倍と改善している。

山陽学園大学・山陽学園短期大学では、このように定員未充足の学科等はもちろん、全学的に後述の「学生確保に向けた具体的な取組状況」に詳説する学生募集・広報活動を推進することで安定的な定員充足に向けた取組を行っている。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

<総合人間学部言語文化学科>

1 学生確保の見通し調査(高校生アンケート調査)結果

入学定員増を行う総合人間学部言語文化学科における学生確保の見通しを得るために高校生アンケート調査(「言語文化学科」定員増についての高校生アンケート調査)を実施した。アンケート調査の公正性と透明性を担保し、より客観的な分析結果を得るため、アンケートの作成、実施、集計及び結果の分析は第三者機関(株式会社高等教育総合研究所)に依頼した。その実施概要は以下のとおりである。

◆ 高校生アンケート調査の実施概要

調査内容	本学が令和4年度に入学定員増を予定する総合人間学部言語文化学科における学生確保の見通しを検証するために、高校生アンケート調査を実施した。アンケート項目は全7問で、全て選択肢式とした(一人あたりの回答数は最大6問)。
調査実施時期	令和2年(2020年)10~12月
調査対象	令和4年度(2022年度)の大学入試を受験する可能性が最も高い高校2年生(令和4年(2022年)3月卒業予定者)をアンケートの対象とした。
実施高校	岡山県および周辺県(鳥取県、島根県、広島県、香川県)において本学への実績校(本学に志願者がいた高校)にアンケート実施を依頼し、35校にご協力いただいた。
実施人数	3,297人

『言語文化学科』定員増についての高校生アンケート調査」においては、総合人間学部言語文化学科に対する入学意向調査を令和2年10～12月に行った。その結果、35校の高校の協力の下、3,297人の高校生からアンケート調査の回答を得た。回答者はすべて令和4年度（2022年度）の大学入試を受験する可能性が最も高い高校2年生であった。総合人間学部言語文化学科の概要を提示の上、受験・入学意向について回答を求めたところ、言語文化学科を「受験したい」とした者が171人（回答者全体の5.2%）いた。このうち、言語文化学科に「合格した場合、入学したい」とした者は76人、「合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい」とした者は94人いた。よって言語文化学科（定員変更後、入学定員60名を予定）に対しては、合計171人の受験者が見込まれ、入学定員に対する倍率は2.85倍である。また、上記の通り、合格した場合は本学科への入学を強く望んでいる高校生は令和4年度以降予定する入学定員60名を上回る76人いることが明らかとなった。詳細は、資料1「山陽学園大学『総合人間学部言語文化学科』定員増構想に係る学生確保の見通し調査（「言語文化学科」定員増についての高校生アンケート調査）報告書」に示す。

2 本学の総合人間学部言語文化学科に対する志願者の状況

本学の総合人間学部言語文化学科に対する志願者数は、平成28年度57人、平成29年度73人、平成30年度106人、令和元年度（平成31年度）119人、令和2年度161人と増加傾向にある。その結果、令和2年度の総合人間学部全体の定員超過率は1.14倍となっている（言語文化学科のみでは1.28倍）。高校生の入学ニーズにこたえつつ定員超過の状況を是正するためには言語文化学科の入学定員増が必要となっている。詳細は、資料2「山陽学園大学 総合人間学部言語文化学科 志願者・入学者 推移（平成28年度～令和2年度）」に示す。

なお、言語文化学科は3年次編入学定員を5名と設定しているが、直近5年の編入学者数は平成28年度6人、平成29年度10人、平成30年度3人、令和元年度（平成31年度）4人、令和2年度5人と高い水準を維持している（直近5年の平均5.6人）。このように継続して編入学者が存在していることから3年次編入学定員は現状の5名を維持することが妥当と判断する。詳細は、資料3「山陽学園大学 総合人間学部言語文化学科 編入学者 推移（平成28年度～令和2年度）」に示す。

3 当該分野における全国的・地域的な動向（他大学の動向）

本学の総合人間学部言語文化学科の学位分野は文学関係で、学部系統としては人文科

学系である。日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等 入学志願動向」によると私立大学人文科学系の平成 28 年度～令和 2 年度の学部数・入学定員・志願者数・志願倍率の状況は以下の通りである。

◆ 私立大学 人文科学系全体の状況

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
学部数	240	240	244	243	245
入学定員	69,619	69,921	69,538	68,494	68,104
志願者数	525,219	556,791	615,363	644,739	608,854
志願倍率	7.54	7.96	8.85	9.41	8.94

※ 日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等 入学志願動向」より

※ 志願倍率=志願者数÷入学定員

上記のごとく平成 28 年度時点で 240 学部、入学定員合計は 69,619 人に対し志願者数合計は 525,219 人、志願倍率 7.54 倍であった。一方、令和 2 年度時点では 245 学部、入学定員合計は 68,104 人に対して、志願者数合計は 608,854 人(平成 28 年度比 115.9%、+83,635 人)、志願倍率も 8.94 (平成 28 年度比+1.40) であった。このように人文科学系の志願者は過去 5 年でみると増加傾向にある。詳細は、資料 4「私立大学 人文科学系全体の入学定員・志願・合格・入学状況 推移(平成 28 年度～令和 2 年度)」に示す。

地域的には本学の設置圏域である岡山県と隣接する広島県を含めても、本学と同じ「言語文化学科」を置くのは本学以外の私立大学では 1 大学に留まるが、外国語能力・関連する教養を涵養しグローバル人材を育成する学科は代表的なもので 8 大学に 8 学科が存在する(8 学科のうち 1 学科は平成 30 年度開設)。平成 28 年度～令和 2 年度の志願者数・合格者数・合格倍率の状況は以下の通りである。

◆ 岡山県・広島県の私立大学言語文化学科もしくは関連学科の状況

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
志願者数	2,047	2,188	2,620	2,466	2,499
合格者数	1,284	1,194	1,387	1,215	1,214
合格倍率	1.59	1.83	1.89	2.03	2.06

※ 旺文社「蛍雪時代 全国大学内容案内号(2017～2021 年度版)」より

※ 合格倍率=志願者数÷合格者数

※ 平成 28 年度～29 年度は 7 学科、平成 30 年度～令和 2 年度は 8 学科の合計

上記のごとく平成 28 年度時点で志願者数合計は 2,047 人に対し、合格者 1,284 人で合格倍率は 1.59 倍であった。一方、令和 2 年度時点では志願者数合計は 2,499 人（平成 28 年度比 122.1%、452 人の増加）、合格倍率も 2.06（平成 28 年度比+0.47）であった。このように本学の設置圏域において他大学の言語文化学科もしくは関連学科は志願者数、合格倍率ともに上昇傾向にある。詳細は、資料 5「岡山県・広島県の私立大学言語文化学科もしくは関連学科における入学定員・志願・合格状況 推移（平成 28 年度～令和 2 年度）」に示す。

このように本学が入学定員増を計画する総合人間学部言語文化学科は、その関連分野・学科において全国的にも地域的にも志願者が増加傾向にあることが分かる。

4 中長期的な大学進学対象者数の動向

本学が学生確保の基盤とする岡山県並びに周辺県（高校生アンケート調査を実施した高校所在地の県）における 18 歳人口の中長期的な動向は次の通りと推察される。

- ◆ 本学が学生確保の基盤とする地域における 18 歳人口（大学進学対象者数）の状況

	令和 4 年度 (2022 年度)	令和 13 年度 (2031 年度)	増減率 (R4→R13)
全国	1,121,276 人	1,033,386 人	92.2%
鳥取県	5,261 人	4,646 人	88.3%
島根県	6,009 人	5,655 人	94.1%
岡山県	17,520 人	16,234 人	92.7%
広島県	25,810 人	24,669 人	95.6%
香川県	8,936 人	8,163 人	91.3%
上記 5 県合計	63,536 人	59,367 人	93.4%

※ リクルート進学総研マーケットリポート（Vol.71 2020 年 1 月号）18 歳人口予測より

上記はリクルート進学総研マーケットリポート（Vol.71 2020 年 1 月号）18 歳人口予測を基に作成している（詳細は、資料 6「令和 4 年度～令和 13 年度の大学進学対象者数（指数：令和 4 年度を 100 とした場合）」）。本学が総合人間学部言語文化学科の入学定員増を予定する令和 4 年度（2022 年度）を 100 とすると、令和 13 年度の大学進学対象者数（18 歳人口）は全国で 92.2%となる。本学が学生確保の基盤とする岡山県並びに周辺県（鳥取県、島根県、広島県、香川県）を含めた計 5 県（高校生アンケート調

査実施地域)では、全国水準を少し上回る93.4%となる。一方、高校生アンケート調査を踏まえると、定員変更後の入学定員60名(予定)に対し合計171人が受験者と見込まれることが明らかになっており、これに上記93.4%(令和4年度を100とした場合の令和13年度指数)を乗じても159人(予定する入学定員60名の2.7倍)の志願者が依然として見込まれる。しかしながら、長期的かつ安定的に学生確保を行うために収容定員変更当初より少子化進展を踏まえた、「学生確保に向けた具体的な取組状況」で詳説する積極的な募集活動を展開することが重要と認識する。

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

ア 山陽学園大学・山陽学園短期大学における全般的な取組

1 本学における学生募集活動の基本方針

山陽学園大学・山陽学園短期大学では、入試広報部が主管となって岡山県内をはじめ主に中四国地方の各県を学生募集の対象エリアとしている。教員・高校生・保護者の興味・関心を踏まえたタイムリーな情報提供を行うことにより本学の認知度を上げるとともに、高校担当者との人間関係を構築して進路指導・学生募集に係る密接な情報交換を行い、学生確保に繋がるような募集活動を展開している。

なお、令和3年度に向けた学生募集活動については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言等による休業期間中は電話やメールなどにより、高校への情報提供や高校からの情報収集を図った。6月の訪問再開後は、適材適所の観点で行う全学的な教員による訪問と入試広報部での定期訪問を効果的に実施した。

また、広報活動においては、大学案内・チラシ等の印刷物、新聞広告・TV-CMなどのマスコミ媒体、大学公式ホームページ・SNS・ネット広告などのWEB媒体など多様な媒体を適時的確に選定・活用し、本学の魅力の情報発信を行った。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、オープンキャンパスでは大学目線での発信にとどまらず、在学生をナビゲーターとして活用し、高校教員や後輩との繋がりを大切にしながら親近感のあるものとなるように努めている。

なお、入試制度変更点については、動画コンテンツを作成し大学公式ホームページ上で公開し、また文部科学省通知指示による制度の変更を随時適切にホームページで公開したほか、オープンキャンパス時にパワーポイント等を活用しての内容手続の説明など、様々な機会を通じて的確に周知を図った。特に、総合型選抜については、丁寧な制度手続の説明を実施した。

2 令和2年4月～令和3年2月における取組実績

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言中は、オープンキャンパス、進学ガイダンス等が開催中止となった。その間は電話やメールなどにより、高校への情報提供や高校からの情報収集を行った。緊急事態宣言解除後は、感染拡大を防ぐことを最優先としながら、以下の活動を行った（④⑤の一部は緊急事態宣言中も実施）。

- ①オープンキャンパス回数：参集型3回、オンライン形式1回
- ②高校訪問回数：852回
- ③進学ガイダンス回数：会場ガイダンス13回（109人）・高校ガイダンス39回（647人）
- ④使用媒体：TV、新聞、進学情報誌、HP、進学情報ウェブサイト、SNS
- ⑤出稿数：TV-CM 4回、新聞広告 8回、ディスプレイ広告 4回、YouTube広告 2回、WebDM 1回
進学情報誌・ウェブサイト（リクルート、マイナビ、進研アド、キッズコーポレーション、ドリコム、さんぽう、山陽新聞事業社）と契約し、それぞれの媒体を通して進学情報を発信した。

3 大学公式ホームページのリニューアル（予定）

令和3年度入試に向けて行った上記の取組に加え、令和4年度入試に向けてはさらなる取組強化を行う。具体的には本学公式ホームページの充実化を図ることとしており、受験生応援サイトの開設を準備中である。現状の本学公式ホームページでは、受験情報がサイト内の各ページに分散しており、やや分かりづらいとの声が受験生や高校関係者から聞かれた。そのため、本学の受験情報に特化した特設ページの開設を行う予定である。多くの大学が次年度向けの受験情報を発信する、6月頃の公開を予定している。

イ 入学定員充足率 0.7 未満の学部学科について

1 山陽学園大学 地域マネジメント学部地域マネジメント学科

本学の地域マネジメント学部地域マネジメント学科は、地域社会の持続可能な発展を支える人材の育成、そして地域において中核的な存在として活躍できる人材の育成を目指して平成 30 年度に創設されたものである。卒業後は、地域における産業振興やまちづくりなど様々な分野において、幅広い知識と専門性を備え、柔軟な発想と行動力をもって活躍することが期待される。しかしながら、知名度という点では浸透しているとは言いがたく、開設時の入学定員 60 名に対し開設 1 年目の平成 30 年度は志願者 79 人・合格者 75 人・入学者 42 人（入学定員充足率 70.0%）、開設 2 年目の令和元年度（平成 31 年度）は志願者 73 人・合格者 68 人・入学者 41 人（入学定員充足率 68.3%）、開設 3 年目の令和 2 年度は志願者 95 人・合格者 87 人・入学者 43 人（入学定員充足率 71.7%）であった。このように開設以来、入学定員を充足できない状況が続いていたことに加え、地域マネジメント実習をはじめとするフィールドワークについて、これまでの実践結果を踏まえて、質的向上を図るため、令和 3 年度からはその入学定員を 10 名減の 50 名としている（令和 2 年 8 月に学則変更届出済）。一方、令和 3 年度の定員充足に向けた取組を強化し、具体的には次のような取組を行っている。

(1) オープンキャンパスにて学科独自のイベントを開催

令和 3 年度の募集に向けては、地域マネジメント学部地域マネジメント学科の教育目的、内容等を高校生に十分浸透させるために、オープンキャンパスにおいて学科独自のイベントを開催した。例えば、令和 2 年 8 月 22 日には、新しい入試制度の説明や学科紹介のあと、ミニ講義を 2 つ行った。1 つ目は世界の企業が今どのような動きをしているのかの講義で、グローバルな視点から地域を見る必要性を説明し、地域マネジメント学部地域マネジメント学科の学修内容についてわかりやすく説明した。2 つ目は、在学生が登壇し、実際の地域実践活動で学生がどのようなことをしているのか、活動時の写真を交えながら、高校生の目線に立ってわかりやすく紹介した。

(2) 高校生を対象とした地域マネジメントコンテストの実施

地域マネジメントコンテストなど学部独自の行事を実施した。「地域マネジメントコンテスト」は高校生を対象とした地域探究の学習に関わるコンテストで、地域マネジメント学部の教育コンテンツに深くかかわっている。主催は本学であるが、その主旨に賛同した地元経済団体をはじめ、自治体や教育委員会、テレビ・新聞等のマスメディアが

協賛・後援に加わった。令和2年度は令和元年度につづく2回目の実施であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンライン開催となった。その開催概要は、資料7「第2回 地域マネジメントコンテスト案内」に示す。第2回目のコンテストには7校17件の応募があり、書類選考を通過した4校5件の取組がオンラインで発表された。資料8「第2回 地域マネジメントコンテスト紹介記事（山陽新聞）」が示す通り、地域マネジメント学部の広報活動にもつながったと考えている。

参加校の教員を対象にアンケート調査を行ったところ、6校8人の教員から回答を得ており、うち4人が「満足している」、3人が「ある程度満足している」とし、満足を示した回答の合計は87.5%であった。具体的には、「生徒の学習研究の目標となった」など、コンテストに参加することで生徒の学習意欲を高めた点が評価を得た。他にも、「他校の取組が参考となった」「講評や助言をもらえたことがよかった」といったコメントが得られた。参加した生徒からも「自分たちの活動が評価され、活動の意義を改めて認識できた」「発表の場を持つことで、自分の考えや意見を言うことに自信を持てた」などのコメントを得た。アンケート調査の詳細は、資料9「第2回地域マネジメントコンテストに関するアンケート調査結果」が示す通りである。

(3) 新たな志願層の掘り起こし

普通科進学校、地域課題に取り組む高等学校に加え、新たに実業高等学校（商業、工業、農業）を主要ターゲットとして、ターゲット別のアプローチを行うことや、総合型選抜（専願）による入学者または、実業高等学校で一定の資格を取得した入学者に対する入学金減免制度を創設した。具体的には、全商検定試験合格者表彰制度対象者（1級3種以上）、全国工業高等学校長協会 ジュニアマイスター顕彰制度シルバー以上、全国農業高等学校長会 アグリマイスター顕彰制度シルバー以上の資格を取得した生徒をその対象としている。

本学では、このような活動を継続して行うことが、地域マネジメント学部地域マネジメント学科の志願者増加並びに定員充足に繋がるものと考えている。その結果、令和3年度向けの入試では既に、平成30年度79人、令和元年度73人、令和2年度95人を上回る108人の志願者を得ている。また、89名の合格者のうち、令和3年度の入学定員50名を上回る51名が入学手続きを完了している（いずれも令和3年3月19日時点）。

◆地域マネジメント学部における志願状況等

志願・合格・入学状況	入 学 年 度			
	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
志願者 (人)	79	73	95	108
合格者 (人)	75	68	87	89
入学者 (人)	42	41	43	—
入学定員充足率 (%)	70.0	68.3	71.7	—

※志願者には、学内併願者を含む。

※入学定員は、令和 2 年度までは 60 名、令和 3 年度からは 50 名。

※令和 3 年度は、令和 3 年 3 月 19 日現在

さらには、外部に対してだけでなく、在学生に対する取組を通して学部全体の活性化を図っている。例えば、平成 30 年度に入学した学部第一期生が 3 年生となった令和 2 年度には、地域マネジメント学部のカリキュラムの柱ともいえる地域マネジメント実習が実施された。地域マネジメント実習は 3 年次前期の約 2 か月を企業や自治体・団体での実習期間として当てており、2 か月にわたる長期インターンシップは国内の大学の中でもまれな取組といえる。本学部が目指す「地域社会や企業に活力を与える人材を育成する」という目標に対し、県内の自治体、企業、団体から賛同をいただき実現したものである。令和 2 年度の実習先は、資料 10「令和 2 年度 地域マネジメント実習の実習先一覧」に示す通りである。

加えて、令和 2 年度からの取組として、学生の就職活動を支援するために公務員試験対策講座を開講した（外部スクールに委託）。これは就職先として公務員を考えている学生も多いため、教育課程とは別のあくまでも就職支援活動の一環の活動であるが、受講料は無料とし（本学が負担）、原則としてテキスト代のみを自己負担としている。その詳細は、資料 11「2020 年 5 月開講 公務員試験対策講座（2 年生向け）」・資料 12「2020 年 9 月開講 公務員試験対策講座（3 年生向け）」が示す通りである。

この他、他業種への就職支援活動も順次取り入れていく予定で、学部としてのきめ細かな集団指導体制を構築して、就職率 100%を達成する体制づくりを進めている。このような在学生に対する取組を外部にも発信していくことでアピール力強化につなげ、志願者増並びに定員充足を図っていくものである。

2 山陽学園短期大学

山陽学園短期大学の健康栄養学科（入学定員 80 名）及びこども育成学科（入学定員 100 名）はともに入学定員が未充足の状況である。

健康栄養学科における過去 5 年（令和元年度までは食物栄養学科）の志願者・合格者・入学者及び入学定員充足率は以下の通りである。

◆ 健康栄養学科における過去 5 年（平成 28 年度から令和 2 年度）の状況

志願・合格・入学状況	入 学 年 度				
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
志願者（人）	76	69	49	70	67
合格者（人）	76	68	48	68	65
入学者（人）	60	59	41	58	63
入学定員充足率（％）	75.0	73.8	51.3	72.5	78.8

健康栄養学科は平成 28 年度から平成 30 年度にかけては志願者、入学者ともに減少の一途をたどり入学定員充足率は平成 30 年度は 51.3%まで落ち込んだ。令和元年度は再び志願者は増加し、令和 2 年度の入学定員充足率は 78.8%まで回復している。

また、こども育成学科における過去 5 年（令和元年度までは幼児教育学科）の志願者・合格者・入学者及び入学定員充足率は以下の通りである。

◆ こども育成学科における過去 5 年（平成 28 年度から令和 2 年度）の状況

志願・合格・入学状況	入 学 年 度				
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
志願者（人）	90	85	75	87	85
合格者（人）	88	83	74	86	84
入学者（人）	63	57	68	71	81
入学定員充足率（％）	63.0	57.0	68.0	71.0	81.0

こども育成学科は平成 29 年度には入学定員充足率が 57.0%まで落ち込んだものの、平成 30 年度からは入学者が増加に転じ、令和 2 年度には 81.0%まで回復している。

山陽学園短期大学はかつて県内私立短期大学の中でも伝統校として位置づけられ、多くの志願者数を確保していた。しかしながら、短期大学が学生確保の中心ターゲットと

していた女性生徒の四大志向に伴う急激な短大離れに加え、本学が伝統校としての地位に慢心し、募集努力を怠っていた結果と言わざるを得ない。その結果、近年は志願者減の傾向にあったが、山陽学園短期大学は原点に立ち返り、地道な募集努力が徐々に実を結び始めており、志願者数も回復傾向にある。

具体的には短期大学独自に次のような取組を行っている。

(1) 長期履修制度の導入

短期大学の2学科はいずれも資格免許の取得を前提としているため、学修すべき内容が過密化する傾向にあった。山陽学園短期大学は入学時の選択によって午前中心の授業による修業年限3年のカリキュラムでの履修も可能にする長期履修制度を令和2年度から導入した。長期履修制度を選択することにより、従来の2年課程の学びと全く同じ学修内容を3年間の学修計画に基づき余裕を持って履修できるため、キャリア支援や専門職としての自信と実力を身に付けるための指導に時間を確保することが可能となった。また、長期履修制度を利用することで学費や生活費を工面するためのアルバイトも可能になるので、経済的な理由から進学を断念していた高校生に進学の機会を提供できるメリットがある。また、キャリアアップを目指す社会人のキャリアパスとして、仕事と学業のバランスを調整しながら通学することも可能になった。

このような長期履修制度の導入の結果、山陽学園短期大学では令和2年度の入学手続き者のうち、7割程度が長期履修制度を活用している。

(2) 学科名称の変更

健康栄養学科は食と栄養から人々の健康の保持と増進に貢献できる栄養士の育成を目指しており、カリキュラムもこの教育目的に沿って編成している。令和元年度までは食物栄養学科であったが、教育目的とその内容を社会や受験生に対してより明確に示すため、令和2年度より学科名称を「健康栄養学科」に変更した。

こども育成学科は、子どもたちとつながり、一人ひとりの子どもの生きる力と喜びを育む保育者の育成を目指しており、同様にその教育目的と内容を社会や受験生に対してより明確に示すため、令和元年度までは幼児教育学科であったが、令和2年度より学科名称を「こども育成学科」に変更した。

(3) 委託訓練生の受け入れ

山陽学園短期大学では平成30年度より、岡山県立南部高等技術専門校より訓練生を

本学科学生として受入れており、令和2年度は健康栄養学科・こども育成学科で各2人を受け入れている。この職業訓練制度は岡山県の専門職者確保に貢献するとともに、18歳人口の減少に伴う入学者の減少を補完する観点から今後も積極的に受け入れていく。

(4) 健康栄養学科における専門実践教育訓練「教育訓練給付金」制度の活用

健康栄養学科は、厚生労働大臣指定専門実践教育訓練講座の指定を受けており、支給対象者には受講者（学生）が支払った学納金の半額が「教育訓練支援給付金」としてハローワークから支給される。この制度が活用できることをホームページや大学案内を通じて周知し、社会人入学の促進に活用している。

(5) 健康栄養学科における教職課程認定（平成3年度より）

健康栄養学科において栄養教諭二種免許が取得できるように教職課程認定申請を行い、令和3年度からの設置が中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会により認定された。これにより本学科の卒業生にとって、新たなキャリアパスが開かれることとなった。

(6) こども育成学科における様々な取組

地域の子育て支援を目的とし、子ども達と触れ合う本学のイベントである「親子交流広場（年2～3回実施）」、自治体の健康づくりイベントで子ども向けオペレッタの披露や段ボール迷路を設置し子どもと触れ合う「和気町健康福祉フェア」等への当該学科単位での参加、附属幼稚園でのボランティア活動を奨励する「こっこスクール」、ボランティア活動45時間で1単位認定する「Sanyo 子育てサポート実習」等の体験的学びを重視したカリキュラム、岡山県内の短期大学・大学では本学のみが取得可能である病児保育の専門家になるための「認定病児保育スペシャリスト（日本病児保育協会認定）」資格取得支援の実施、県内の保育所から園長や先輩保育士を招き実施する「保育士合同面談会」に代表される就職支援等、特色ある取組を行い、オープンキャンパスなどでも積極的に紹介している。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的 (概要)

この度、入学定員増を行う総合人間学部言語文化学科は以下の資質を兼ね備えた人材を育成している。

1. 全学共通の必修である「山陽スタンダード科目」と各学科の実践科目の修得を通して、「愛と奉仕」の理念を学ぶとともに、国際社会や地域社会で積極的に貢献できるような実践力を身につけたと認められること。
2. 専門分野の知識や技能だけでなく、社会人としてより良い人間関係を構築するための基礎的な教養や優れたコミュニケーション能力を身につけ、幅広い視野と多面的な思考力により、客観的な認識力や判断力を養ったと認められること。
3. 「基礎演習Ⅰ、Ⅱ」「文章表現法Ⅰ、Ⅱ」「口頭表現法」「特別演習」「卒業研究Ⅰ、Ⅱ」の履修を通して、課題を発見し、探求するための思考力や判断力を身につけ、その成果を文章や口頭で伝える表現力を養ったと認められること。
4. 「コミュニケーション概論Ⅰ、Ⅱ」「異文化理解演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」の履修を通して、コミュニケーションの基礎や、異なる文化を受容するための多様な価値観を学び、多文化共生社会において、多様な人々と協働し、主体的に問題を解決する態度を身につけたと認められること。
5. 選択した科目の履修により、各言語の運用能力を身につけ、その言語の背景となる地域の社会、歴史、文化の成り立ちが理解できていること。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向を踏まえたものであることの客観的な根拠

1 人材需要の見通し調査 (人材需要アンケート調査) 結果

本学が入学定員増を行う総合人間学部言語文化学科における人材需要の見通しを得るためにアンケート調査 (「言語文化学科」定員増構想についての人材需要アンケート調査) を令和元年度中に実施した。アンケート調査の公正性と透明性を担保し、より客観的な分析結果を得るため、アンケートの作成、実施、集計及び結果の分析は第三者機関 (株式会社高等教育総合研究所) に依頼した。その実施概要は以下のとおりである。

◆ 人材需要アンケート調査の実施概要

調査内容	本学が入学定員増を予定する総合人間学部言語文化学科における人材需要の見通しを検証するために、人材需要アンケート調査を実施した。アンケート項目は全6問で、主に選択肢式とした。
調査実施時期	令和元年(2019年)12月～令和2年(2020年)1月
調査対象	山陽学園大学 総合人間学部言語文化学科の卒業生の採用が見込まれる岡山県を所在地とする企業並びに地方自治体を対象とした(一部、言語文化学科卒業生の採用先を含む)。
調査方法	調査対象先の採用担当者宛にアンケート調査用紙1部・依頼状・返送用封筒を送付した。ご協力いただける場合、回答済のアンケート調査用紙をご返送いただいた。
回答件数	229件(配布896件に対し回収率25.6%)

「定員増構想についての人材需要アンケート調査」においては、総合人間学部言語文化学科の卒業生に対する採用意向調査を令和元年12月～令和2年1月に行った。岡山県内の企業・地方自治体896箇所にアンケート調査用紙を送付した結果、期日までに229件の回答を得た。集計の結果、回答を得た229箇所のうち、総合人間学部言語文化学科が養成する人材は、社会的に「ニーズは高い」としたのが44箇所(全体の19.2%)、「ややニーズは高い」としたのが82箇所(同35.8%)であった。合計すると過半数を占める126箇所(同55.0%)が総合人間学部言語文化学科の養成する人材のニーズを認める結果となった。また、それらの人材を「採用したい」としたのは53箇所(同23.1%)であった。その上で示された採用可能人数の合計は、増員後の入学定員60名を大きく上回る87人であった。詳細は、資料13「山陽学園大学『総合人間学部 言語文化学科』定員増に係る人材需要の見通し調査(定員増構想についての人材需要アンケート調査報告書)」に示す。

本学は当初、令和3年度からの収容定員変更を計画していたため、令和元年度中に上記アンケート調査実施を高等教育総合研究所に依頼した。定員変更予定時期は1年延長となったが、コロナ禍であること、また、本アンケートは数年後に輩出する卒業予定者に対する人材需要調査であること、また後述の通り、言語文化学科・生活心理学科からなる総合人間学部への令和3年度就職予定者に対する求人状況が好調で落ち込みがないことから、その有効性は一定程度担保されるものと判断し、再調査の実施は見送った。

2 総合人間学部言語文化学科の卒業生の採用実績

総合人間学部言語文化学科の卒業生の平成 28 年度～令和元年度の採用実績（対就職希望者数）は下記の通りである。

◆ 総合人間学部言語文化学科の卒業生の採用実績（平成 28 年度～令和元年度）

年度	就職希望者	就職者数	就職率 (%)
平成 28 年度	21	19	90.5
平成 29 年度	29	29	100
平成 30 年度	22	22	100
令和元年度	19	19	100

総合人間学部言語文化学科の卒業生はこのように高い就職実績を維持しており、また採用先の業種は製造業、卸売業、小売業をはじめ、金融業、観光関連などのサービス業、教育機関、文化施設など幅広い。その理由として、本学科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、人材需要の動向等の社会の要請を踏まえたものであることを示しているものである。

3 総合人間学部への求人状況

言語文化学科を含む総合人間学部に対する求人件数は、平成 27 年度が 1,057 件（県内 360 件、県外 697 件）、平成 28 年度が 1,138 件（県内 339 件、県外 799 件）、平成 29 年度 1,178 件（県内 379 件、県外 799 件）、平成 30 年度 1,145 件（県内 420 件、県外 725 件）、令和元年度 1,106 件（県内 334 件、県外 772 件）と高い水準で推移してきた。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、令和 2 年度当初は求人件数の減少が懸念された。しかしながら、令和 3 年 2 月末現在で 1,107 件（県内 339 件、県外 768 件）と例年と同水準の求人が寄せられており、言語文化学科に対しては引き続き高い人材需要が期待できる。詳細は、資料 14「山陽学園大学総合人間学部への求人件数（平成 28 年度就職者～令和 3 年度就職者対象）」に示す。

以上

添付資料

【目次】

- 資料 1 山陽学園大学「総合人間学部言語文化学科」定員増構想に係る学生確保の見通し調査（「言語文化学科」定員増についての高校生アンケート調査）報告書
- 資料 2 山陽学園大学 総合人間学部言語文化学科 志願者・入学者 推移
（平成 28 年度～令和 2 年度）
- 資料 3 山陽学園大学 総合人間学部言語文化学科 編入学者 推移（平成 28 年度～令和 2 年度）
- 資料 4 私立大学 人文科学系全体の入学定員・志願・合格・入学状況 推移
（平成 28 年度～令和 2 年度）
- 資料 5 岡山県・広島県の私立大学言語文化学科もしくは関連学科における入学定員・志願・合格状況 推移（平成 28 年度～令和 2 年度）
- 資料 6 令和 4 年度～令和 13 年度の大学進学対象者数（指数：令和 4 年度を 100 とした場合）
- 資料 7 第 2 回 地域マネジメントコンテスト案内
- 資料 8 第 2 回 地域マネジメントコンテスト紹介記事（山陽新聞）
- 資料 9 第 2 回 地域マネジメントコンテストに関するアンケート調査結果
- 資料 1 0 令和 2 年度 地域マネジメント実習の実習先一覧
- 資料 1 1 2020 年 5 月開講 公務員試験対策講座（2 年生向け）
- 資料 1 2 2020 年 9 月開講 公務員試験対策講座（3 年生向け）
- 資料 1 3 山陽学園大学「総合人間学部 言語文化学科」定員増に係る人材需要の見通し調査
（定員増構想についての人材需要アンケート調査）報告書
- 資料 1 4 山陽学園大学総合人間学部への求人件数（平成 28 年度就職者～令和 3 年度就職者対象）

山陽学園大学

「総合人間学部 言語文化学科」

定員増構想に係る学生確保の見通し調査

(「言語文化学科」定員増についての高校生アンケート調査)

報告書

株式会社高等教育総合研究所

目次

1. 「言語文化学科」定員増についての高校生アンケート調査	概要	3
2. 「言語文化学科」定員増についての高校生アンケート調査	集計結果	4
3. 「言語文化学科」定員増についての高校生アンケート調査	集計結果のポイント	6

添付資料

「言語文化学科」定員増についての高校生アンケート調査	用紙	9
同	参照資料（学科概要）	11

1. 「言語文化学科」定員増についての高校生アンケート調査 概要

山陽学園大学が2022年度に定員増を予定の「総合人間学部 言語文化学科」(2021年度40名⇒2022年度60名を予定)における学生確保の見通しを測定するために、2022年度に大学進学時期を迎える高校2年生を対象に「『言語文化学科』定員増についての高校生アンケート調査」(無記名式)を実施した。岡山県を中心とした中国・四国地方の計35校の高校生3,297人から回答を得て集計した結果、次の結果が得られた。

山陽学園大学「総合人間学部 言語文化学科」を「受験したい」とした者は、予定する入学定員60名を大きく上回る171人であった。そのうち「言語文化学科」に「合格した場合、入学したい」としたのは76人、「合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい」としたのは94人であった。

調査対象	2022年度の大学入試を受験する可能性が最も高い高校2年生(2022年3月卒業予定者)をアンケートの対象とした。山陽学園大学に志願者・入学者が多い岡山県を中心とした中国・四国地方の高校にアンケート実施を依頼し、35校にご協力いただいた。
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 回答者の基本情報(性別、居住地、高校卒業後の希望進路、関心のある学問分野) ● 山陽学園大学「総合人間学部 言語文化学科」への受験・入学意欲 以上、全7問ですべて選択肢式。
調査時期	2020年10月～2020年12月
調査方法	アンケート実施の了承が得られた高校に高校生アンケート用紙(必要部数)を送付。各校の教職員から調査対象者(高校2年生)にアンケート用紙を配布の上、10分程度の回答時間を設け、その場で回収いただいた。
回収件数	有効回答数3,297件

実施高校の県別内訳

	公立	私立	合計	割合
鳥取県	0	1	1	2.9%
島根県	1	0	1	2.9%
岡山県	18	7	25	71.4%
広島県	4	2	6	17.1%
香川県	1	1	2	5.7%
合計	24	11	35	100%
割合	68.6%	31.4%	100.0%	

在籍高校所在地別の回収件数

	公立	私立	合計	割合
鳥取県	0	31	31	0.9%
島根県	147	0	147	4.5%
岡山県	1,603	811	2,414	73.2%
広島県	434	20	454	13.8%
香川県	133	118	251	7.6%
合計	2,317	980	3,297	100%
割合	70.3%	29.7%	100.0%	

2. 「言語文化学科」定員増についての高校生アンケート調査 集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問1 あなたの性別をお答えください。(あてはまるものにマーク)

選択項目	回答数	構成比
1. 男性	1,127	34.2%
2. 女性	2,157	65.4%
(無回答)	13	0.4%
合計	3,297	100.0%

問2 あなたがお住まいの県をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目	回答数	構成比
1. 岡山県	2,361	71.6%
2. 広島県	477	14.5%
3. 鳥取県	30	0.9%
4. 島根県	150	4.5%
5. 香川県	248	7.5%
6. その他	17	0.5%
(無回答)	14	0.4%
合計	3,297	100.0%

問3 あなたの高校卒業後の希望進路をお答えください。(現時点で最もあてはまるもの1つにマーク)

選択項目	回答数	構成比
1. 進学	2,743	83.2%
2. 就職	303	9.2%
3. 現時点では未定	227	6.9%
(無回答)	24	0.7%
合計	3,297	100.0%

問4 あなたが関心のある学問分野をお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

選択項目	回答数	構成比
1. 人文科学(文学、史学、哲学、心理学、外国語学など)	944	28.6%
2. 社会科学(法学・政治学、経営学、経済学、社会学など)	879	26.7%
3. 理学(数学、物理学、化学、生物学など)	118	3.6%
4. 工学(機械工学、電気電子工学、応用化学、建築学など)	216	6.6%
5. 農学(農学、農業経済学、林学、水産学、獣医学など)	143	4.3%
6. 医学・歯学・薬学	206	6.2%
7. 保健衛生学(看護学、リハビリ学など)	558	16.9%
8. 家政学(生活科学、食物学、住居学、被服学など)	321	9.7%
9. 教育学・保育学	712	21.6%
10. 芸術学(音楽、デザイン、美術など)	471	14.3%
11. その他	436	13.2%

※ 問4は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 = 回答数 ÷ 3,297人(全回答者の人数)

問 5 以降は、山陽学園大学 総合人間学部「言語文化学科」の概要を確認の上で回答を求めた。

問 5 あなたは山陽学園大学の「言語文化学科」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの 1 つにマーク)

選択項目	回答数	構成比
1. 受験したい	171	5.2%
2. 受験しない	3,018	91.5%
(無回答)	108	3.3%
合計	3,297	100.0%

以下の問 6 は、問 5 で山陽学園大学の言語文化学科を「受験したい」を選択した高校生 (171 人) が回答対象であった。

問 6 あなたは山陽学園大学の「言語文化学科」に合格した場合、入学したいと思いますか。(あてはまるもの 1 つにマーク)

選択項目	回答数	構成比
1. 合格した場合、入学したい	76	44.4%
2. 合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい	94	55.0%
(無回答)	1	0.6%
合計	171	100.0%

以下の問 7 は、問 5 で山陽学園大学の言語文化学科を「受験しない」を選択した高校生 (3,018 人) が回答対象であった。

問 7 あなたが山陽学園大学の「言語文化学科」を「受験しない」とした理由をお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

選択項目	回答数	構成比
1. 山陽学園大学の「言語文化学科」に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから	188	6.2%
2. 興味・関心のある学科ではないから	1,433	47.5%
3. 国公立大学への進学を希望しているから	864	28.6%
4. 他の私立大学への進学を希望しているから	518	17.2%
5. 短期大学・専門学校への進学を希望しているから	509	16.9%
6. 就職を希望しているから	282	9.3%
7. 進路は未定だから	302	10.0%
8. 通学に時間がかかりそうだから	116	3.8%
9. 学費が高いから	294	9.7%
10. その他	69	2.3%

※ 問 7 は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 = 回答数 ÷ 3,018 人 (問 5 で「受験しない」を選択した回答者の人数)

3. 「言語文化学科」定員増についての高校生アンケート調査 集計結果のポイント

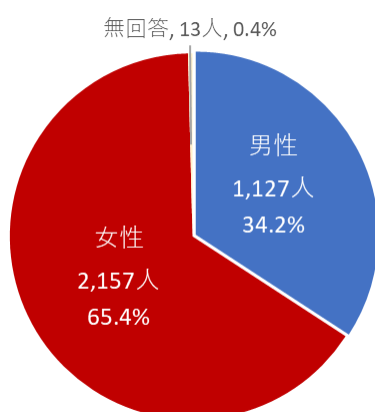
※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

Point 1 回答を得た高校2年生3,297人のうち6割強が女性で、地元岡山県ならびに近隣県に居住。8割強が進学予定者で、人文科学・社会科学系統に興味をもつ文系生徒が中心。

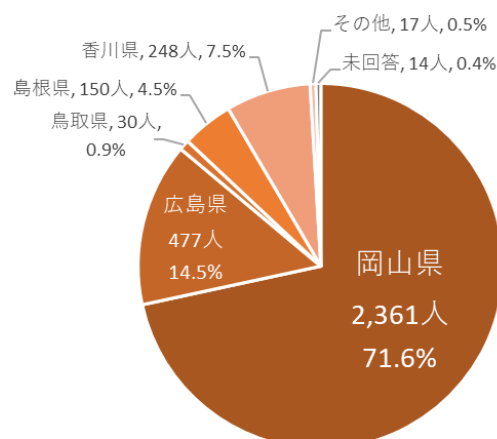
山陽学園大学が2022年度に入学定員増を予定する「総合人間学部 言語文化学科」について、学生確保の見通しを得るための高校生アンケート調査を実施した。3,297人の高校生（2022年度に大学進学時期を迎える2020年度時点で高校2年生）から回答を得て集計した結果、性別で見ると「女性」が2,157人（全体の65.4%）、「男性」が1,127人（同34.2%）であった。回答者を居住地別にみると、大学の所在地である地元岡山県が2,361人（同71.6%）で最も多く全体の7割強を占め、他にも広島県や香川県など近隣の高校生から回答を得た。高校卒業後の希望進路については、「進学」が2,743人（同83.2%）で全体の8割強を占めた。関心のある学問分野については、「人文科学」が944人（同28.6%）で最多、次いで「社会科学」が879人（同26.7%）などであった（興味のある学問分野は複数回答の結果）。

高校生アンケート調査に回答を示した高校生の属性 すべてN=3,297人

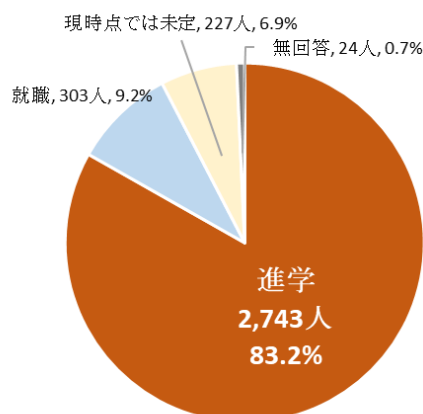
性別 <問1結果より>



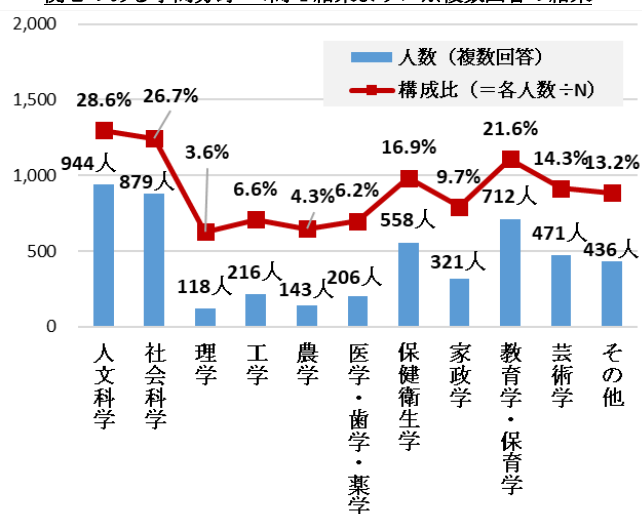
居住地 <問2結果より>



高校卒業後の希望進路 <問3結果より>



関心のある学問分野 <問4結果より> ※複数回答の結果



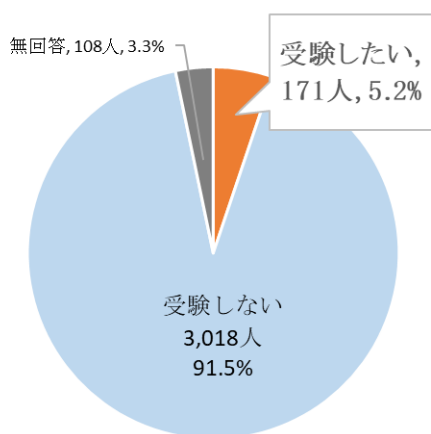
Point 2 山陽学園大学「言語文化学科」に対し計 173 人が受験意志を示し、増員後の入学定員 60 名に対して 3 倍近い志願者が見込まれる。

高校生アンケート調査の回答を得た 3,297 人に対し、山陽学園大学「総合人間学部 言語文化学科」（定員増後、入学定員 60 名を予定）の概要を提示し、受験意欲について回答を求めた。その結果、「受験したい」とした者が 171 人（全体の 5.2%）いた。そのうち、76 人が「合格した場合、入学したい」、94 人が「合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい」と回答した。

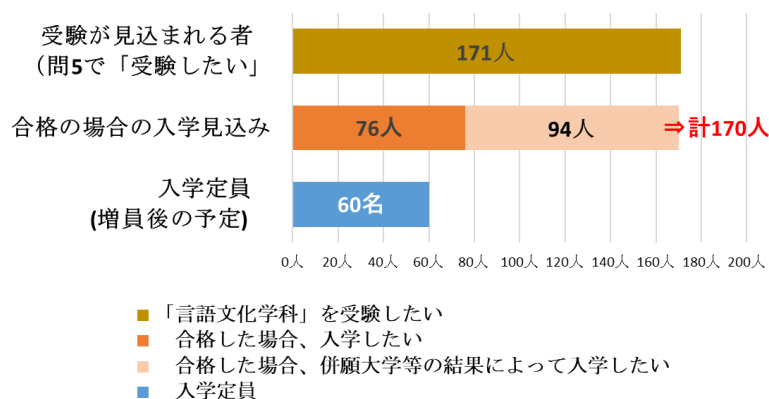
以上を踏まえると、令和 3 年度・入学定員 40 名から令和 4 年度・入学定員 60 名への定員増を予定する「総合人間学部 言語文化学科」に対しては、予定する入学定員の 3 倍近い志願者が見込まれ、入学定員の充足については問題ないと判断できる。

山陽学園大学 言語文化学科への受験・入学意志

受験意志 <問 5 結果より> N=3,297



入学意志 <問 5・6 結果より> N=173 人（問 5 で「受験したい」とした人数）

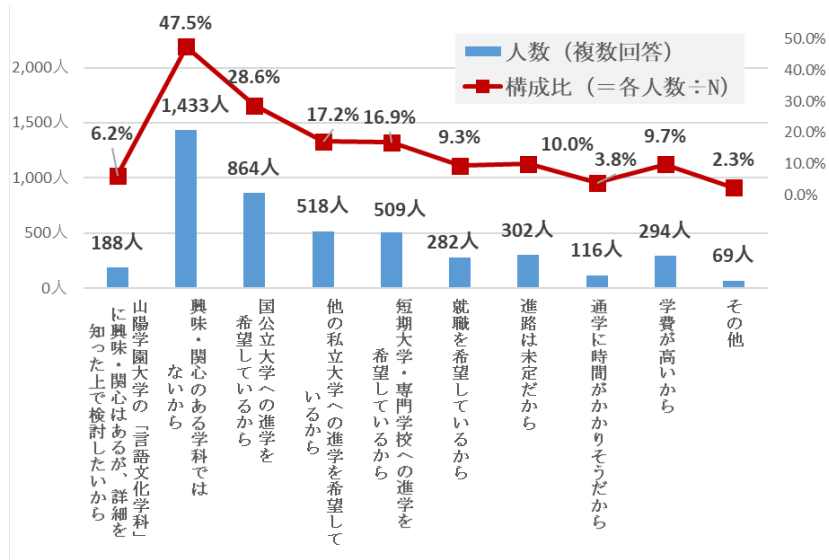


Point 3 アンケート実施時点では「言語文化学科」への受験意志を示さなかったものの、「興味があり詳細を知った上で検討」が 188 人おり、今後の広報活動を通して更なる志願者確保が可能。

山陽学園大学「言語文化学科」について「受験しない」とした理由について「現時点では予定にない」とした 3,018 人に対し、その理由について回答を求めた。結果、「山陽学園大学の言語文化学科に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから」とした者が 188 人いた（複数回答の結果）。このことから、アンケート調査実施時点では「言語文化学科」への受験意志を示さなかったものの、一定の興味を示している層が存在していることは明らかで、今後の広報活動を通して更なる志願者確保が可能であると推察される。

<関連グラフは次頁>

山陽学園大学「言語文化学科」を受験しない理由 <問7結果より>
 ※N=3,018人(問5で「受験しない」とした人数)



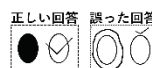


山陽学園大学 総合人間学部
「言語文化学科」定員増についての高校生アンケート調査
(対象：2020年度現在、高校2年生の皆さん)

山陽学園大学（岡山市中区平井1-41-1）は、総合人間学部言語文化学科のさらなる充実を計画し、2022年度より入学定員を60名に増員することを計画しております。本学ではこのアンケート調査を通して、2022年度に大学進学時期を迎える現・高校2年生の皆さんからさまざまなご意見をお聞きし、さらなる計画の充実を図っていきたく考えています。回答いただいた皆さんから得られた情報は山陽学園大学の定員増構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。アンケート調査へのご協力を、よろしくお願いいたします。

※このアンケート調査は山陽学園大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

記入例を参考にご回答ください。



問1 あなたの性別をお答えください。（あてはまるものにマーク）

- 男性 女性

問2 あなたがお住まいの県をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 岡山県 広島県 鳥取県 島根県 香川県 その他

問3 あなたの高校卒業後の希望進路をお答えください。（現時点で最もあてはまるもの1つにマーク）

- 進学 就職 現時点では未定

問4 あなたが関心のある学問分野をお答えください。（あてはまるものすべてにマーク）

- | | |
|---|--|
| <input type="radio"/> 人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語学など） | <input type="radio"/> 社会科学（法学・政治学、経営学、経済学、社会学など） |
| <input type="radio"/> 理学（数学、物理学、化学、生物学など） | <input type="radio"/> 工学（機械工学、電気電子工学、応用化学、建築学など） |
| <input type="radio"/> 農学（農学、農業経済学、林学、水産学、獣医学など） | <input type="radio"/> 医学・歯学・薬学 |
| <input type="radio"/> 保健衛生学（看護学、リハビリ学など） | <input type="radio"/> 家政学（生活科学、食物学、住居学、被服学など） |
| <input type="radio"/> 教育学・保育学 | <input type="radio"/> 芸術学（音楽、デザイン、美術など） |
| <input type="radio"/> その他 | |





問5以降は別紙・山陽学園大学「言語文化学科」概要をご覧ください、お答えください。

問5 あなたは山陽学園大学の「言語文化学科」を受験したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

- 受験したい ⇒ 以下の問6にお答えください。
- 受験しない ⇒ 以下の問7にお答えください。

問5で「受験したい」と回答した方は、以下の問6にお答えください。

問6 あなたは山陽学園大学の「言語文化学科」に合格した場合、入学したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

- 合格した場合、入学したい
- 合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい

問5で「受験しない」と回答した方は、以下の問8にお答えください。

問7 あなたが山陽学園大学の「言語文化学科」を「受験しない」とした理由をお答えください。（あてはまるものすべてにマーク）

- 山陽学園大学の「言語文化学科」に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから
- 興味・関心のある学科ではないから 国公立大学への進学を希望しているから
- 他の私立大学への進学を希望しているから 短期大学・専門学校への進学を希望しているから
- 就職を希望しているから 進路は未定だから
- 通学に時間がかかりそうだから 学費が高いから
- その他

質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。



山陽学園大学

総合人間学部 言語文化学科

入学定員を40→60名に
増員予定(2022年度より)

豊かな教養と卓越した語学力によりグローバル化が進み続ける社会に適応し地域に貢献する国際人を育成します。

● 修業年限：4年 ● 取得学位：学士（人文学）

✓ 学びの特色

◆ 各分野の専門性を高めるためコース設置

コース 共通	<ul style="list-style-type: none"> 文章表現力やコミュニケーション力など基礎能力をしっかりと高めます。 日本文化や異文化への理解を深め、グローバルマインドを育てます。 1年次の短期海外研修で、異文化コミュニケーションの大切さ・楽しさを体感します。 「観光学概論」「観光英語」などの観光関連科目を順次開講します。
英語 コース	<ol style="list-style-type: none"> しっかりと基礎を固め、英米やオセアニアの歴史や文化なども学びます。 海外TV、映画、音楽などを活用して楽しく学び、実践力を身につけます。 <p>アドバンスト英語クラス</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 英検2級レベル以上で留学の意思が明確な学生を対象に編成します。 ● 全員が英検準1級相当取得と、3年次に長期留学を目指します。
日本・アジア コース	<ol style="list-style-type: none"> 日本語をさらに探求し、日本文化について深く学び、日本について発信します。 中国語、ハングルなどアジアの言語と、アジア地域の文化について学びます。 日本語教員になるための実習を、海外でも実施しています。 多様な文化的背景を持つアジア地域からの留学生と共に学び考えます。

◆ 取得をめざせる免許・資格

中学校・高等学校教諭一種免許状（英語）

中学校・高等学校教諭一種免許状（国語）

学校図書館司書教諭

図書館司書資格

学芸員資格

日本語教員（本学認定資格）

✓ 充実した学費助成制度

◆ 英検等のレベルで授業料を減額

入学時だけでなく在学中に取得した場合も、授業料を英検準2級相当取得で10万円、英検2級相当取得で25万円、英検準1級相当取得で50万円減額します（TOEFL、TOEICなども対象）。

◆ 海外研修等の助成金制度

短期海外研修なら20万円まで、長期留学の場合は最大80万円までを助成します（条件により異なります）。

✓ 卒業生の主な就職先

● 教育・学術

中学校・高等学校教員（岡山市・倉敷市・総社市・浅口市）、林原美術館、岡山外語学院など

● 金融機関等

中国銀行、トマト銀行、笠岡信用金庫、岡山西農業協同組合・びほく農業協同組合・鳥取西部農業協同組合 など

● ホテル・観光業

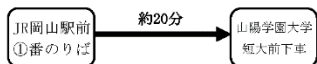
ANAクラウンプラザホテル岡山、岡山国際ホテル、WASHU BLUE RESORT 風籬、ホテルエクセル岡山、ユニバーサルスタジオジャパン、ニッコー観光バス など

● 流通業

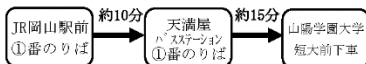
イオンリテール、大黒天物産、ダイキエンジニアリング、山陽マルナカ、エブリイ、わたなべ生鮮館、魚宗フーズ、ザグザグ、スターバックスコーヒージャパン、ジェイアール西日本フードサービスネット、ゼンショーホールディングス、プラダジャパン、サマンサタバサジャパン、トヨタカローラ岡山 など

アクセス

◆ 直行バス（始業時・終業時に運行）



◆ 路線バス（日中は10分おきに運行）



副都バス「山陽学園大学経由」の下記の便に乗車。
 ■新岡山港行き ■岡山ふれあいセンター行き ■倉益南行き
 ■三輪南行き

言語文化学科 入学金・授業料等（2020年度実績）

入学金（入学時のみ）	授業料（年額）	教育充実資金（年額）	初年次合計（入学金含む）
300,000円	700,000円	150,000円	1,150,000円

言語文化学科と類似する周辺大学の例

岡山大学文学部日本語・日本文学、外国語・外国文学／吉備国際大学外国語学部外国学科／就実大学文学部実践英語学科／中国学園大学国際教養学部国際教養学科／ノートルダム清心女子大学文学部英語英文学科、日本語日本文学



山陽学園大学
山陽学園短期大学

〒703-8501 岡山県岡山市中区平井1丁目14-1
<http://www.sguc.ac.jp/>

【資料2】

山陽学園大学 総合人間学部言語文化学科 志願者・入学者 推移(平成28年度～令和2年度)

学部・学科名	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	志願	入学	倍率	志願	入学	倍率	志願	入学	倍率	志願	入学	倍率	志願	入学	倍率
総合人間学部言語文化学科	57	36	1.58	73	41	1.78	106	50	2.12	119	41	2.90	161	43	3.74

※一般・センター、AO・推薦入試を含む。

※倍率＝志願÷入学

※「志願」には学内併願者を含む。

※入学定員：平成28～29年度は60名、平成30～令和2年度は30名。

【資料3】

山陽学園大学 総合人間学部言語文化学科 編入学者 推移(平成28年度～令和2年度)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	5年平均
言語文化学科 編入学者数	6	10	3	4	5	5.6

【資料4】

私立大学 人文科学系全体の入学定員・志願・合格・入学状況 推移(平成28年度～令和2年度)

年度	集計 学部数(学部)	入学定員 (人) A	志願者 (人) B	受験者 (人) C	合格者 (人) D	入学者 (人) E	志願倍率 B/A	合格率 (%) D/C	歩留率 (%) E/D	入学定員 充足率 (%)
平成28年度	240	69,619	525,219	507,470	196,137	73,092	7.54	38.65	37.27	104.99
平成29年度	240	69,921	556,791	537,631	187,202	73,806	7.96	34.82	39.43	105.56
平成30年度	244	69,538	615,363	594,880	177,617	72,275	8.85	29.86	40.69	103.94
令和元年度	243	68,494	644,739	621,845	177,212	70,826	9.41	28.50	39.97	103.40
令和2年度	245	68,104	608,854	584,635	186,184	70,067	8.94	31.85	37.63	102.88
平均	242	69,135	590,193	569,292	184,870	72,013	8.54	32.74	39.00	104.15

※ 日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等 入学志願動向」より

【資料5】

岡山県・広島県の私立大学言語文化学科もしくは関連学科における入学定員・志願・合格状況 推移(平成28年度～令和2年度)

県名	大学名	学部名	学科名	入学定員	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度						
					志願者数	合格者数	合格倍率	志願者数	合格者数	合格倍率	志願者数	合格者数	合格倍率	志願者数	合格者数	合格倍率			
岡山県	吉備国際	外国語	外国	50	40	31	1.29	43	40	1.08	30	22	1.36	56	45	1.24	90	64	1.41
	就実	人文科学	実践英語	75	152	112	1.36	174	119	1.46	248	141	1.76	260	126	2.06	300	120	2.50
	ノートルダム清心女子	文	英語英文	80	270	159	1.70	314	152	2.07	342	143	2.39	285	116	2.46	275	63	4.37
広島県	比治山	現代文化	言語文化	120	301	188	1.60	315	153	2.06	345	170	2.03	289	167	1.73	386	144	2.68
	広島修道	人文	英語英文	110	884	448	1.97	963	396	2.43	842	382	2.20	849	279	3.04	754	366	2.06
	広島女学院	人文	国際英語	65		開設前			開設前		188	163	1.15	153	119	1.29	132	112	1.18
	広島文教	人間科学	グローバルコミュニケーション	60	82	71	1.15	92	85	1.08	128	111	1.15	194	149	1.30	232	143	1.62
	安田女子	文	英語英米文	110	318	275	1.16	287	249	1.15	497	255	1.95	380	214	1.78	330	202	1.63
合計				870	2,047	1,284	1.59	2,188	1,194	1.83	2,620	1,387	1.89	2,466	1,215	2.03	2,499	1,214	2.06

※ 旺文社「蛭雪時代 全国大学内容案内号(2017～2021年度版)」より

※ 志願・合格は一般・センター入試のみの合計

令和4年度～令和13年度の大学進学対象者数(指数:令和4年度を100とした場合)

都道府県	区分	進 学 年 度										
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	
全国	人数	1,121,276	1,097,105	1,061,961	1,089,005	1,093,565	1,085,011	1,068,978	1,066,720	1,048,177	1,033,386	
	指数	100.0	97.8	94.7	97.1	97.5	96.8	95.3	95.1	93.5	92.2	
鳥取県	人数	5,261	5,082	4,931	4,953	4,968	4,768	4,885	4,742	4,951	4,646	
	指数	100.0	96.6	93.7	94.1	94.4	90.6	92.9	90.1	94.1	88.3	
島根県	人数	6,009	5,993	5,678	6,007	5,937	5,782	5,778	5,746	5,745	5,655	
	指数	100.0	99.7	94.5	100.0	98.8	96.2	96.2	95.6	95.6	94.1	
岡山県	人数	17,520	17,293	16,775	17,156	17,263	16,839	16,650	16,722	16,421	16,234	
	指数	100.0	98.7	95.7	97.9	98.5	96.1	95.0	95.4	93.7	92.7	
広島県	人数	25,810	25,245	24,690	25,352	25,561	25,445	25,436	25,550	25,112	24,669	
	指数	100.0	97.8	95.7	98.2	99.0	98.6	98.6	99.0	97.3	95.6	
香川県	人数	8,936	8,949	8,498	8,540	8,648	8,694	8,475	8,372	8,355	8,163	
	指数	100.0	100.1	95.1	95.6	96.8	97.3	94.8	93.7	93.5	91.3	
5県合計	人数	63,536	62,562	60,572	62,008	62,377	61,528	61,224	61,132	60,584	59,367	
	指数	100.0	98.5	95.3	97.6	98.2	96.8	96.4	96.2	95.4	93.4	

出展元 リクルート進学総研マーケットリポート(Vol.71 2020年1月号)18歳人口予測

- ① 18歳人口予測は、文部科学省「学校基本調査」より、以下の通り定義して算出した。
 ・18歳人口＝3年前の中学校卒業者及び中等教育学校前期課程修了者数
 ・中学校卒業者数＝高校生＋フリーター＋就職者全て含む
- ② 表内の「年」に属する18歳とは、その年の3月に卒業を迎える高校3年生を指す。
- ③ 表内の「指数」とは、開始年(令和4年度)の値を100とおいた際の値を示す。

ちいき

まねぢめんと

こんてすと
二〇二〇

第二回、オンライン開催いたします

山陽学園大学

ちいき

オンライン開催

まねぢめんと

こんてすと

二〇二〇

地域の未来を創る高校生の取組を応援するため、地域課題の発見や調査、創造的かつ実効的な解決策の提案やアイデア、計画、活動の実績などを募集します。

募集内容

高校等での課題研究、部活動、サークル活動、自主研究などの活動によって得られた成果のうち、地域課題の発見や調査・研究の結果、それを解決するための提案やアイデア、計画、活動の実績などを広く募集します。

例…新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」の提案／伝統文化継承のための方策
地元商店街の活性化策／地域資源・地域の魅力の発掘調査／地域の伝統食材を利用したメニュー開発／インバウンド誘客によるまちづくり／地域防災のための住民意識の醸成／SDGsの達成に向けたプロジェクト

応募資格

岡山県及び近隣の高校生（高等学校、高等専門学校1年生から3年生まで、専修学校高等課程、特別支援学校高等部、中等教育学校等の生徒を含む）であること。
2020年4月時点で当該高等学校等に在籍していること。
2020年10月4日（日）の発表会及び審査・表彰式（オンライン）に参加できること。

募集受付期間

2020年8月7日（金）

～9月4日（金） 必着

応募方法

募集受付期間内に、次のアとイを電子メールまたは郵送にて提出してください。

ア 応募作品概要

作品タイトル、氏名・ふりがな（グループの場合は全員の氏名・ふりがな）、学校名、作品の要約（200字程度）、担当教員の連絡先（メールアドレス、電話番号）を記載したPDFファイル（A4縦一枚程度、様式自由）

イ 応募作品（プレゼンテーション資料）

横長のスライド形式（PDF・Microsoft PowerPoint・Apple Keynote・Google スライドのいずれか）。スライド一枚目に、タイトル、学校名、発表者氏名（グループの場合は構成員全員の氏名・ふりがな）を記載してください。郵送の場合は、次の宛先に配達記録の残る方法により紙及びデジタルデータにて提出してください。なお、デジタルデータは、USBメモリ等、任意の記録媒体に入れてください。

〒703-1850

岡山市中区平井一丁目14-1

山陽学園大学地域マネジメントコンテスト募集係

電子メール: chi-cont@sguc.ac.jp

発表会及び審査・表彰式

事前審査を行います。事前審査を通過した作品について、次の日時でテレビ会議システムにより一〇分程度のプレゼンテーションをしていただきます。なお、応募後の作品の差替えは認められません。

2020年10月4日（日）午後・オンライン開催

応募作品について専門的な立場からコメント（アドバイス）します。

審査方法

2020年10月4日（日）の発表会での発表を審査します。

審査基準は次の5つです。

- ① 地域の未来に変革をもたらす効果があるか（未来性）
- ② アイデアや提言が地域にとって現実的か（実現可能性）
- ③ これまでない新しい内容を含んでいるか（新規性）
- ④ 地域の人たちと一緒に取組であるか（協働性）
- ⑤ プレゼンテーションが分かりやすく効果的であるか（訴求性）

審査員

岡山県総合政策局職員
岡山県教育委員会職員
山陽新聞社職員
岡山商工会議所職員
日本政策投資銀行岡山事務所職員
山陽学園大学地域マネジメント学部教員

賞

最優秀賞	2000円
優秀賞	1000円
岡山商工会議所会頭賞	1000円
奨励賞図書カード	5,000円

その他

応募作品は、受賞歴がないものに限り、ただし、学校内での受賞歴は、この限りではありません（ただし、権利を侵害しないようにしてください）。応募書類は返却しません。ただし、お送りいただいた記録媒体は、後日、返却します。審査についての個別の問合せはご遠慮ください。

表彰作品は、氏名・所属学校名を付し、本学ホームページで公表することがあります。

お問合せ：山陽学園大学地域マネジメントコンテスト募集係 TEL：086-272-6254 FAX：086-273-3226
E-mail：chi-cont@sguc.ac.jp

主催：山陽学園大学

協賛：岡山商工会議所

後援：岡山県 岡山県教育委員会 山陽新聞社 RSK山陽放送 OHK岡山放送 TSCテレビせとうち RNC西日本放送

KSB瀬戸内海放送 Oniビジョン 一般社団法人岡山経済同友会

学生確保（資料）



【資料 8】

1 書類等の題名

第 2 回地域マネジメントコンテスト紹介記事（山陽新聞）（【資料 8】 1 ページ）

2 出典

山陽新聞

3 引用範囲

山陽新聞（朝刊） 2020 年 10 月 6 日 23 面

「地域課題解決コンテスト 邑久高チーム最優秀」

第2回地域マネジメントコンテストに関するアンケート調査結果

1 アンケート調査の概要

(1) アンケート調査の対象

本学が主催し、岡山商工会議所の協賛、岡山県や県内メディア各社の後援を得て実施した、第2回地域マネジメントコンテストの参加高校7校の担当教員。

(2) アンケート調査の実施時期

2021年3月

(3) アンケート調査の実施方法

本学教職員が回答依頼を行い、Web形式で回答を得た。

(4) 調査項目

- ①第2回地域マネジメントコンテスト全般に対する回答教員の満足度
- ②回答教員コメント
- ③参加した高校生の感想（可能な場合）

2 アンケート調査結果

(1) アンケート調査の回収件数

コンテスト参加校6校の担当教員8人から回答を得た。

(2) アンケート調査の回答結果

①第2回地域マネジメントコンテスト全般に対する回答教員の満足度

「満足している」と「ある程度満足している」を併せて87.5%あった。

回 答	件数	割合
① 満足している	4	50.0%
② ある程度満足している	3	37.5%
③ どちらともいえない	1	12.5%
④ あまり満足していない	0	0.0%
⑤ 満足していない	0	0.0%

②回答教員コメント

- ・生徒の学習研究の目標となった。（多数）
- ・他校の取組が参考となった。（多数）
- ・講評や助言をもらえたことがよかった。（複数）

③参加した生徒の感想

- ・他校の発表が参考になった。（多数）
- ・自分たちの活動が評価され、活動の意義を改めて認識できた。
- ・発表の場を持つことで、自分の考えや意見を言うことに自信を持てた。
- ・客観的データが必要だと分かった。

以上

令和2年度 地域マネジメント実習の実習先一覧

実習先名	住所（本社等所在地）	配属 学生数	
アグリ専修		7	
岡山県立青少年農林文化センター三徳園	岡山市東区竹原505	1	
農業生産法人ひるぜんワイン有限公司	真庭市蒜山上福田1205-32	3	
蒜山酪農農業協同組合	真庭市蒜山中福田958	3	
ものづくり専修		3	
宮下酒造株式会社	岡山市中区西川原184	3	
商い専修		10	
株式会社 ハヤシ	倉敷市加須山334-4	2	
株式会社 タイム	岡山市北区下中野465-4	1	
ANAクラウンプラザホテル岡山 （株式会社レイ）	岡山市北区駅元町15-1	4	
株式会社ベル・ブランジェ	岡山市中区門田屋敷3-5-5	1	
株式会社WORK SMILE LABO	岡山市南区福浜町15-10	2	
政策と地域づくり専修		19	
岡山県	公聴広報課	岡山市北区内山下2丁目4-6	1
	県民生活交通課	〃	1
	中山間・地域振興課	〃	1
	航空企画推進課	〃	1
	備前県民局地域づくり推進課	岡山市北区弓之町6-1	1
倉敷市	倉敷市西中新田640	2	
和気町	和気郡和気町尺所555	2	
一般財団法人 地域公共交通総合研究所・ 両備ホールディングス株式会社	岡山市北区錦町6-1	2	
公益財団法人 岡山県環境保全事業団	岡山市南区内尾665-1	2	
特定非営利活動法人 まちづくり推進機構岡山	岡山市北区石関町2-1	2	
公益財団法人 有隣会	倉敷市阿知2丁目25-33	1	
一般社団法人 瀬戸内市観光協会	瀬戸内市牛窓町牛窓3031-2	1	
一般社団法人 真庭観光局	真庭市勝山654	2	
合 計	企業・団体数 18	39	

◆全30時間(90分×20回)

2020年	5/13(水)	5/20(水)	5/27(水)	6/3(水)	6/10(水)	6/17(水)
15:00~16:30	数的処理 (基礎)①	数的処理 (基礎)②	数的処理 (基礎)③	数的処理 (基礎)④	社会科学 (基礎)①	社会科学 (基礎)②
15:00~16:30	社会科学 (基礎)③	数的処理 (基礎)⑤	数的処理 (基礎)⑥	数的処理 (基礎)⑦	数的処理 (基礎)⑧	数的処理 (基礎)⑨

	8/17(月)	8/19(水)	8/21(金)	8/25(水)
9:30~11:00	社会科学 (基礎)④	数的処理 (基礎)⑩	数的処理 (基礎)⑪	数的処理 (基礎)⑫
11:10~12:40	社会科学 (基礎)⑤	数的処理 (基礎)⑬	数的処理 (基礎)⑭	数的処理 (基礎)⑮
13:30~14:50	数的処理 (基礎)⑨			

【使用教室】110周年記念館2階H205教室

◆申し込み方法について◆

受講手続きには、申込書提出と教材納入が必要です。

- ①申込書に必要事項を記入して、キャリアセンターにご提出ください。
- ②教材費4,000円を郵便局にて専用振込用紙でお振込みください。
- ③受講料は無料です。

※新型コロナウイルス感染症防止のため日程変更

2020年9月9日(水)～
2021年1月6日(水)に実施

《郵便局》：(加入者氏名) 東京リーガルマインド
《口座番号》：00160-8-866652

※振込み時には振込用紙の通信欄に必ず「学籍番号」「名前」を明記してください。
◎いずれの場合も、受講申込書と受講料の両方が受理された時点で手続きが完了となります。

受講申込受付期間：2020年4月7日(火)～4月17日(金)

※締切日までに申込書の提出と教材費の納入を完了してください。

不明な点等ございましたらお気軽にお問い合わせください。

山陽学園大学キャリアセンター TEL:086-272-0291

2020年5月開講

地域マネジメント学部2年生対象
公務員 基礎講座 のご案内

近年、就職活動は深刻な人手不足を背景に、企業の採用意欲が旺盛な中で実施されています。必要な人材を獲得できないことが企業の成長を阻む大きな要因となりうる状況下で、景気低迷期において採用活動に傾重だった企業も積極的に人材確保に乗り出し、攻めの姿勢を強めており、学生に優位な「売り手市場」の状況は、ますますその色合いが濃くなっています。

そのようなかで、公務員試験の動向は各採用試験、各自治体、職種ごとで難易度のバラつきがあり、人気の職種においては、高倍率・高難易度で実施されることもあります。また、近年は流動性のある試験日程で実施される公務員試験もあり、受験に向かって早期に進路を定め、その目標に向かって万全の対策を講じる必要があります。受験間際になって慌てることの無いよう、2年生の今からしっかりと対策を行いましよう！

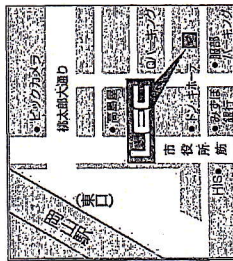
そこで、山陽学園大学では、公務員を目指されている地域マネジメント学部の学生を対象にLEC東京リーガルマインド(四山本校と連携して「公務員試験対策講座」を開催します。2年生対象の基礎講座では、公務員試験 教養科目の主要科目である「数的処理」と「社会科学」の基礎を学習できる内容となっております。3年生からの本格的な試験対策の前に公務員試験がどのようなものかを理解し、準備しておくことが必要です。大学内での講義となりますので、大学の授業や部活動との両立も可能になります。スケジュールの合いう方は、ご検討の上、ぜひご受講ください。受講希望の方は、保護者様ともよくご相談の上、申込締切日までに忘れず受講手続きをお願いします。

＜合格目標＞

都道府県職員(教養試験対策)、政令指定都市職員(教養試験対策)、小中学校事務、警察行政職員、市町村職員(教養試験対策)、国立大学法人等職員 他

【LEC東京リーガルマインド】

学内講座を担当するLEC東京リーガルマインドは昭和54年の創立。司法試験予備校からスタートし、現在では、司法試験にとどまらず各種国家資格・公務員等の受験指導を行い、北海道から沖縄まで全国28の本校、27の提携校を有する。また、全国の多くの大学にて公務員試験対策講座(教養・専門)等の学内講座を担当し、企業内講座や官庁・自治体からの委託を受けた各種就労支援事業、研修施設の運営事業等、社会貢献につながる分野にも取り組んでいる。



2020年9月開講

◆申込方法について◆

受講手続きには、申込書提出と教材費納入が必要です。

①申込書に必要事項を記入して、キャリアセンターにご提出ください。

②教材費11,000円もしくは40,000円を郵便局にて専用振込用紙でお振込みください。

※テキスト代のみ、テキスト代&WEBフォロー付で教材費が異なりますので必ずご確認の上、お振込をお願いします。

《郵便局》：(加入者氏名) 東京リーガルマイルド

《口座番号》：00160-8-86652

◎振込み時には振込用紙の通信欄に必ず「学籍番号」「名前」を明記してください。

いずれの場合も、受講申込書と教材費の両方が受理された時点で手続きが完了となります。

受講申込受付期間：2020年4月7日(火)～4月17日(金)

※締切日までに申込書の提出と教材費の納入を完了してください。

◆テキスト配付について◆

開講日9/7(月)の講義開始前に使用教室にて配布します。配布後は該当テキストを持参するようにしてください。尚、テキストを紛失した場合には、再度、実費購入していただきますのでご注意ください。

不明な点等ございましたらお気軽にお問い合わせください。

山陽学園大学キャリアセンター TEL：086-272-0291

2021年受験対策 地域マネジメント学部3年生対象 公務員試験対策講座 集中講座のご案内

近年、就職活動は深刻な人手不足を背景に、企業の採用意欲が旺盛な中で実施されています。必要な人材を獲得できないことが企業の成長を阻む大きな要因となりうる状況下で、景気低迷期において採用活動に慎重だった企業も積極的に人材確保に乗り出し、攻めの姿勢を強めており、学生に優れた「売り手市場」の状況は、ますますその色合いが濃くなってきています。

そのような中で、公務員試験の動向は各採用試験、各自治体、職種ごとで難易度のバラつきがあり、人気の職種においては、高倍率・高難易度で実施されることもあります。また、近年は流動性のある試験日程で実施される公務員試験もあり、受験に向かって早期に進路を定め、その目標に向かって万全の対策を講じる必要があります。

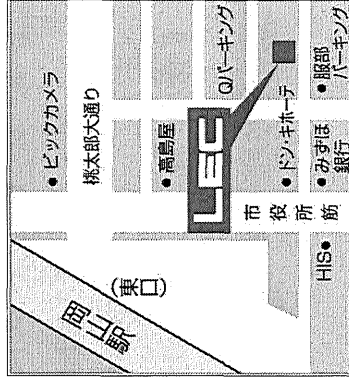
そこで、山陽学園大学では、公務員を目指されている地域マネジメント学部の学生を対象にLEC東京リーガルマイルド岡山本校と連携して「公務員試験対策講座」を開催します。3年生対象の集中講座では、公務員試験における教養試験の中でも主要科目である「数的処理」「社会科学」の3科目対策を学習できる内容となっております。来年の受験に向けてしっかりと対策をしていきましょう！大学内での講義となりますので、大学の授業や部活動との両立も可能になります。スケジュールの合う方は、ご検討の上、ぜひご受講ください。受講希望の方は、保護者様ともよくご相談の上、申込締切日までに忘れず受講手続きをお願いします。

<合格目標>

消防官、警察官(大卒程度)、都道府県職員(教養試験対策)、市町村職員(教養試験対策)、警察事務職員、市町村職員、小中学校事務 他

【LEC東京リーガルマイルド】

学内講座を担当するLEC東京リーガルマイルドは昭和54年の創立。司法試験予備校からスタートし、現在では、司法試験にとどまらず各種国家資格・公務員等の受験指導を行い、北海道から沖縄まで全国28の本校、27の提携校を有する。また、全国の多くの大学にて公務員試験対策講座(教養・専門)等の学内講座を担当し、企業内講座や官庁・自治体からの委託を受けた各種就労支援事業、研修施設の運営事業等、社会貢献につながる分野にも取り組んでいる。



山陽学園大学 公務員試験対策講座 集中講座 カリキュラム (予定)

◆全 75 時間 (90 分 × 50 回)

9/7 (月)	9/9 (水)	9/11 (金)	9/14 (月)	9/16 (水)	9/18 (金)
数的処理①	数的処理④	社会科学①	数的処理⑦	社会科学④	数的処理⑩
数的処理②	数的処理⑤	社会科学②	数的処理⑧	社会科学⑤	数的処理⑪
数的処理③	数的処理⑥	社会科学③	数的処理⑨	社会科学⑥	数的処理⑫
9/30 (水)	10/14 (水)	10/21 (水)	11/4 (水)	11/11 (水)	11/18 (水)
文章理解①	文章理解②	社会科学⑦	社会科学⑧	数的処理⑬	社会科学⑨
12/2 (水)	12/9 (水)	12/16 (水)	12/23 (水)	1/6 (水)	1/20 (水)
社会科学⑩	数的処理⑭	文章理解③	文章理解④	数的処理⑮	数的処理⑯
2/10 (水)	2/17 (水)	2/24 (水)	社会科学⑫		
9:30~11:00	社会科学⑪	社会科学⑬			

2021 年	3/1 (月)	3/3 (水)	3/22 (月)	3/24 (水)	3/26 (金)	3/29 (月)
9:30~11:00	数的処理⑰	数的処理⑱	社会科学⑭	数的処理⑳	数的処理㉑	社会科学⑰
11:10~12:40	数的処理⑱	文章理解④	社会科学⑮	数的処理㉒	数的処理㉓	社会科学⑱
13:30~14:50	文章理解③		社会科学⑯	数的処理㉔	数的処理㉕	社会科学⑲

◆科目コマ数内訳

数的処理	文章理解	社会科学
25	6	19

◆使用教室：110 周年記念館 2 階 H205 教室

- 【 受講料 】 無料
 【 教材費 】 テキストのみ：11,000円 (税込)
 テキスト&WEBフォロー付：40,000円 (税込)

※どちらにするか選んでお申込みください。

- 【 受講特典 】 全国公務員模擬試験 (教養試験) 全 2 回受験無料 (10,200円相当)
 ・ 第 2 回トライアル模試 (2021 年 1 月実施予定)
 ・ 地方上級・国家一般職一公開模試 第 2 回 (2021 年 2 月実施予定)

■ 2019 年 (令和元年) 実施 行政職・警察官・消防官 採用状況 (岡山県近隣エリア)

試験名	受験者数 (申込者数)	一次合格	最終合格	倍率
岡山県	312	152	70	4.5
岡山市	109	41	10	10.9
倉敷市	239	23	5	21.8
広島県	193	117	41	4.7
広島市	60	19	4	12.0
福山市	109	46	21	5.2
広島県	352	229	113	3.1
広島市	91	72	26	3.5
福山市	33	12	10	3.3
広島県	33	12	5	6.6
福山市	542	303	136	4.0
国立大学法人職員 (中国・四国)	非公表	88	53	—
合計	2,612	1,069	非公表	—

★は専門試験の出題される試験

■ 公務員試験 出題科目別内訳 (教養試験) ※令和元年実施、警察官・消防官は平成 30 年実施

	一般知能										一般知識						合計	時間
	判断推理	数的推理	資料解釈	文章理解	政治・経済	社会・時事	地理	日本史	世界史	思想	文学・芸術	生物	化学	物理	地学	数学		
都道府県庁・政令市	10	5	1	9	6	7	1	2	2	—	—	2	2	1	1	1	150分	
市役所 行政職	6	6	1	6	7	2	2	2	2	—	—	2	2	1	1	40	120分	

■ 令和元年実施公務員試験日程 (一部試験抜粋版)

5月	6月	7月	8月	9月
裁判所事務官	国税専門官 労働基準監督官 国家一般職(大卒程度) 地方上級(県・政令市) 市役所A 岡山県警察事務	市役所B 国立大学法人等職員		市役所C 岡山県小中学校事務

山陽学園大学
「総合人間学部 言語文化学科」
定員増に係る人材需要の見通し調査
(定員増構想についての人材需要アンケート調査)
報告書

株式会社高等教育総合研究所

目次

1. 「定員増構想についての人材需要アンケート調査」 概要	3
2. 「定員増構想についての人材需要アンケート調査」 集計結果	4
3. 「定員増構想についての人材需要アンケート調査」 集計結果のポイント	9

添付資料

「定員増構想についての人材需要アンケート調査」	1 1
-------------------------	-----

1. 「定員増構想についての人材需要アンケート調査」概要

山陽学園大学が2021年度予定の「総合人間学部 言語文化学科」の定員増（増員後60名予定）における人材需要の見通しを測定するために、「定員増構想についての人材需要アンケート調査」（無記名式）を計896箇所へ送付した。計229件の有効回答（アンケート調査用紙）を回収の上で集計した結果、以下の結果が得られた。

<結果のまとめ>

総合人間学部言語文化学科が養成する人材について合計126箇所（全体の55.0%）が社会的ニーズを認めた。また、53箇所が総合人間学部「言語文化学科」が養成する人材を「採用したい」とし、その上で提示された採用可能人数は合計87人※であった。

※「採用したい」とした53箇所中48箇所が人数を示し、その合計が87人であった。

調査対象	山陽学園大学「総合人間学部 言語文化学科」卒業生の採用が見込まれる岡山県を所在地とする企業、ならびに地方自治体、合計896箇所を依頼対象とした。
調査内容	<ul style="list-style-type: none">● 問1～3：回答企業等の基本情報（業種、所在地、従業員・職員規模）● 問4～5：山陽学園大学「総合人間学部 言語文化学科」が育成する人材の社会的ニーズ、採用意向及び採用可能人数、同大学・学科に期待・要望する点について 以上、全6問で主に選択肢式。一部記述を含む。
調査時期	2019年10月～2020年1月
調査方法	調査対象先の採用担当者宛にアンケート調査用紙1部・依頼状・返送用封筒を送付した。ご協力いただける場合、回答済のアンケート調査用紙をご返送いただいた。
回収件数	有効回答数229件（配布896件に対し、回収率25.6%）

2. 「定員増構想についての人材需要アンケート調査」集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問1 貴事業所の主業種として、最もあてはまるものをお答えください。(最もあてはまるもの一つにチェックをお願いします)

選択項目	回答数	構成比
1. 農業、林業、漁業、鉱業	3	1.3%
2. 建設業	24	10.5%
3. 電気、ガス、熱供給、水道業	3	1.3%
4. 製造業	63	27.5%
5. 通信業	0	0.0%
6. IT関連業	1	0.4%
7. 放送、新聞、出版業	0	0.0%
8. 運輸業、郵便業	13	5.7%
9. 金融業(銀行・信託・証券・貸金・保険業)	4	1.7%
10. 卸売業	28	12.2%
11. 小売業	28	12.2%
12. 学術研究、専門・技術サービス	0	0.0%
13. 不動産業、物品賃貸業	2	0.9%
14. 宿泊業	3	1.3%
15. 飲食サービス業	13	5.7%
16. 旅行業	6	2.6%
17. 娯楽業	4	1.7%
18. 旅行業・娯楽業以外の生活関連サービス業	4	1.7%
19. 医療、福祉	4	1.7%
20. 学習支援業	1	0.4%
21. その他サービス	7	3.1%
22. 国家公務	0	0.0%
23. 地方公務	12	5.2%
24. その他団体	4	1.7%
25. その他	1	0.4%
(無回答)	1	0.4%
合計	229	100.0%

問2 貴事業所の所在地をお答えください。(あてはまるもの一つにチェックをお願いします)

選択項目	回答数	構成比
1. 岡山市	112	48.9%
2. 備前(岡山市以外/玉野市・備前市・瀬戸内市・赤磐市・和気町・古備中央町)	24	10.5%
3. 備中(倉敷市・笠岡市・井原市・総社市・高梁市・新見市・浅口市・早島町・里庄町・矢掛町)	73	31.9%
4. 美作(津山市・真庭市・美作市・新庄村・鏡野町・勝央町・奈義町・西栗倉村・久米南町・美咲町)	17	7.4%
5. その他	1	0.4%
(無回答)	2	0.9%
合計	229	100.0%

問3 貴事業所の従業員・職員規模をお答えください。（あてはまるもの一つにチェックをお願いします）

選択項目	回答数	構成比
1. ～99人	130	56.8%
2. 100～499人	73	31.9%
3. 500～999人	14	6.1%
4. 1000～2999人	10	4.4%
5. 3000～9999人	2	0.9%
6. 10000人	0	0.0%
(無回答)	0	0.0%
合計	229	100.0%

問4以降は、山陽学園大学 総合人間学部「言語文化学科」の概要を見た上での回答を求めた。

問4 山陽学園が入学定員増を構想中の総合人間学部「言語文化学科」が養成する人材は、社会的ニーズが高いと思われますか。（あてはまるもの一つにチェックをお願いします）

選択項目	回答数	構成比
1. ニーズは高い	44	19.2%
2. ややニーズは高い	82	35.8%
3. あまりニーズはない	36	15.7%
4. 全くニーズはない	2	0.9%
5. わからない	64	27.9%
(無回答)	1	0.4%
合計	229	100.0%

問5 山陽学園大学が入学定員増を構想中の総合人間学部「言語文化学科」が養成する人材を、貴事業所において採用したいと思われませんか。（あてはまるもの一つにチェックをお願いします）

選択項目	回答数	構成比
1. 採用したい	53	23.1%
2. 採用しない	39	17.0%
3. わからない	136	59.4%
(無回答)	1	0.4%
合計	229	100.0%

(問5)で「採用したい」とされた場合、よろしければ採用可能な人数をお答えください。

・「採用したい」と回答した事業所の採用可能人数

提示人数	回答数	人数合計
1人	28	28
2人	12	24
3人	5	15
5人	2	10
10人	1	10
「採用したい」を選んだが、採用可能人数は無回答	5	0

合計	53	87
----	----	----

問6 山陽学園大学が入学定員増を構想中の総合人間学部「言語文化学科」または山陽学園大学について期待される点、ご要望等がありましたらご記入ください。（自由記述）

※ 言語文化学科に関連がある56箇所からの回答を掲載。以下、回答内容を掲載（原文通り）。順不同。【】内は【所在地／業種／従業員・職員規模】を示す。

1.	インバウンドの関係もあり、他言語を話せる人材は、さらに、需要が高まると思います。【岡山市 / 飲食サービス業 / 100～499人】
2.	外国人労働者の国内拡大を考えると、他国の文化理解は入社後4～5年目の人材としては、他者よりメリットがあると思います。ただ新卒採用となると、役員等のニーズ次第になると思います、なかなか難しいかと考えます。【備前（岡山市以外／玉野市・備前市・瀬戸内市・赤磐市・和気町・吉備中央町） / 製造業 / 100～499人】
3.	外国人技能実習生と企業との懸け橋になるような人材育成は今後必要と思います。ちなみに、県内のどの企業がどのくらい、どこの国から受け入れを行っているか、また、なぜか、など、学生さんにも理解いただきたい。【備前（岡山市以外／玉野市・備前市・瀬戸内市・赤磐市・和気町・吉備中央町） / 製造業 / 100～499人】
4.	枠にはいっても、独自の触覚をつくり、地域、国、世界で活躍される人を希みます。【岡山市 / 建設業 / ～99人】
5.	玉野市のタクシー会社です。瀬戸内芸術祭の影響もあり、外国からの観光客が多いです。その方へのタクシー利用の案内のパンフレットや、運転手の英会話のレッスン、若しくは、玉野市内で、観光案内サービスの起業があればいいと思います。（中国語やベトナム語は、三井造船の影響で需要があります。）【備前（岡山市以外／玉野市・備前市・瀬戸内市・赤磐市・和気町・吉備中央町） / 運輸業、郵便業 / ～99人】
6.	学生が様々な方とふれあうことで、主体性のある学生となり、社会に貢献して欲しいと思います。【岡山市 / 金融業（銀行・信託・証券・貸金・保険業） / 500～999人】
7.	楽しく、明るい人材を希望します。【備中（倉敷市・笠岡市・井原市・総社市・高梁市・新見市・浅口市・早島町・里庄町・矢掛町） / 製造業 / ～99人】
8.	英語力も重要と思いますが、基本的なコミュニケーション能力を備えた人材の育成を望みます。【岡山市 / その他サービス / ～99人】
9.	弊社が自動車部品商社であり、言語文化学科の学生が希望されることは少ないと思いますが、いらしたら採用は是非と考えます。最近の学生はまじめでレベルも高い方が多いですが、反面仕事へのやる気などマインドが弱く思います。【岡山市 / 小売業 / ～99人】
10.	岡山県内の歴史ある学園として、地道に未永く進んで欲しい。【備中（倉敷市・笠岡市・井原市・総社市・高梁市・新見市・浅口市・早島町・里庄町・矢掛町） / 製造業 / ～99人】
11.	グローバルな視点を持ちつつも、ローカル（特に中山間地域）での暮らしや、地域資源を活かしたビジネスにも目を向け活躍する人材を育成して欲しい。【美作（津山市・真庭市・美作市・新庄村・鏡野町・勝央町・奈義町・西粟倉村・久米南町、美咲町） / 小売業 / ～99人】
12.	外国人観光客の受け入れを考えていますので、外国語を話せるスタッフは是非とも採用したいと考えています。定員を増やすことに賛成します。【備中（倉敷市・笠岡市・井原市・総社市・高梁市・新見市・浅口市・早島町・里庄町・矢掛町） / その他サービス / ～99人】
13.	文法より英会話を中心として教育して欲しい。学校で習った英語では通用しません【岡山市 / 建設業 / ～99人】
14.	会社に必要なスキルは様々あるが、何をやるにしても、一番大事なのは、物事の問題や課題の本質を言語化し、見抜く力だとつくづく思う。土台の部分がしっかりしていれば、その後どの分野に進んでも大体のことはやりこなせる。期待しています。【岡山市 / 製造業 / ～99人】
15.	日本人でなくても、日本語でコミュニケーションがとれれば全く構わないので、しっかり勉強してから卒業して欲しいです。【岡山市 / 卸売業 / ～99人】
16.	考える力、判断力、読解力が養える学科教育をお願いしたい。【岡山市 / 小売業 / ～99人】
17.	創造性を育てること・様々な文化を持つ世界の考え方を統合させることで、世界で役立てる人になること。【備前（岡山市以外／玉野市・備前市・瀬戸内市・赤磐市・和気町・吉備中央町） / 小売業 / ～99人】
18.	物作りの現場への人材教育を望みます。【備中（倉敷市・笠岡市・井原市・総社市・高梁市・新見市・浅口市・早島町・里庄町・矢掛町） / 建設業 / ～99人】
19.	会社員としての前に個人として世の中の仕組みを知っておいて欲しいです。社会人としての公的な手続きや届け出る場所・方法など。会社に入っても色々手続きや届けをする必要がありますが、手引を読んで書類を書くことが年々できなくなっています。権利を得るための義務を果たすことを教えて欲しいです。これは、全ての大学・高校に言えることだと思います。【備前（岡山市以外／玉野市・備前市・瀬戸内市・赤磐市・和気町・吉備中央町） / 製造業 / ～99人】

20.	スマートフォンの普及により、人間同士のコミュニケーション力が低下していると思います。やはり社会に出て人として、相手ときちんと話ができて、話を聞ける人材を作りたいと思います。日本語の基礎と読解力、また英語・中国語や韓国語など、国際的に対応できる人材を作りたいと思います。【岡山市 / 製造業 / ~99人】
21.	現時点においては、当社の求人職種の中では、言語文化学科での供用が最大限活かせるものはありませんが、今後の中では必要とする時期があると思います。明確な要望や、期待する点は、今のところ明確にできません。【岡山市 / 製造業 / 100~499人】
22.	当社は、中国を初め、主に東南アジア方面への視察旅行企画販売、業務渡航、交流事業を手がけていますが、求めている人材は、アジアの中で共に生きていく感性を持った人です。大学ですので、専門学校とは異なる深いレベルでの学習を期待します。たとえば、「中国語ができる」レベルから「中国語が使える」ことを目標に、背景となる文化・歴史（近代含め）、そして今進行している経済やカルチャーを学んで欲しいと思います。貴大学の取組に期待しています。【岡山市 / 旅行業 / ~99人】
23.	今後労働者として、海外からの受け入れが増加すると考えられます。特に、東南アジア圏が対象となると思われますので、米中北東亜でなく、こちらに特化した方が必要とされてくるのではないのでしょうか。【備前(岡山市以外/玉野市・備前市・瀬戸内市・赤磐市・和気町・吉備中央町) / 医療、福祉 / ~99人】
24.	・PC操作に強い人を育てていただきたい。・ビジネスマナーにつながる、一般の礼儀・常識・コミュニケーションの学びを盛り込んでいただきたい。【岡山市 / 不動産業、物品賃貸業 / ~99人】
25.	専攻されている学科に関わらず、やる気のある方が望ましい。バイタリティある人材育成を希望します。グローバル社会に適應できる会話ができれば飲食店でご来店いただいた外国のお客様に対応できると思います。【美作(津山市、真庭市、美作市、新庄村、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町) / 飲食サービス業 / 100~499人】
26.	言語文化学科に限らず、人間性が成長できる教育を期待しております。【備中(倉敷市・笠岡市・井原市・総社市・高梁市・新見市・浅口市・早島町・里庄町・矢掛町) / 建設業 / ~99人】
27.	学科不問で募集をかけております。専門知識を習得し、かつ柔軟なコミュニケーション能力を養っていただけると、知識も十分に発揮できると考えております。知識を活かすための人間力を磨いていただきたいと期待しております。【備中(倉敷市・笠岡市・井原市・総社市・高梁市・新見市・浅口市・早島町・里庄町・矢掛町) / 小売業 / ~99人】
28.	当社は、建設業であり、ニーズは低いように感じます。社会人にとって知識は必要ですが、コミュニケーション能力を高める教育が必要と考えます。【岡山市 / 建設業 / ~99人】
29.	中小企業としては即戦力もしくは外国人をサポート可能な人材を求める。従って、社会経験を有した人材を求める事になる。【岡山市 / 製造業 / ~99人】
30.	今後、インバウンドの効果で訪日客は増加すると思われれます。また、日本で働く外国人の方も増加する傾向にあります。そういった方とのコミュニケーションがスムーズに出来るようなレベルに達するのであれば、企業側の需要も高いと思います。【岡山市 / 製造業 / 100~499人】
31.	当社は、メーカーの下請け業者なので直接お客様との対応がありません。そのため、採用できません。しかしながら、お客様の中には外国人の方が多くなっており、生きた語学能力を高めていただきたいと思います。【岡山市 / 建設業 / ~99人】
32.	外国人観光客が増える中、様々な分野で人材の需要はあると思いますが、弊社のような製造業にはあまり向いていないと思います。申し訳ありません。【岡山市 / 製造業 / ~99人】
33.	海外で活躍できるビジネスマンの育成に期待しています。【岡山市 / 製造業 / ~99人】
34.	コミュニケーション能力、思考力、積極性、我慢強さ・・・今の若者たちに不足しているところを特に教育指導して欲しい。【備前(岡山市以外/玉野市・備前市・瀬戸内市・赤磐市・和気町・吉備中央町) / 製造業 / 100~499人】
35.	マレーシア、タイ、インドネシアに関連会社があるのでその国の言葉で会話等できる学生を育てて欲しい。【備中(倉敷市・笠岡市・井原市・総社市・高梁市・新見市・浅口市・早島町・里庄町・矢掛町) / 製造業 / 500~999人】
36.	今後期待する異文化共存社会において必要となる能力と思います。柔軟な思考、異なる価値観を受け入れられる人材は必要です。【岡山市 / 小売業 / 100~499人】
37.	日本の文化を深く学んでいく中で、日本特有の四季折々の「歳時」「伝統文化」の継承や日本人の心としての「祝い」「祈り」「贈り」の文化を更に探求していただき、世界へ発信できるような真の国際人育成につながるような人材が1人でも増えることを切に願っております。【岡山市 / 卸売業 / 100~499人】
38.	ベトナム人を雇用する予定があり、文化や言語を理解している方のご入社があると、情報や意識、感情の共有に役に立つので、このような人材の育成を期待します。【岡山市 / 建設業 / 100~499人】
39.	社会状況に合わせた学部編成、定員編成、人材育成方法を模索、実現していただき、県外からの学生・人の流入、及び岡山県の活性化へ向けて、ご注力、ご助力いただければと思います。貴校から未来を担う若い人々が、多く社会へ羽ばたくことを期待します。頑張ってください。【備中(倉敷市・笠岡市・井原市・総社市・高梁市・新見市・浅口市・早島町・里庄町・矢掛町) / 農業、林業、漁業、鉱業 / 100~499人】
40.	言語力に加えPC、各種SNSにも詳しい人材を望みます。【備中(倉敷市・笠岡市・井原市・総社市・高梁市・新見市・浅口市・早島町・里庄町・矢掛町) / 旅行業 / ~99人】
41.	岡山県では技能実習生の拡充等でアジア(ベトナム、インドネシア)からの労働者が急激に増えているので橋渡し役となる人材へのニーズは高いと思います。【岡山市 / 製造業 / ~99人】

42.	海外研修中にはビジネス英会話にも取組みいただければと思います。【 備前（岡山市以外／玉野市・備前市・瀬戸内市・赤磐市・和気町・吉備中央町） / 製造業 / 100～499 人 】
43.	増加している外国人労働者と日本人労働者のかけ橋となれる人材の育成を期待しています。【 岡山市 / 運輸業、郵便業 / 100～499 人 】
44.	岡山は他県と比べても外国人の就労者が多く、そのような方々とコミュニケーションを図りながら働くということがより一層求められると考えます。ただ言語はあくまでもツール。これから AI がますます進んで生中で翻訳などは人にそれほど求められなくなると思われます。言語を使って他文化・他言語の方とどのように折り合いをつけて生きていくのか、働いていくのか総合力を育てていただきたいです。【 岡山市 / 製造業 / 100～499 人 】
45.	よりグローバル化が進んでいく中で、よいプログラムかと思えます。【 岡山市 / 宿泊業 / 100～499 人 】
46.	自主性、主体性のある人材育成を期待します。【 備中（倉敷市・笠岡市・井原市・総社市・高梁市・新見市・浅口市・早島町・里庄町・矢掛町） / 飲食サービス業 / 100～499 人 】
47.	総合人間学部「言語文化学科」の養成人材のニーズはやや高いとしましたが職種によると思われます。【 備中（倉敷市・笠岡市・井原市・総社市・高梁市・新見市・浅口市・早島町・里庄町・矢掛町） / 旅行業・娯楽業以外の生活関連サービス業 / ～99 人 】
48.	能動的な人物の育成。創造力、発想力のある人物の育成【 岡山市 / 卸売業 / ～99 人 】
49.	アジア圏の言語に精通している方がいらっしゃれば、小売業のような技能実習生（東南アジア）を迎え入れている企業にとって外国人への対応がスムーズにできるようになると考えます。【 岡山市 / 小売業 / 1,000～2,999 人 】
50.	英語力が育たなそう。学内日本語禁止？【 岡山市 / 運輸業、郵便業 / ～99 人 】
51.	語学力＝海外で仕事ができるということではないということを学生の方へ知っていただきたい。【 備中（倉敷市・笠岡市・井原市・総社市・高梁市・新見市・浅口市・早島町・里庄町・矢掛町） / 製造業 / 100～499 人 】
52.	大学の特徴を明確にされた方がよろしいと思います。特に地方の大学の場合には存在感をアピールしてください。【 備前（岡山市以外／玉野市・備前市・瀬戸内市・赤磐市・和気町・吉備中央町） / 製造業 / 100～499 人 】
53.	製造業ですが、採用に当たって全学科全学部募集しておりますので、宜しくお願いします。【 岡山市 / 製造業 / ～99 人 】
54.	ジーンズの縫製に興味を持って、仕事にしてもらえる人が1人でも増えれば良いと思っています。【 岡山市 / 製造業 / ～99 人 】
55.	言語文化学科で修得する利子期が特に活かせるというわけではありませんが。【 備中（倉敷市・笠岡市・井原市・総社市・高梁市・新見市・浅口市・早島町・里庄町・矢掛町） / 建設業 / ～99 人 】
56.	今後毎年新卒採用を検討しています。現在 2020 年 4 月入社採用もまだ行っています。ぜひ、まだ就職先が決定していない学生がいらっしゃいましたら、ご紹介お願いいたします。【 岡山市 / 小売業 / 100～499 人 】

3. 「定員増構想についての人材需要アンケート調査」集計結果のポイント

※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

Point 1 製造業や卸売業、小売業など、岡山市を中心とした幅広い業種からの回答
従業員数は100人未満が最多で全体の6割強、次いで500人未満が全体の3割強

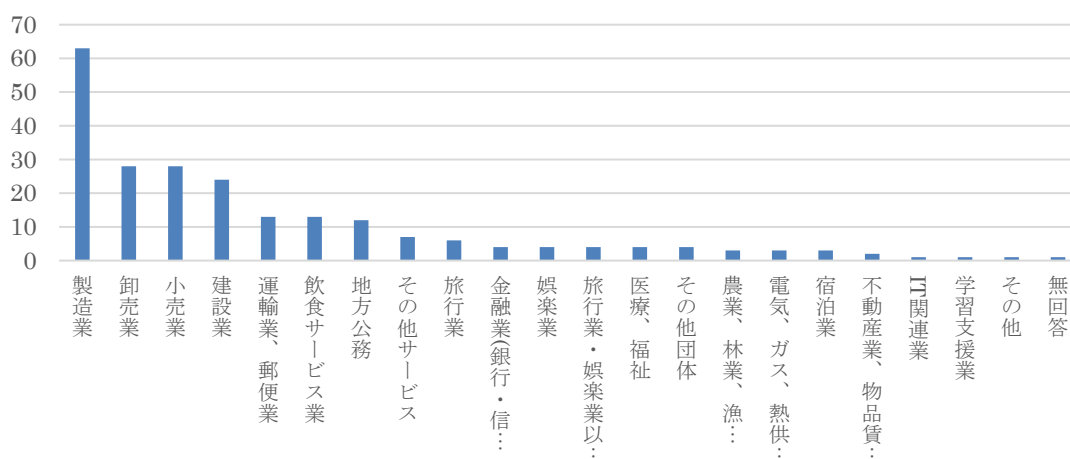
山陽学園大学が2021年度入学定員増を構想中の「総合人間学部 言語文化学科」について、896箇所
の事業所にアンケートの実施を依頼し、229箇所より回答を得た（回収率25.6%）。

回答のあった企業は、山陽学園大学の位置する岡山市に拠点を置く事業所が112箇所（全体の48.9%）
で最多、次いで備中（岡山県西部）に拠点を置く事業所が73箇所（同31.9%）であった。

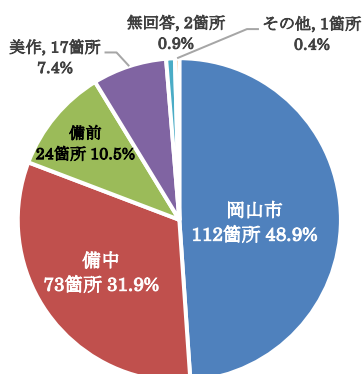
業種別に見ると、製造業が63箇所（同27.5%）で最多、次いで卸売業と小売業が同数の28箇所（同
12.2%）であった。

また、従業員・職員規模で見ると、100人未満の事業所が130箇所（同56.8%）で最多、次いで500
人未満の事業所が73箇所（同31.9%）であった。

回答元の主業種＜問1結果より＞N=229

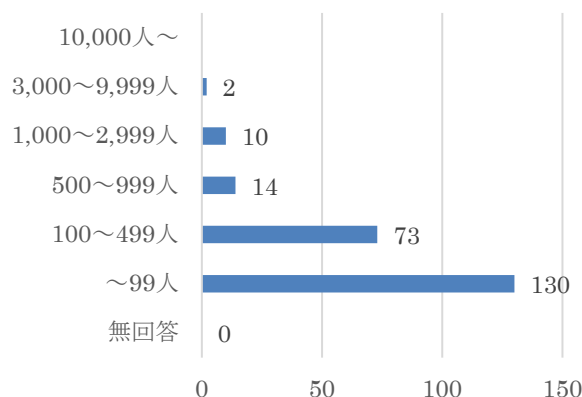


所在地＜問2結果より＞N=229



■備中（倉敷市・笠岡市・井原市・総社市・高梁市・新見市・浅口市・早島町・里庄町・矢掛町）
■備前（岡山市以外／玉野市・備前市・瀬戸内市・赤磐市・和気町・吉備中央町）
■美作（津山市・真庭市・美作市・新庄村・鏡野町・勝央町・奈義町・西粟倉村・久米南町・美咲町）

従業員・職員規模＜問3結果より＞N=229



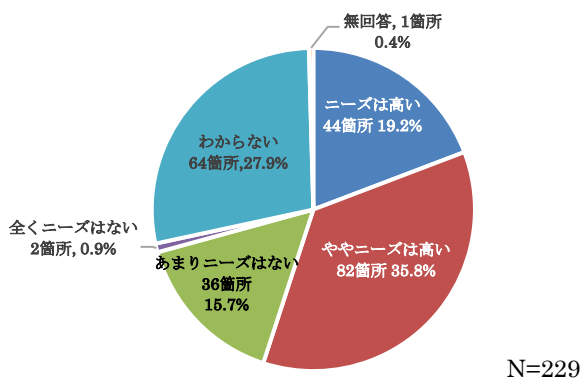
**Point
2**

「総合人間学部 言語文化学科」の入学定員 60 名(予定)に対して、87 人の採用意向を確認

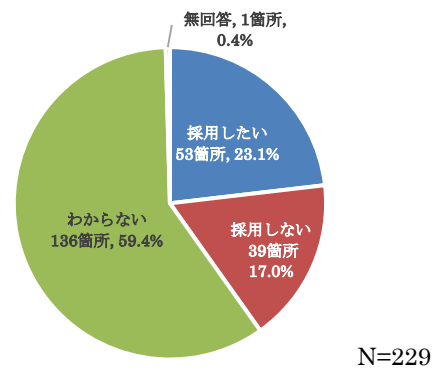
「総合人間学部 言語文化学科」が養成する人材の社会的ニーズを尋ねたところ、44 箇所（全体の 19.2%）が「ニーズは高い」とし、82 箇所（同 35.8%）が「ややニーズは高い」とした。よって、計 126 箇所（同 55.0%）が「総合人間学部 言語文化学科」が養成する人材の社会的ニーズの高さを認めた。

また、山陽学園大学「総合人間学部 言語文化学科」の概要を示し、養成する人材の採用意向について回答を求めた。その結果、53 箇所（同 23.1%）が「総合人間学部 言語文化学科」が養成する人材を「採用したい」と回答した。その上で提示された採用可能人数は合計 87 人（入学定員の約 1.4 倍）であった。

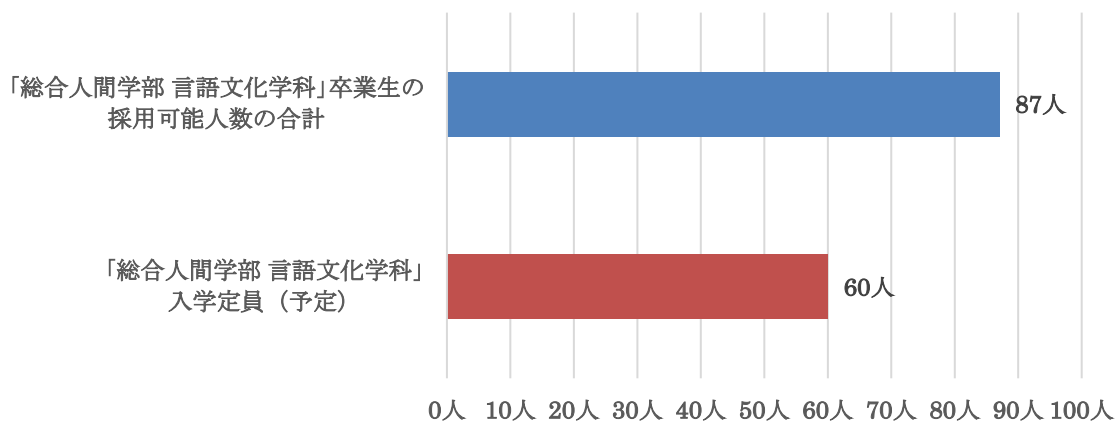
社会的ニーズ <問 4 結果より>



「言語文化学科」卒業生の採用意向 <問 5 結果より>



「総合人間学部 言語文化学科」卒業生に対する採用可能人数 <問 5 結果より>



N= 言語文化学科の卒業生を「採用したい」とし、その上で、採用可能人数を提示した 48 箇所

【添付資料】

「定員増構想についての人材需要アンケート調査」



山陽学園大学

言語文化学科 定員増構想についての人材需要アンケート調査

(対象：人事・採用ご担当者様)

山陽学園大学(岡山市中区平井 1-41-1)は、総合人間学部言語文化学科のさらなる充実を計画し、2021 年度の入学定員増(30→60名)ならび観光関連科目の開講を計画しております。本学ではこのアンケート調査を通して、将来卒業生の採用をご検討いただきたい皆様のご意見を構想内容に反映したいと考えています。なお、回答いただいた皆様から得た情報は本学の収容定員増構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。

アンケート調査へのご協力を謹んでお願い申し上げます。

※このアンケート調査は山陽学園大学から委託された第三者機関(株式会社高等教育総合研究所)が実施しています。

記入例を参考にご回答ください。 正しい 誤り 正しい 誤り

問1 貴事業所の主業種として、最もあてはまるものをお答えください。

(最もあてはまるもの一つにチェックをお願いします)

- 農業、林業、漁業、鉱業
- 建設業
- 電気、ガス、熱供給、水道業
- 製造業
- 通信業
- IT 関連業
- 放送、新聞、出版業
- 運輸業、郵便業
- 金融業(銀行・信託・証券・貸金・保険業)
- 卸売業
- 小売業
- 学術研究、専門・技術サービス
- 不動産業、物品賃貸業
- 宿泊業
- 飲食サービス業
- 旅行業
- 娯楽業
- 旅行業・娯楽業以外の生活関連サービス業
- 医療、福祉
- 学習支援業
- その他サービス
- 国家公務
- 地方公務
- その他団体
- その他 []

問2 貴事業所の所在地をお答えください。(あてはまるもの一つにチェックをお願いします)

- 岡山市
- 備前(岡山市以外/玉野市・備前市・瀬戸内市・赤磐市・和気町・吉備中央町)
- 備中(倉敷市・笠岡市・井原市・総社市・高梁市・新見市・浅口市・早島町・里庄町・矢掛町)
- 美作(津山市・真庭市・美作市・新庄村・鏡野町・勝央町・奈義町・西粟倉村・久米南町・美咲町)
- その他 []

問3 貴事業所の従業員・職員規模をお答えください。(あてはまるもの一つにチェックをお願いします)

- ~99 人
- 100~499 人
- 500~999 人
- 1,000~2,999 人
- 3,000~9,999 人
- 10,000 人~



00000004c3T

※QR コードは集計用です。回答者は特定されません。





問4以降は別紙「山陽女子大学 総合人間学部「言語文化学科」の概要」をご覧ください。

問4 山陽学園大学が入学定員増を構想中の総合人間学部「言語文化学科」が養成する人材は、社会的ニーズが高いと思われますか。(あてはまるもの一つにチェックをお願いします)

- ニーズは高い ややニーズは高い あまりニーズはない 全くニーズはない
 わからない

問5 山陽学園大学が入学定員増を構想中の総合人間学部「言語文化学科」が養成する人材を、貴事業所において採用したいと思われますか。(あてはまるもの一つにチェックをお願いします)

- 採用したい 採用しない わからない

「採用したい」とされた場合、よろしければ採用可能な人数をお答えください。

人

問6 山陽学園大学が入学定員増を構想中の総合人間学部「言語文化学科」または山陽学園大学について期待される点、ご要望等がありましたらご記入ください。(自由記述)

[]

質問は以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。



2021年度より入学定員増&カリキュラムがさらに充実

総合人間学部

言語文化学科

豊かな教養と卓越した語学力によりグローバル化が進み続ける社会に適応し地域に貢献する国際人を育成します。

● 修業年限: 4年 ● 入学定員: 30→60名に増員予定(2021年度より) ● 取得学位: 学士(人文学)

✓ 学びの特色

◆ 各分野の専門性を高めるためコース設置

コース
共通

- 文章表現力やコミュニケーション力など基礎能力をしっかりと高めます。
- 日本文化や異文化への理解を深め、グローバルマインドを育てます。
- 1年次の短期海外研究で、異文化コミュニケーションの大切さ・楽しさを体感します。

英語
コース

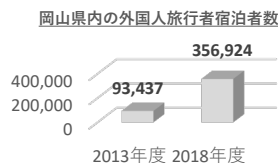
- しっかりと基礎を固め、英米やオセアニアの歴史や文化なども学びます。
 - 海外TV、映画、音楽などを活用して楽しく学び、実践力を身につけます。
- アドバンスト
英語クラス
- 英検2級レベル以上で留学の意思が明確な学生を対象に編成します。
 - 全員が3年次に長期留学し、英検準1級相当取得を目指すクラスです。

日本・アジア
コース

- 日本語をさらに探求し、日本文化について深く学び、日本について発信します。
- 中国語、ハングルなどアジアの言語と、アジア地域の文化について学びます。
- 日本語教員になるための実習を、海外でも実施しています。
- 多用な文化的背景を持つアジア地域からの留学生と友に学びえます。

◆ 岡山の外国人旅行者増加に対応し、2021年より観光関連科目を開講

岡山県でも外国人旅行者は増加しており、2013年度は93,437人だった外国人旅行者宿泊数が2018年度は4倍近い356,924人に達しました。本学の言語文化学科ではこのような状況に対応し、「観光学概論」「観光法規」「観光英語」などの観光関連科目を開講します(一部必修科目を含みます)。



◆ 取得をめざせる免許・資格

中学校・高等学校教諭一種免許状(英語)

中学校・高等学校教諭一種免許状(国語)

学校図書館司書教諭

図書館司書資格

学芸員資格

日本語教員(本学認定資格)

✓ 充実した学費助成制度

◆ 英検等のレベルで授業料を免除

入学時だけでなく在学中に取得した時点から、英検準2級相当取得で授業料から10万円免除、英検2級相当取得で半額免除、英検準1級相当取得で全学免除となります(TOEFL、TOEICも対象)。

◆ 海外研修等の助成金制度

短期海外研修なら20万円まで、長期留学の場合は最大80万円までを助成します(条件により異なります)。

✓ 卒業生の主な就職先

●教育・学術

中学校・高等学校教員(岡山市・倉敷市・総社市・浅口市)、林原美術館、岡山外語学院など

●金融機関等

中国銀行、トマト銀行、笠岡信用金庫、岡山西農業協同組合・びほく農業協同組合・鳥取西部農業協同組合 など

●ホテル・観光業

ANAクラウンプラザホテル岡山、岡山国際ホテル、鷺羽ハイランドホテル、ホテルエクセル岡山、ユニバーサルスタジオジャパン、ニッコー観光バス など

●流通業

イオンリテール、天満屋、大黒天物産、ダイキエンジニアリング、山陽マルナカ、エブリイ、わたなべ生鮮館、魚宗フーズ、ザグザグ、スターバックスコーヒージャパン、ジェイアール西日本フードサービスネット、ゼンショーホールディングス、ブラダジャパン、サマンタバサジャパン、トヨタカローラ岡山 など

【資料14】

山陽学園大学総合人間学部への求人件数（平成28年度就職者～令和3年度就職者対象）

年度	平成28年度 就職者対象	平成29年度 就職者対象	平成30年度 就職者対象	平成31年度 (令和元年度) 就職者対象	令和2年度 就職者対象	令和3年度 就職者対象
県内	360	339	379	420	334	339
県外	697	799	799	725	772	768
計	1,057	1,138	1,178	1,145	1,106	1,107

※対象学科：言語文化学科、生活心理学科

※いずれも前年度中に得た求人件数を指す。

※「令和3年度 就職者対象」は令和3年2月末時点のもの。

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
一	学長	サイトウ イクコ 齊 藤 育 子 <平成28年4月>		博士 (教育学)		山陽学園大学学長 (平成28.4～令和4.3)